

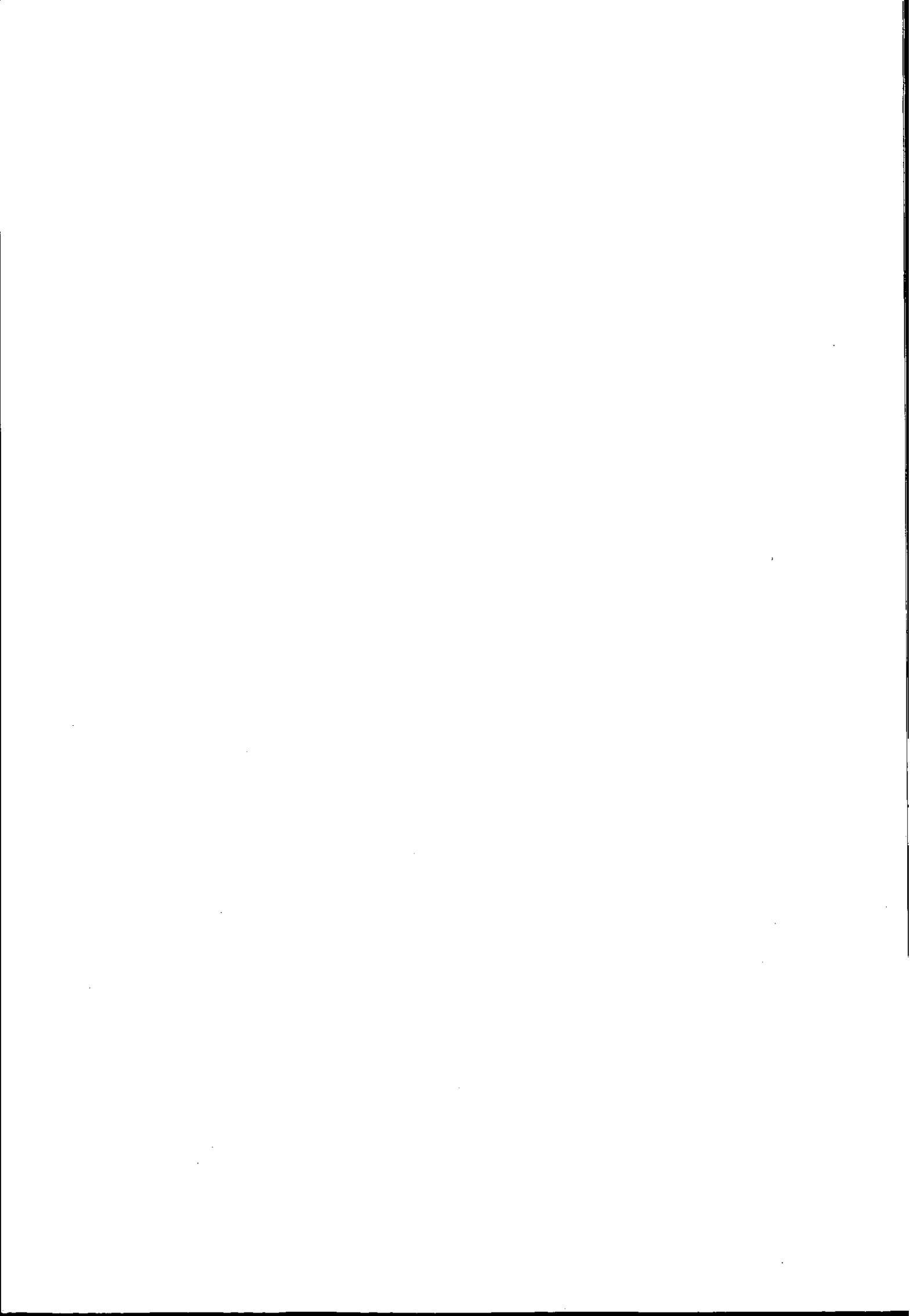
データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

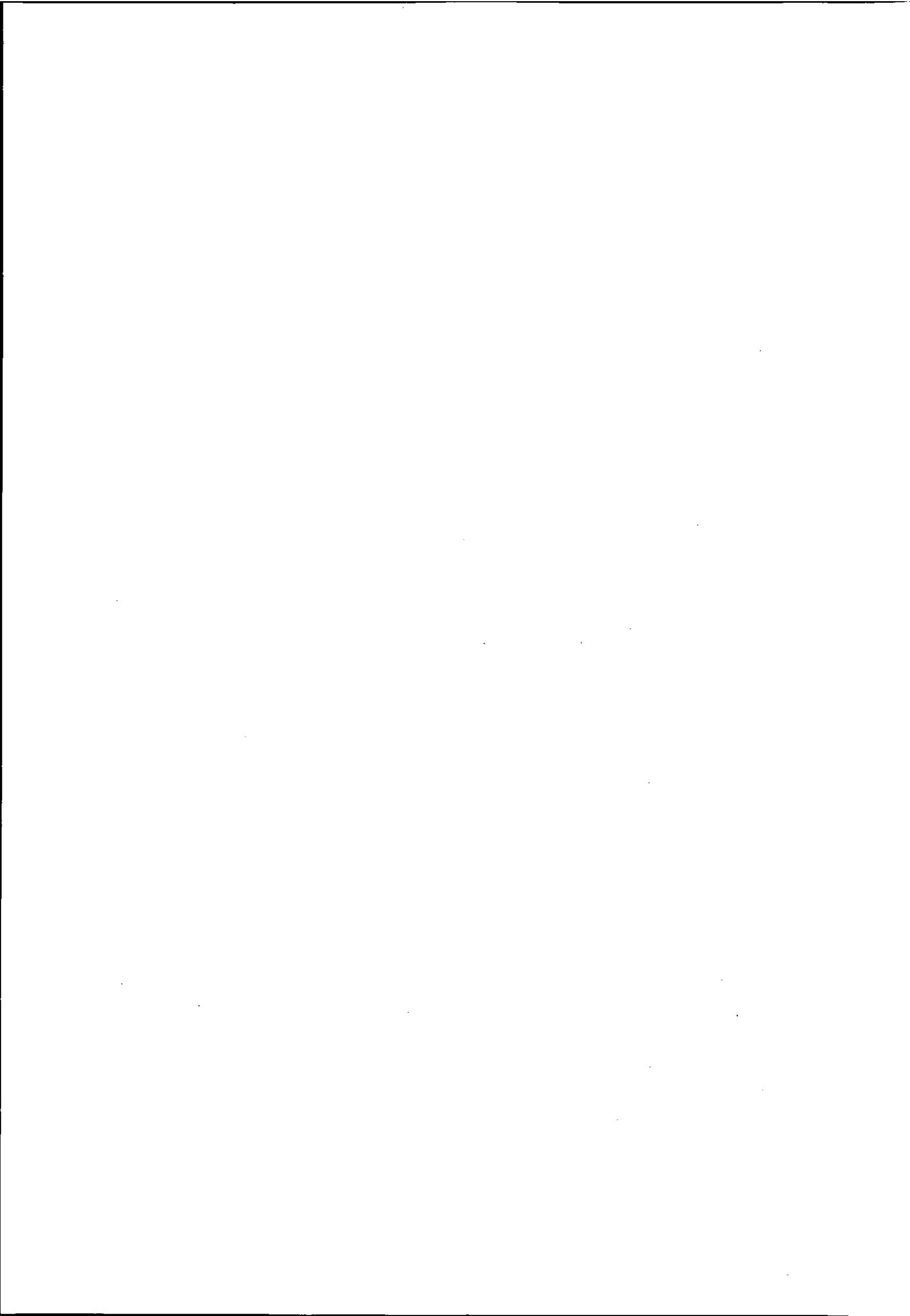
書誌データベース用

ダイナミックソーラス・エンジンの構築と
自然言語検索システムへの応用

平成4年3月

財団法人 データベース振興センター
委託先 株式会社紀伊國屋書店





本報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて作成したものである。

序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスについてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 山梨学院大学教授 蓼沼良一氏)を設置している。

この「書誌データベース用ダイナミックソース・エンジンの構築と自然言語検索システムへの応用」は平成3年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として、当財団が株式会社紀伊國屋書店に対して委託実施した課題の一つである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成3年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成4年3月

財団法人 データベース振興センター

平成3年度 データベース構築・技術開発促進委託課題一覧

分野	課題名	委託先
社 会	1 形態学的コメントを含む病理データベースのプロトタイプ作成	(株)エス・ピー・オー
	2 交通事故調査データベースのプロトタイプの作成	(財)日本自動車研究所
	3 シルバーエイジの医療と福祉情報の実的な活用を目的としたデータベース構築	美崎高齢者福祉互助会美崎生活館
	4 気候情報データベースの構築	(株)エムテーエス雪氷研究所
	5 地下水情報データベースシステムの構築のための調査研究	(株)バスコ
	6 ファジィに関する文献データベースシステムの開発	(財)日本情報処理開発協会
	7 大学におけるデータベース利用教育システムに関する調査研究	日外アソシエーツ(株)
	8 マルチメディア型社会科用データベースの開発	(株)新学社
中小企業振興 地域活性化	9 異分野研究のための知的オリエンテーション・データベースシステムの構築可能性調査	(株)けいはんな
	10 瀬戸内圏公共図書館の郷土資料データベースの構築	(株)中国新聞社
	11 記事データベースアクセス用パイロットシステム構築	(株)河北新報社
	12 商業調整支援データベースの構築	(株)日本統計センター
	13 地域流通最適化に必要なデータベースの構築に関する研究	(社)日本ボランティア・チェーン協会
	14 情報源検索データベースのプロトタイプ作成	セントラル開発(株) 情報図書館RUKIT
海 外	15 有価証券報告書のMTデータ変換ソフト開発と英訳辞書作成	コムラインインターナショナル(株)
	16 海外の主要国際・国家規格データベースの構築	日本電子計算(株)
	17 アジア太平洋交流データベースの研究-プロトタイプ作成-	(株)西日本新聞社
	18 先端産業分野における専門用語の電子辞書データベース化の調査研究	科学技術情報研究所(株)
技 術	19 書誌データベース用ダイナミックソース・エンジンの構築と自然言語検索システムへの応用	(株)紀伊國屋書店
	20 知的ハイパーメディアを活用したデータベース構築に関する調査研究	(株)新世代システムセンター
	21 CD-ROMによる光学材料データベースの構築	(株)リアライズ社

目 次

I 研究の目的	1
1 基本構想	1
2 具体的取組み	2
II システム機能	3
1 使用データ	3
2 システム機能	3
2.1 キーワード抽出機能	4
2.2 検索機能	5
3 キーフレーズ抽出ルール	7
3.1 ルールの原則・前提	7
3.2 第1グループ(本の要旨に特有なルール)	7
3.3 第2グループ(表現動作動詞に関する一般ルール)	10
3.4 第3グループ(括弧に関するルール)	12
III システムの構築	17
1 システムの構造	17
1.1 ルール定義	18
1.2 ルール生成	18
1.3 ルール抽出	18
1.4 表示・出力	18
2 プログラム構造	19
2.1 ルール生成	19
2.2 前処理	21
2.3 ルール抽出	21
2.4 表示・出力	21
3 実行方法	24
3.1 ルール生成処理	24
3.2 ルール抽出処理	24
3.3 表示・出力処理	24
4 データ・ファイル	25

4.1	ルール定義ファイル	25
4.2	入力データ例	37
4.3	抽出処理出力データ例	37
IV	評価実験	40
1	評価実験方法	40
1.1	評価の背景	40
1.2	評価の尺度	41
1.3	人間が抽出したキーワード	41
1.4	システムが抽出したキーワードと人間が抽出したキーワードの照合法	43
1.5	評価方法	44
2	評価結果	47
2.1	適合率の算出	47
2.2	適合率の評価および問題点と対策	48
2.3	欠落キーワードの原因と対策	50
V	結論	52
1	結論	52
2	問題点と課題	52
2.1	主題該当”語句”抽出のための文意解析	52
2.2	主題該当名詞句内の主題該当語と主題関連語の判別	52
2.3	データベース構造とデータ執筆自由裁量性への対応	53
3	ダイナミックシソーラス・エンジンの再確認	53
3.1	作動機構	53
3.2	成果と課題	55
4	今後の展望と抱負	55
付録 A	添付資料 (処理データ)	56
付録 B	添付資料 (処理結果)	84
付録 C	添付資料 (解析結果)	97

I 研究の目的

1 基本構想

言葉自体を電算プログラミングのソースコードと見なし、言葉自体に考えさせ、まとめさせることができないか。そのためには、言葉自体の計算可能な論理と言葉の編成を中核とする文書の計算可能な構造性の解明が必要で、その程度に応じて応用方向への組織化の展望も開けてくる。ダイナミックシソーラスの構想も、この方向に沿った開発構想である。

ダイナミックシソーラス・エンジン・プロジェクトは、言葉自体の理論性の解析原理として石川方式(平成2年度報告を参照)を採用し、要素の重要度順に実験・改良・応用に取り組んでおり、初年度は、文書の記述者の伝達意図を表明している表現動作動詞の有効性の実験・証明であったが、今年度は、その表現動作動詞の網羅的作動実験と問題点の洗い出し、そして解決方法の探り出しに専念した。

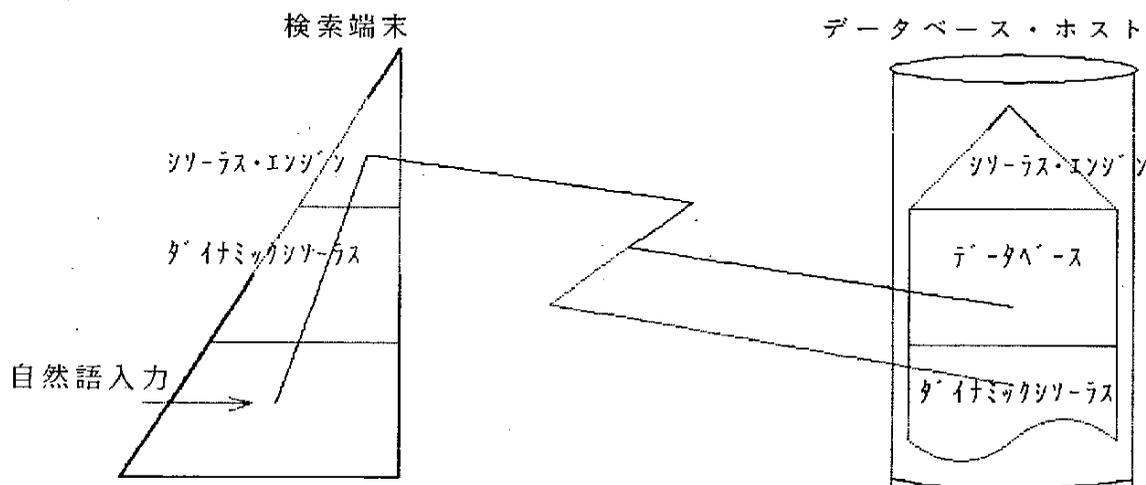


図 I.1: ダイナミックシソーラスの位置付け

2 具体的取組み

書誌データベース BOOK の記述文 (標題、要旨、内容など) を材料として、動詞基本概念体系下での筆者意図伝達を表わす動詞 (表現動作動詞、意図動作動詞など) を手掛かりとして主題表現構文を抽出して文意解析し、その動詞句に含まれる名詞を主題表現用語として採集し、それによる検索で高適合・高網羅の検索性能の達成を試みた (下図の図 I.2 を参照) 。

当然、原理の現実データベースへの適用では論理上の不全 (構文解析での抽出漏れ、ノイズ抽出・採集など) や構造上の不全 (ことばの論理性からでなくデータベースの設計・制作上の規約と遵守の曖昧性) なども想定されるので、問題点を列挙し、課題と対策も述べた。

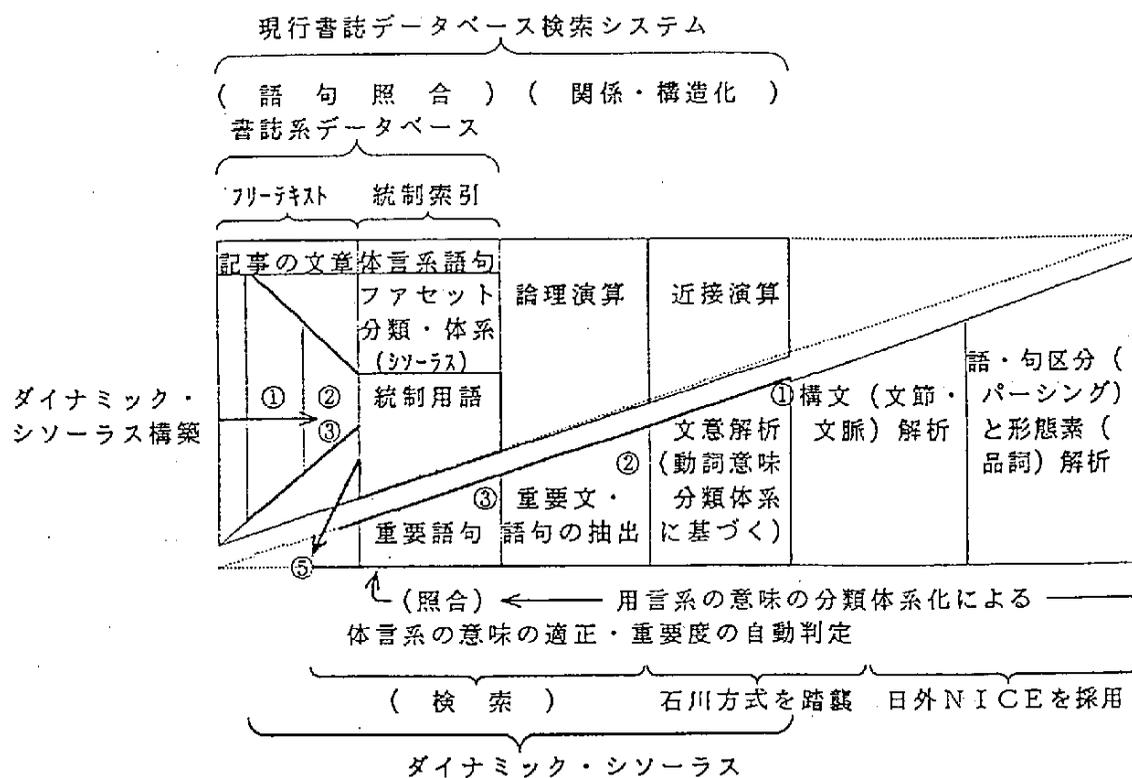


図 I.2: ダイナミックシソーラスの概念図

II システム機能

本章では、ダイナミックシソーラス・エンジン(以下、DTE と記す)のシステム機能、およびキーワード抽出ルールについて整理する。

1 使用データ

本プロジェクトでは、BOOK データベースを使用した。これは、日外アソシエーツ株式会社が作製し、ASSIST オンラインシステムを通して提供している図書内容情報のデータベースである。このデータベースの累積データ数は、1991 年度で約 20 万点である。

実験データを入手するために使用した検索式は、次の通りである。評価作業のことを考慮して、作業者が内容に馴染みの深い情報処理分野のデータを選んだ。

イミロン@ + ニンチカガク@ + ニンチリロン@ + シゼンゲンゴ@ + キカイホンヤク@ + ジドウホンヤク@ + グループウエア@ + グループテクノ@ + CSCW

この検索式による検索結果は 269 件であった。この中で、最新データ 200 件を調査対象とした。(添付資料 1 オリジナルデータを参照) また、この 200 件の中で、評価作業の対象となる要旨付きデータは 138 件である。

BOOK データベースは、大きく分けて「標題」「要旨」「内容」の 3 つから構成されている。本プロジェクトの調査対象は、この「要旨」の部分である。

2 システム機能

DTE システムと周辺システムの機能は、図 II.1: システム機能図のようにまとめることができる。

機能図において、用語抽出システムは、日外アソシエーツ株式会社が開発したデータベース用語管理システムである NICE の機能を使用した。NICE は、ストップワード方式による

用語抽出機能と辞書方式によるキーワード抽出・拡充機能を持っているが、本プロジェクトでは、NICE の用語抽出機能の部分を利用した。

NICE と同様の機能を持つシステムとして、(株)平和情報センターの HAPPINES や、(株)エム・シー・ワードセンターの Free Base などがある。

DTE システムと用語抽出システムを組み合わせたものを、以下で SYSTEM と呼ぶ。

DTE システムには、キーワード抽出機能と要旨検索機能の 2 つがある。次に、それぞれの機能について詳しく説明する。

2.1 キーワード抽出機能

BOOK データベースの要旨に対して、最初に DTE システムを適用し、その出力結果に対して用語抽出システムを適用する。

DTE システムは用言辞書その他を参照して、キーフレーズ (キーセンテンスの場合も含む) を切り出し、用語抽出システムは単語切り出し機能を使用して、キーフレーズからキーワードを抽出する。

データ #126 を例にとって、この流れを説明する。

#126

【**標題**】 LISP による自然言語処理

【**要旨**】 本書は AI のコンピュータ言語ともいべき LISP を用いた自然言語処理を出来るだけやさしく解説することを目的としている。したがって、LISP の関数は出来るだけ基本的なものを少数用いるようにした。

- 1) DTE システムは、要旨の中から、表現動作動詞「目的としている」に基づき、「AI のコンピュータ言語ともいべき LISP を用いた自然言語処理を出来るだけやさしく解説すること」の部分をキーフレーズとして抽出する。
- 2) 用語抽出システムは、DTE システムが抽出したキーフレーズの中から以下のキーワードを抽出する。

AI、コンピュータ言語、LISP、自然言語処理

- 3) 抽出キーワードの評価

これに対して、DTE システムを使用しない場合、用語抽出システムは以下の用語を抽出する。

本書、AI、コンピュータ言語、LISP、自然言語処理、関数、少数

この要旨に対して、人間が真のキーワードとして付与したものは「LISP」と「自然言語処理」である。(この2つが真のキーワードであることは、標題が「LISPによる自然言語処理」であることから推定できる。)従って、SYSTEMは、用語抽出システムのみを使用した場合よりも、最適キーワード候補を抽出する確率が高いと言える。

2.2 検索機能

SYSTEMは、検索者が自然文で入力した質問文に対しても、要旨の場合と同様の処理を行なう。すなわち、DTEシステムと用語抽出システムを適用し、質問文のキーワードを抽出する。そして、質問文内抽出キーワードとBOOKデータベース内抽出・付与キーワードを照合し、検索する。

例として、検索者が次のような質問文を入力したとして、この流れを検討する。

質問文: コンピュータによる自然言語処理について知りたい。

- 1) DTEシステムは、この質問文から、質問意図表現動作動詞「知りたい」に基づき、「コンピュータによる自然言語処理」の部分キーフレーズとして抽出する。
- 2) 用語抽出システムは、DTEシステムが抽出したキーフレーズから、以下のキーワードを切り出す。

コンピュータ、自然言語処理

- 3) DTEシステムは、BOOKデータベースの中から、「コンピュータ」「自然言語処理」のキーワードが付与されているデータを検索する。

4ページのデータ#126とこの質問文は、「自然言語処理」というキーワードを共通に有するので、データ#126は検索の対象となる。

- 4) 検索機能の評価

質問文に単なる「関数」をキーワードとして含んでいる場合には、データ#126は検索されるべきではない。(検索者が意図するのは数学の「関数」であると考えられる。)従って、この場合、SYSTEMが付与したキーワードは、用語抽出システムのみを使用した場合よりも、検索精度の高い検索ができると言える。

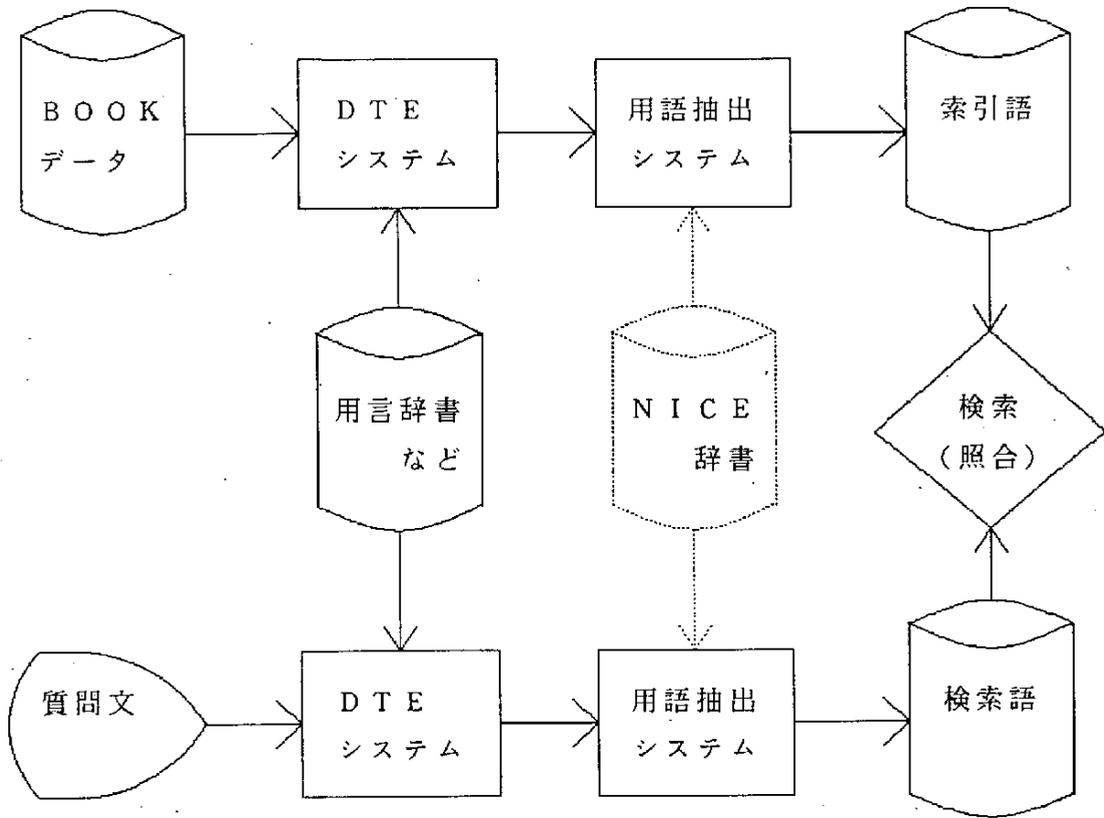


図 II.1: システム機能図

3 キーフレーズ抽出ルール

BOOK データベースの要旨部分に対して、下記、キーフレーズ抽出ルールを適用して、キーフレーズを抽出する。次に、このキーフレーズに対して用語抽出システムを適用させ、キーワードを抽出する。

以下では、DTE システムのキーフレーズ抽出ルールを述べる。

3.1 ルールの原則・前提

1) 優先順位

- i) 抽出ルールは大きく3つのグループに分かれている。数字の小さいグループを優先する。
 - 第1グループ … 本の要旨に特有なルール
 - 第2グループ … 表現動作動詞に関する一般的なルール
 - 第3グループ … 括弧に関するルール
- ii) 各グループの中では、先に記したルールを優先する。
- iii) 各センテンスに対して、1つのルールが適用された場合には、それ以降のルールは適用しない。

(以下、各ルールの中で、下線部()をキーフレーズとする。)

- 2) 文末認定ルール「。」「!」「?」のいずれかの文字があった場合に、文末と認定する。

3.2 第1グループ(本の要旨に特有なルール)

A ●●●は/では + ◡ + である/です/にある + 文末

注:「●●●は/では」は文頭、あるいは文中で後に読点(、)が続く場合に限る。

●●●のリスト

本書は	本書では	本著作は	本特集は	本講座は
本号は	目的は	内容は	本書のねらいは	この辞典で
この本は				

3 キーフレーズ抽出ルール

例: #24

【標題】 図解 人口知能入門

【要旨】 本書は、{A:人口知能に関する初心者向けの解説書}です。特に、図を多くし、文章をやさしくして、初心者にもわかりやすいように心がけています。

B ●●●は/では/には + ◡ + 表現動作動詞 + 文末

注:「●●●は/では/には」は文頭、あるいは文中で後に読点が続く場合に限る。

●●●のリスト

本書は 本書では 本書の理論は このマニュアルには
この本では

例: #3

【標題】 言語処理と機械翻訳

【要旨】 機械翻訳の技術を成熟させるにはまだ多くの課題が残されているが、過去40年にわたり検討してきた技術を統合して機械翻訳システムとして実現する時期にきている。本書は、{B:そのような観点に立ち、現在の機械翻訳の技術と将来の高度な技術を開発するための問題点を}述べる。

C ◡ + ●●● + 文末

注:●●●は、主に書物に関する語である。

例: #51

【標題】 アクティブ・マインドー人間は動きのなかで考える

【要旨】 {C:身体と思考のみごとな相互関連を解きあかし、認知科学の新しいパースペクティブを示した意欲作}。

●●●のリスト

論文集	論	エッセイ集	書	ハンドブック	講座	意欲作	
特集	入門	一冊	読本	入門書	作品	著述	名著
最前線	招待	提唱	焦点	対話	パラダイム・マップ		
鳥瞰図							

D ～ + は/とは + 何か/なにか + 文末

～ + とは + 文末

注:このルールにおいて、「何か」「なにか」の後には、「～について述べている」のような表現動作動詞が省略されていると考えることができる。

例: #64

【標題】 岩波講座 転換期における人間 6 科学とは

【要旨】 {D:人間にとって、社会にとって、科学} とはなにか。生き方と価値観の指針を提示する。

E ～ + 動詞(連体形) + か/のか/のだろうか + 文末

注:このルールにおいても、「か」「のか」「のだろうか」の後には、「～について述べている」のような表現動作動詞が省略されていると考えることができる。

例: #167

【標題】 応用言語学

【要旨】 {E:言語学の成果はどのように} 応用されるのか。子供の言語発達のしくみから説き明かし、2言語併用、翻訳理論、自動翻訳の問題を探究、国語・外国語の教育方法にも言語学の応用を説く。

3.3 第2グループ (表現動作動詞に関する一般ルール)

注1: 表現動作動詞とは、動詞辞書で ACTADE のコードを持つものである。

注2: 表現動作動詞の活用形に対する制限

- 終止形と連用中止形は、すべて対象にする。
- 連体形と連用形は、次の句接続詞につながるもののみを対象にする。

連体形につながる句接続詞

が ために ための とともに よう

連用形につながる句接続詞

つつ つつも ながら

注3: 表現動作動詞は、ルール①以外は、すべて能動態 (M:a) であるとする。

注4: 次のリストが第2グループのルールの後に与えられている。

助詞 (関連格)
助詞 (目的格)
助詞 (主格)
助詞 (疑問格)
助詞 (形式)
助詞 (始点格)
「説明する」に近い概念を表わす表現動作動詞
形式動詞
抽象名詞
形式名詞

① ～(前の動詞まで) + 助詞 (関連格/主格) + 表現動作動詞 (受動態 M:p)

例: #111

【標題】 学習の理論 下

【要旨】 本書のねらいは現代の学習理論を理解させ、その歴史的な文脈とその背景とを提供することにある。下巻では理性主義による認知-体制化の考え方に影響された {1:ゲシュタルト派やトールマンの学習理論や情報処理理論とその発展} について述べられ、さらにこれらの理論と関連する神経科学や教育の応用にも及んでいる。

② ～(前の動詞まで) + 助詞 (疑問格) + 表現動作動詞 (「説明する」に近い概念を表わす動詞)

例: #124

【標題】 メンタルモデル-言語・推論・意識の認知科学

【要旨】 著者は、本書で認知科学の研究のやり方の一つを示している。{2: 実験心理学、論理学、言語学、人工知能、そして哲学からのアイデアと方法をいかに統合する} かを教えてくれる。とりわけ、計算理論は、心の複雑さを理解するのに必要な決定的な方法とメタファーのいくつかを提供する。本書は、広く科学に興味を抱く読者を念頭に書かれたものである。

③ ～(その前全体) + 動詞 (連体形) + 抽象名詞 + 助詞 (関連格/目的格) + 表現動作動詞

例: #188

【標題】 コアとプロトタイプ-基本動詞の意味論

【要旨】 take や get などの基本動詞の意味は多岐に亘り、相互の関連性が截然と捉えにくい。{3:本書では、これをコアとプロトタイプ概念を組み合わせ} 整理する理論を提案し、検証を経てかなり成功している。意欲あふれる研究書である。

④ ～(前の動詞まで) + 助詞 (関連格/目的格) + 形式名詞 + 抽象名詞 + 助詞 (形式) + 形式動詞 + 抽象名詞 + 助詞 (始点格) + 表現動作動詞

例: #85

【標題】 神経回路モデルとコネクショニズム

【要旨】 {4:今、認知科学でもっともホットな脳の並列分散処理の可能性と限界を} その基礎となる原理からていねいに解説。

⑤ ～(その前全体) + 表現動作動詞 (終止形、前方に関連格/目的格の助詞なし)

例: #61

【標題】 人工知能ハンドブック

【要旨】 人工知能に関する基礎から応用までの全分野を網羅。{5:歴史的な業績や最近・特に進歩の著しい分野についても積極的に取り入れ} 解説。ハンドブックの性格上・将来を見通した普遍的な記述。

⑥ ～(前の動詞まで) + 助詞 (関連格/目的格) + 表現動作動詞

例: #159

【標題】 比喩と理解

【要旨】 生きた実例を豊富に駆使して、{6:比喩を通した認知のメカニズム} を詳細に分析。本格的比喩研究の書。

3.4 第3グループ (括弧に関するルール)

以下の括弧の中をキーフレーズとする。

< > 《 》 「 」 『 』 “ ”

例: #147

【標題】 意味と情報

【要旨】 情報なるものが単に大量に氾濫しているだけでは、人々間のコミュニケーションも、社会的な統合も促進されとは限らない。情報は適切な意味を担って適切な場で伝えられるのでなければ役に立たない。つまり、情報にとっては、単に形式的な量だけでなく、その『{<:意味}>』と『{<:文脈}>』が重要である。そこでそういう観点から、情報というものを見ようというのが、この一連の共通のテーマであり、全体をまとめて『{<:意味と情報}>』と名づけた次第である。

◎ 品詞リスト

● 助詞 (関連格)

について, についても, については, に関して

● 助詞 (目的格)

に (動詞「光をあてる」「焦点を当てる」に対してのみ)
を (その他の動詞に対して)

● 助詞 (主格)

が

● 助詞 (疑問格)

かを, なのかを, のかを

● 助詞 (形式) と, に

● 助詞 (始点格)

から, より

● 「説明する」に近い概念を表わす表現動作動詞

解説する, 解説した, 解説している, 解説しています, 解説
説明する, 説明している, 説明しています, 説明し
教えてくれる
詳解しています

● 形式動詞

なる, ある

● 抽象名詞

研究, 基礎, 原理, こと, 意味, 理論

● 形式名詞

その, この, それら, それらの
それ, これ, これら, これらの

3 キーフレーズ抽出ルール

◎ 動詞辞書の構成

使用データに現れた全ての動詞は、次の情報を付与された形で動詞辞書にリストされている。

1) 基本概念記号

記号	名称
ACTADE	表現動作動詞
空欄	その他の動詞

注:表現動作動詞以外の基本概念は昨年度報告書の21ページで分類されている。

2) 動詞の時制記号 (形式 T:x)

記号 (x=)	意味
pt	過去 (past)
p	現在 (present)
f	未来 (future)
s	語幹のみ (stem)

3) 動詞の様態記号 (形式 M:y)

記号 (y=)	意味
a	能動 (active)
p	受動 (passive)

4) 動詞のアスペクト記号 (形式 A:z)

記号 (z=)	意味
a	肯定 (affirmation)
n	否定 (negation)
c	仮定 (conditional)
k	継続 (continuous)
ab	可能 (ability)
w	希望 (want)
m	義務 (must)

5) 活用形記号 (形式 C:w)

記号 (w=)	意味
終止	終止形
連体	連体形
連用	連用形
連用中止	連用中止形

注1: 終止形と連体形の区別方法

動詞の右側が「。」「!」「?」「-」のいずれかの場合 → 終止形

動詞の右側が「読点 + 動詞」の場合 (#100) → 終止形

その他 → 連体形

注2: 連用形と連用中止形の区別方法

アスペクトが仮定 (A:c) の場合 → 連用形

動詞の右側が読点の場合 → 連用中止形

その他 → 連用形

◎ 動詞辞書のサンプル

印刷された	((nil)(T:pt,	M:p,	A:a,	C:連体))
隠された	((nil)(T:pt,	M:p,	A:a,	C:連体))
営み得ない	((nil)(T:p,	M:a,	A:n,	C:終止))
影響された	((nil)(T:pt,	M:p,	A:a,	C:連体))
映す	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
越えた	((nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))
越えて	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))
越えていく	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
越えられない	((nil)(T:p,	M:a,	A:n,	C:連体))
越えられぬ	((nil)(T:p,	M:a,	A:n,	C:連体))
往来し	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用))
応用されつつある	((nil)(T:p,	M:p,	A:k,	C:連体))
応用されていく	((nil)(T:p,	M:p,	A:a,	C:連体))
応用される	((nil)(T:p,	M:p,	A:a,	C:連体))
応用できる	((nil)(T:p,	M:a,	A:ab,	C:連体))
横断する	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
下ろした	((nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))
仮設される	((nil)(T:p,	M:p,	A:a,	C:連体))
可能にしてくれる	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:終止))
果たす	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
解きあかし	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))	
解き明かされる	(ACTADE(nil)(T:p,	M:p,	A:a,	C:連体))	
解き明かし	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))	
解く	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
解決する	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
解説	(ACTADE(nil)(T:s,	M:a,	A:a,	C:終止))	
解説されている	(ACTADE(nil)(T:p,	M:p,	A:k,	C:終止))	
解説した	(ACTADE(nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:終止))	
解説した	(ACTADE(nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))	
解説しています	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:k,	C:終止))	
解説している	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:k,	C:終止))	
解説する	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))	
解説する	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:終止))	
解説し	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用))	
解明	(ACTADE(nil)(T:s,	M:a,	A:a,	C:終止))	
解明し	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))	
解明する	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))	
開く	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
開催された	((nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))
開催された	((nil)(T:pt,	M:p,	A:a,	C:連体))
開発され	((nil)(T:p,	M:p,	A:a,	C:連用中止))
開発した	((nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))
開発する	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
概観し	(ACTADE(nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))	
概観している	((nil)(T:p,	M:a,	A:k,	C:終止))
拡張し	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連用中止))
確立されなければならない	((nil)(T:p,	M:p,	A:m,	C:終止))
覚えておいた	((nil)(T:pt,	M:a,	A:a,	C:連体))
学ぶ	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))
学ぶ	((nil)(T:p,	M:a,	A:a,	C:連体))

図 II.2: 動詞解析・分類データ (部分)

III システムの構築

1 システムの構造

システムの全体は図III.1のような構造を持つ。

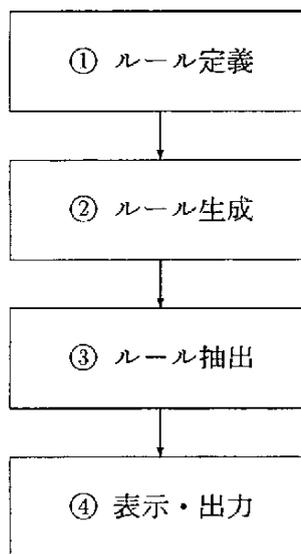


図 III.1: システムの構造

II章で示したダイナミック・シソーラス・エンジン (DTE) の抽出ルールに基づき、入力データから該当する部分を抽出する。抽出した部分は、入力データにマークアップ方式で結果を示し出力する。出力された結果には入力データが保存されているので、これを使って抽出された部分の表示色を変えたり、反転表示させたりできるほか、他システムへデータを渡し、更に処理を重ねて行なうことが可能となっている。

システム構築の方針としては、ダイナミックシソーラスエンジンのルールによる動作の機能確認を主に行ない、今後の実用システムを可能な限りエレガントでスマートで高速なプログラムにするための基礎データを収集することを目的とする。

1.1 ルール定義

図III.1 ①部分である。II章で示したダイナミック・シソーラス・エンジンのルールを、システム処理可能な形式に変換し、ルールを定義する。

ルール定義は、ルールの各々のグループの項目毎に独立して行なえる用にする。また、ルールの変更・追加・削除についても簡単にテストできるようにしておく。

1.2 ルール生成

図III.1 ②部分である。1.1節で定義したダイナミック・シソーラス・エンジンルールファイル进行处理し、実際に抽出ルール処理ルーチンで使用するプログラムデータを生成する。

ルール生成は、ルールデータの各々について、独立して生成方法を制御可能とする。

1.3 ルール抽出

図III.1 ③部分である。1.2節で生成したダイナミック・シソーラス・エンジン抽出ルール処理プログラムを使って、入力データを処理する。

抽出プログラムは今回は UNIX 上の日本語対応 sed を使用した。これでルールについて十分検証を行い、実行速度的に満足できなければ、専用プログラムを作成し対処することとする。

1.4 表示・出力

図III.1 ④部分である。1.3節で出力したデータを表示・出力する。

出力データは、入力データの抽出された部分をマークアップした形式になっている。

表示プログラムは、マークアップされた部分の表示を、他の部分と色を変えて表示する。

2 プログラム構造

システムを構成するプログラムの構造とフローを図III.2に示す。

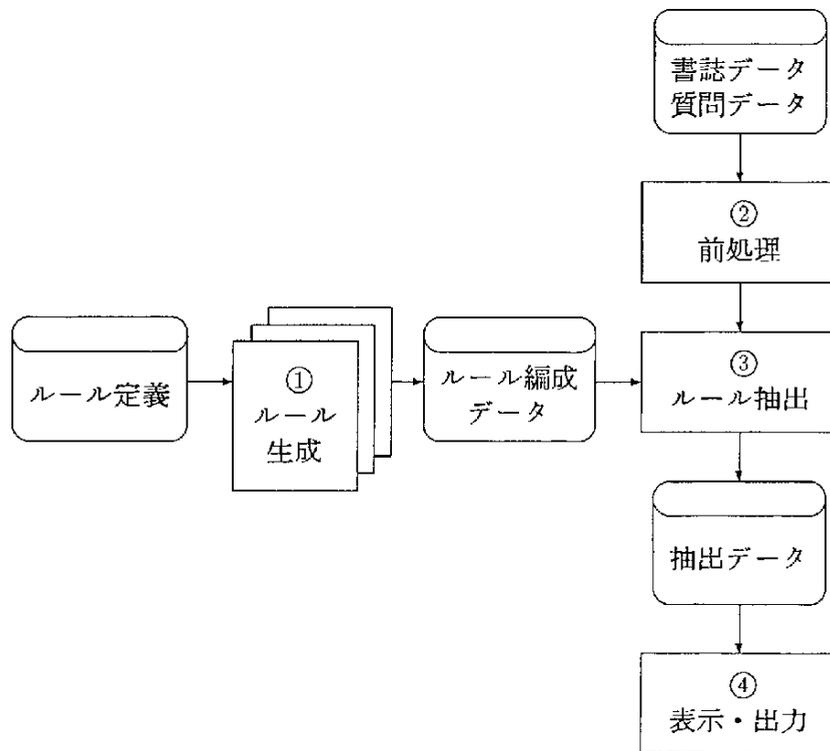


図 III.2: プログラム・フロー

プログラムは2つの系統からなる。第1系統はダイナミック・シソーラス・エンジンのルール定義データを処理する部分で、同一ルールを使う限りは1回のみ処理すれば良い。(図III.2 ①)

第2系統は入力データを処理し、出力データを作成する部分である。この時に第1系統で作成したデータ抽出処理データを使用する。(図III.2 ②, ③, ④)

2.1 ルール生成

図III.2 ①のプログラムである。ルール生成プログラムは、ダイナミック・シソーラス・エンジンルール定義データを用いてルール抽出するためのプログラムデータを生成する。

図III.3にルール生成を行なうプログラムを示す。このプログラムから個々のグループ・項目に対する実際のルール生成プログラムが起動される。図III.4に実際のルール生成プログ

2 プログラム構造

ラムのひとつを示す。これは、ダイナミック・シソーラス・エンジンのルール: グループ 1・項目 A の定義データを処理するものである。

```
#!/bin/sh

# ルール定義ファイルからルールを生成する。

dtset1a
dtset1b
dtset1c
dtset1d
dtset1e
dtset21
dtset22
dtset23
dtset24
dtset25
dtset26
dtset3
```

図 III.3: ルール生成プログラム (dte-rule)

```
#!/bin/sh

PRIFIL=1a1          # ●●●は/では etc.
PROFIL=1a2          # である/です/にある etc.
TYPE1A=dte1a.sed   # ルール抽出用データ出力ファイル

TEMP=/tmp/dte$$    # 作業用ファイル

cat $PROFIL |
sort -ru |
sed 's@^\.*$@s/\|(XXXXX)\|\|\|[\^{}]\|*\|\|&\$/\|1{A:\|2}&/@'> $TEMP

> $TYPE1A
for i in `cat $PRIFIL`
do
    sed "s/XXXXX/$i/" $TEMP >> $TYPE1A
done

rm $TEMP
```

図 III.4: DTE グループ 1・項目 A ルール処理プログラム (dtset1a)

ルール生成はダイナミック・シソーラス・エンジンの各グループ・各項目について、同様の処理を行ない、ルール抽出用データファイルを生成する。

2.2 前処理

図III.2 ②のプログラムである。前処理は入力データからダイナミック・シソーラス・エンジンに基づいてルール抽出する際に、あらかじめ入力データに施すデータ処理で、次のルール抽出と同時に行われる。

2.3 ルール抽出

図III.2 ③のプログラムである。前処理を行なった入力データに対して、ダイナミック・シソーラス・エンジンのルールに基づいて重要語句の抽出を行なう。前処理とルール抽出部分のプログラムを図III.5に示す。

抽出プログラムは今回は UNIX 上の日本語対応 sed を使用した。これでルールについて十分検証を行い、実行速度的に満足できなければ、専用プログラムを生成し対処することとする。

2.4 表示・出力

図III.2 ④のプログラムである。ルール抽出結果は図III.30のように、原文に抽出部分をマークアップしたデータを生成する。これにより抽出部分をカラー表示したり、他のプログラムに渡したりすることが可能となる。カラー表示を行なうプログラムを図III.6に示す。

2 プログラム構造

```
#!/bin/sh
#       ダイナミック・シソーラス・エンジン
#       Copyright (C) 1992
#
#       入力データ 前処理・ルール抽出処理

INFILE=datatype           # 入力ファイル指定

### 要旨のみ処理する           (-a で全文処理)
GREP="egrep '^●|^【要旨】'"
### 検出部分のみ出力する       (-s で全文出力)
SELC="egrep '●|{' | sed 's/【要旨】//;s/【標題】//;s/【内容】//'"

### オプションの設定
for i
do
    case $i in
        -a)  GREP="cat" ;;
        -s)  SELC="sed 's/\({.:}\)\{([\..] \)\2\1/g'" ;;
    esac
done

### 処理開始
cat $INFILE |
### 前処理
sed 's/\([とやがではを]\)\1/g' |
sed 's/!?!/!/g;s/...//g' |
sed 's/\([一ア-ケ亜-瑠]\)\1\2/g' |
### 要旨のみ処理
eval $GREP |
### 文単位に分割
/usr/local/bin/cout '. \!?!;' |
sed 's/[ \!?!;]//g' |
### ルール抽出処理
### group-1 抽出処理
sed -f type1a.sed |
sed -f type1b.sed |
sed -f type1c.sed |
sed -f type1d.sed |
sed -f type1e.sed |
### group-2 抽出処理
sed -f type21.sed |
sed -f type22.sed |
sed -f type23.sed |
sed -f type24.sed |
sed -f type25.sed |
sed -f type26.sed |
### group-3 抽出処理
sed -f type3.sed |
### 出力修正
sed 's/{.:}/g;s/{.:}\1/g' |
### 出力選択
eval $SELC
```

図 III.5: 前処理・ルール抽出処理プログラム (dte-run)

```
#!/bin/sh

HL='1'      # 高輝度表示
UL='4'      # アンダーライン表示
RV='7'      # 反転表示
RED='31'    # 赤色表示
GRN='32'    # 緑色表示
YLW='33'    # 黄色表示
BLU='34'    # 青色表示
VLT='35'    # 紫色表示
LBL='36'    # 水色表示
WTE='37'    # 白色表示

## 抽出部分カラー表示
sed 's/{\([ABC]\)}:/\{[SHL;${RED}m{\alpha[0;${RV};$HL;${VLT}m\1\alpha[0;${HL;${RED}m/g;
s/{\([0-9]\)}:/\{[SHL;${BLU}m{\alpha[0;${HL;${RV};${GRN}m\1\alpha[0;${HL;${BLU}m/g;
s/{\([\(\)\]}:/\{[SHL;${YLW}m{\alpha[0;${HL;${RV};${WTE}m\1\alpha[0;${HL;${YLW}m/g;
s/}/\}\alpha[m/g' < $1
```

図 III.6: 抽出処理結果表示プログラム (dte-view)

3 実行方法

3 実行方法

ダイナミック・シソーラス・エンジンシステムを動作させる方法について説明する。

3.1 ルール生成処理

```
% dte-rule
```

図III.4のコントロールプログラムを実行すると、ルール抽出プログラムが使用するプログラムデータを生成する。この前処理を行なうことにより、ルール定義データをルール抽出処理に反映することができる。

3.2 ルール抽出処理

```
% dte-run
```

図III.5のコントロールプログラムを実行すると、入力の書誌データまたは質問データを前処理しながら、ダイナミック・シソーラス・エンジンの抽出ルールに従って抽出部分をマークアップする。

3.3 表示・出力処理

```
% dte-view
```

図III.6のコントロールプログラムを実行すると、ダイナミック・シソーラス・エンジンによってマークアップされた出力データファイル(図III.30参照)を入力し、マークアップ部分を表示色を変えて表示する。

4 データ・ファイル

次にダイナミック・シソーラス・エンジンを実現するシステムで使用したデータファイル群を示す。

4.1 ルール定義ファイル

ダイナミック・シソーラス・エンジンのルール定義ファイルは、図III.7に全体像が示されているが、これらの各々について、具体的なデータを示す。尚、大量のデータについては、その一部分のみを示すが、全体はデータファイルに含まれているので、そちらを参照されたい。

各ルールに基づいて図III.7の様なデータを用意する。この表と実際のルール定義ファイル名との対応は、

{グループ}{項目}{ファイル}

のようになる。例えば第1グループ・A項目で使うファイルは、“1a1”と“1a2”である。また、*1～*4のファイルは、同一のルール定義データを使用している。

個々のルール定義ファイルの内容については、4章で説明する。

グループ	項目	ファイル					
		1	2	3	4	5	6
1	A	●●●は	である				
	B	●●●は	表現動作*1				
	C	書物語					
	D	表現動作*1	なにか				
	E	連体形*2	のか				
2	1	助詞-関連/主格	表現動作-受動				
	2	助詞-疑問	説明動作-説明				
	3	表現動作-連体	抽象名詞*2	助詞-関連/目的*3	表現動作-能動*4		
	4	助詞-関連/目的*3	形式名詞	抽象名詞*2	形式動詞	助詞-始点	表現動作-能動*4
	5	表現動作-終止					
	6	助詞-関連/目的*3	表現動作-能動*4				
3		括弧類					

図 III.7: ルール定義ファイル群

4 データ・ファイル

4.1.1 グループ 1-A

☒III.8にファイル“1a1”(●●●は)を示す。

☒III.9にファイル“1a2”(である)を示す。

4.1.2 グループ 1-B

☒III.10にファイル“1b1”(●●●は)を示す。

☒III.11にファイル“1b2”(表現動作動詞)を示す。

4.1.3 グループ 1-C

☒III.12にファイル“1c1”(書物語)を示す。

4.1.4 グループ 1-D

ルール定義ファイル“1d1”は“1b2”と同じである。(☒III.11参照)

☒III.13にファイル“1d2”(なにか)を示す。

4.1.5 グループ 1-E

☒III.14にファイル“1e1”(連体形)を示す。

☒III.15にファイル“1e2”(のか)を示す。

4.1.6 グループ 2-1

☒III.16にファイル“211”(助詞-関連/主格)を示す。

☒III.17にファイル“212”(表現動作動詞-受動)を示す。

4.1.7 グループ 2-2

☒III.18にファイル“221”(助詞-疑問)を示す。

☒III.19にファイル“222”(表現動作動詞-説明)を示す。

4.1.8 グループ 2-3

☒III.20にファイル“231”(連体形)を示す。

図III.21にファイル“232”(抽象名詞)を示す。

図III.22にファイル“233”(助詞-関連/目的)を示す。

図III.23にファイル“234”(表現動作動詞-能動)を示す。

4.1.9 グループ 2-4

ファイル“241”は、“233”と同じものを使用する。(図III.22参照)

図III.24にファイル“242”(形式名詞)を示す。

ファイル“243”は、“232”と同じものを使用する。(図III.21参照)

図III.25にファイル“244”(形式動詞)を示す。

図III.26にファイル“245”(助詞-始点)を示す。

ファイル“246”は、“234”と同じものを使用する。(図III.23参照)

4.1.10 グループ 2-5

図III.27にファイル“251”(表現動作動詞-終止)を示す。

4.1.11 グループ 2-6

ファイル“261”は、“233”と同じものを使用する。(図III.22参照)

ファイル“262”は、“234”と同じものを使用する。(図III.23参照)

4.1.12 グループ 3

図III.28にファイル“301”(括弧類)を示す。

本書は
本書では
本著作は
本特集は
本講座は
本号は
目的は
内容は
本書のねらいは
この辞典で

図 III.8: ルール定義ファイル (1a1)

である
です
にある

図 III.9: ルール定義ファイル (1a2)

本書は
本書では
本書の理論は
このマニュアルには
この本では

図 III.10: ルール定義ファイル (1b1)

説明し
系統化し
総観し
網羅してあり
概観し
紹介し
述べており
解きあかし
示し
解明し
収録し
分析し
アプローチしており
徹底解析し
述べられ
提供し
整理し
検証し
研究し
明らかにし
解き明かし
提案し
焦点をあて
示す
検討してきた
さぐろうとする
吟味した
詳説した
目指す
解き明かされる
めざす
探りだそうとする
提示した
解説した
探る
まとめた
示した
体系化する
意図した
収集した
分析する
提供する
まとめた
記録する
編集した
提起する

(以下省略)

図 III.11: ルール定義ファイル (1b2)

論文集
論
エッセイ集
書
ハンドブック
講座
意欲作
特集
入門
一冊
読本
入門書
作品
著述
名著
最前線
招待
提唱
焦点
対話
パラダイム・マップ
鳥瞰図

図 III.12: ルール定義ファイル (1c1)

とはなにか
とは何か
とは
はなにか
は何か

図 III.13: ルール定義ファイル (1d2)

涵養する
剔抉する
話し始めた
例証している
理解できる
理解する
利用されて行く
利用されつつある
来ている
抑制する
養う
用いる
用いられる
用いた
与えられた
誘う
躍り出た
訳された
役立つ
目指す
目に見える
命を賭けた
名づけた
満ちた
埋める
防ぐべき

図 III.14: ルール定義ファイル (1e1)

のぞろるか
のか
か

図 III.15: ルール定義ファイル (1e2)

についても
については
について
に関して
が

図 III.16: ルール定義ファイル (211)

解説されている
解説しています
解説している
解説する
解説した
解説

図 III.17: ルール定義ファイル (212)

なのかを
のかを
かを

図 III.18: ルール定義ファイル (221)

解説する
解説した
解説している
解説しています
解説\$
説明する
説明している
説明しています
説明し
教えてくれる
詳解しています

☒ III.19: ルール定義ファイル (222)

使った
集積されつつある
書き始め
書く
焦点を当てる
整理する
組み込んだ
展開されている
涵養する

☒ III.20: ルール定義ファイル (231)

研究
基礎
原理
こと
意味
理論

☒ III.21: ルール定義ファイル (232)

を
について
についても
については
に関して

図 III.22: ルール定義ファイル (233)

説明し
系統化し
総観し
網羅してあり
概観し
紹介し
述べており
解きあかし
示し
解明し
収録し
分析し
アプローチしており
徹底解析し
提供し
整理し
検証し
研究し
明らかにし
解き明かし
提案し
焦点をあて
示す
検討してきた
さぐるうとする
吟味した
詳説した
目指す
めざす
探りだそうとする
提示した

(以下省略)

図 III.23: ルール定義ファイル (234)

それらの
これらの
それら
これら
それ
これ
その
この

図 III.24: ルール定義ファイル (242)

となる
とある
になる
にある

図 III.25: ルール定義ファイル (244)

から
より

図 III.26: ルール定義ファイル (245)

探る
述べる
紹介
批判する
考察する
説き明かしていく
解説されている
捉え直す
解説する
述べている
提起している
説く
網羅
解説
提示する
光をあてる
紹介している
書かれている
めざす
論じている
紹介しています
紹介してあります
解説した
明らかにする
解説している
解説しています
目的とする
さぐる
まとめました
説明している

(以下省略)

図 III.27: ルール定義ファイル (251)

“”
◇
◇
「」
『』

図 III.28: ルール定義ファイル (301)

4.2 入力データ例

図III.29に入力書誌データの冒頭部分を示す。

4.3 抽出処理出力データ例

図III.30に抽出処理出力データの冒頭部分を示す。

- #1 ISBN4-326-15254-0 【B9116873】
 【標題】『語り得ぬもの』に向かって—ウイトゲンシュタイン的アプローチ 黒崎宏著 勁草書房 '91.6.15 245,5p 19cm(B6) ¥2,266(本体¥2,200)
 【要旨】言語・宗教・倫理をめぐるウイトゲンシュタインの思索—その核心は何か。著者の新しい境地と到達点を示す論文集。

- #2 ISBN4-320-02549-0 【B9114580】
 【標題】現実の脳 人工の心 ジョン・L. カースティ; アンダース・カールクビスト編; 中村正郎訳 共立出版 '91.5.25 316p 21cm(A5) ¥4,800(本体¥4,660) 原書名:Real Brains Artificial Minds (John L.Casti;Anders Karlqvist)
 【要旨】物理学・システム理論・人工知能・ニューラルネット・分子計算機の視点から『心』解明の道を探る。

- #3 ISBN4-06-153801-2 【B9110025】
 【標題】言語処理と機械翻訳 野村浩郷編 講談社 '91.5.20 211p 21cm(A5) ¥3,800(本体¥3,689)
 【要旨】機械翻訳の技術を成熟させるにはまだ多くの課題が残されているが、過去40年にわたり検討してきた技術を統合して機械翻躍システムとして実現する時期にきている。本書は、そのような観点に立ち、現在の機械翻訳の技術と将来の高度な技術を開発するための問題点を述べる。

- #7 ISBN4-88198-802-6 【B9114638】
 【標題】物語論辞典 ジェラルド・プリンス著; 遠藤健一訳 松柏社 '91.5.20 244p 21cm(A5) ¥3,800(本体¥3,689) 原書名:A Dictionary of Narratology (Gerald Prince)
 【要旨】この辞典で、定義し、説明し、例証しているのは、物語論に固有の用語、物語論に受容され元来の意味とは異なって使われている用語、及び、物語論的記述や議論に頻出し、かつ必須の用語であるが、本来的には意味論の領域に属している用語である。

- #8 ISBN4-274-07658-X 【B9113188】
 【標題】図解 自然言語処理 牧野武則著 オーム社 '91.5.15 140p 21cm(A5) ¥2,300(本体¥2,233) (COMシリーズ)
 【要旨】意味解析や文脈解析から応用システムの概観までを紹介。

- #10 ISBN4-7948-0085-1 【B9112194】
 【標題】経済学のコスモロジー—地球環境時代の経済原論 永安幸正著 新評論 '91.4.30 382p 21cm(A5) ¥3,914(本体¥3,800)
 【要旨】現代における経済とは何か?ソ連東欧の社会主義諸国の雪崩現象、情報化、ボーダーレス化の進行、生態系の危機の深刻化、様々な問題を抱える現代経済の意味解明に対し、『希少性』という観点から経済を系統化し、統合的な把握を試みる、地球環境時代の経済原論。

- #11 ISBN4-87378-276-7 【B9113082】
 【標題】本能行動とゲシュタルト知覚 大村敏輔著 福岡九州大学出版会 '91.4.30 187p 21cm(A5) ¥2,884(本体¥2,800)
 【要旨】本著作は、ローレンツの思想を、フロイトの『精神分析』やヘルムホルツの『無意識推理論』と関連づけて、行動と心とのからみあいをさぐるものとして、現在発展している動物行動学、認知科学などが十分に踏まえることなく飛びこえてきた分野に立ち戻って吟味した貴重な労作である。

図 III.29: 書誌データ入力ファイル

- #1 ISBN4-326-15254-0 【B9116873】
 【標題】 『語り得ぬもの』に向かって—ウィトゲンシュタイン的アプローチ 黒崎宏著
 勁草書房 '91.6.15 245,5p 19cm(B6) ¥2,266(本体¥2,200)
 【要旨】 {D:言語・宗教・倫理をめぐるウィトゲンシュタインの思索—その核心}は何か。
 {C:著者の新しい境地と到達点を示す論文集}。

- #2 ISBN4-320-02549-0 【B9114580】
 【標題】 現実の脳 人工の心 ジョン・L.カースティ;アンダース・カールクビスト編;中
 村正郎訳 共立出版 '91.5.25 316p 21cm(A5) ¥4,800(本体¥4,660) 原書名:Real Brains
 Artificial Minds (John L.Casti;Anders Karlqvist)
 【要旨】 {6:物理学・システム理論・人工知能・ニューラルネット・分子計算機の視点から
 『心』解明の道}を探る。

- #3 ISBN4-06-153801-2 【B9110025】
 【標題】 言語処理と機械翻訳 野村浩郷編 講談社 '91.5.20 211p 21cm(A5) ¥3,800(本
 体¥3,689)
 【要旨】 機械翻訳の技術を成熟させるにはまだ多くの課題が残されているが過去40年
 にわたり検討してきた技術を統合して機械翻訳システムとして実現する時期にきている。
 本書は{B:そのような視点に立ち、現在の機械翻訳の技術と将来の高度な技術を開発するた
 めの問題点}を述べる。

- #7 ISBN4-88198-802-6 【B9114638】
 【標題】 物語論辞典 ジェラルド・プリンス著;遠藤健一訳 松柏社 '91.5.20 244p 21cm(
 A5) ¥3,800(本体¥3,689) 原書名:A Dictionary of Narratology (Gerald Prince)
 【要旨】 この辞典で{D:定義し、説明し、例証しているのは、物語論に固有の用語、物語論
 に受容され元来の意味とは異なって使われている用語、及び、物語論的記述や議論に類出
 し、かつ必須の用語であるが、本来的には意味論の領域に属している用語}である。

- #8 ISBN4-274-07658-X 【B9113188】
 【標題】 図解 自然言語処理 牧野武則著 オーム社 '91.5.15 140p 21cm(A5) ¥2,300(本
 体¥2,233) (COMシリーズ)
 【要旨】 {6:意味解析や文脈解析から応用システムの概観まで}を紹介。

- #10 ISBN4-7948-0085-1 【B9112194】
 【標題】 経済学のコスモロジー—地球環境時代の経済原論 永安幸正著 新評論 '91.4.30
 382p 21cm(A5) ¥3,914(本体¥3,800)
 【要旨】 {D:現代における経済}とは何か?
 {C:ソ連東欧の社会主義諸国の雪崩現象、情報化、ボーダーレス化の進行、生態系の危機の
 深刻化、様々な問題を抱える現代経済の意味解明に対し、『希少性』という観点から経済を
 系統化し、統合的な把握を試みる、地球環境時代の経済原論}。

- #11 ISBN4-87378-276-7 【B9113082】
 【標題】 本能行動とグシュタルト知覚 大村敏輔著 福岡 九州大学出版会 '91.4.30 187p
 21cm(A5) ¥2,884(本体¥2,800)
 【要旨】 本著作は{A:ローレンツの思想をフロイトの『精神分析』やヘルムホルツの『
 無意識推理説』と関連づけて、行動と心とのからみあいをさぐるうとするものであり、現
 在発展している動物行動学、認知科学などが十分に踏まえることなく飛びこえてきた分野
 に立ち戻って吟味した貴重な労作}である。

図 III.30: 抽出処理出力データファイル

IV 評価実験

1 評価実験方法

1.1 評価の背景

書籍・論文においては、「著者の意図」「本文」「要旨・抄録」「標題」「キーワード」の間には、図IV.1のような関係が成り立つとされている。

この図が意味しているのは、著者の頭の中に漠然とある「著者の意図」が「本文」に言語で表現され、「本文」のエッセンスが「要旨・抄録」に簡潔にまとめられ、さらにその中心概念を典型的な句もしくは文で表現したものが「標題」となり、単語で表現したものが「キーワード」ということを表わしている。「キーワード」は、通常、索引者が「要旨・抄録」「標題」を参考にして付与する。このプロセスを、「情報の圧縮」という言葉で表現することができる。

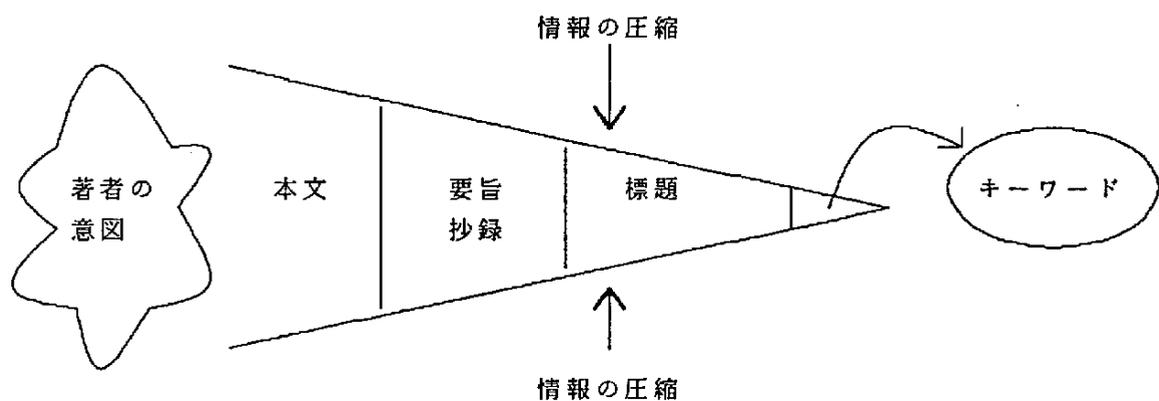


図 IV.1: 情報の圧縮

1.2 評価の尺度

索引作成支援システム (Machine-Aided Indexing System) として、その性能を評価するためには、「要旨・抄録」から抽出したキーワードを、以下の2点から評価する必要がある。

1) Title Keyword (標題キーワード)

「要旨・抄録」の中心概念を典型的な句または文で表現したものが「標題」であるとする、「標題」がキーワードを含んでいる確率はきわめて高い。従って、抽出キーワードと「標題」を比較することによって、索引作成支援システムがどの程度「要旨・抄録」の中心概念を再現しているかを評価することができる。

2) Indexed Keyword (人間が付与したキーワード)

索引者は、「要旨・抄録」と「標題」を総合的に判断してキーワードを付与する。従って、索引者が付与したキーワードと比較することによって、索引生成支援システムの精度を評価することができる。

本プロジェクトの使用データベースは、BOOK データベースである。この各データの「要旨」は、主に本の帯、ジャケットなどを基にしており、多分に広告、キャッチフレーズの性質を帯びている。また、「標題」も、読者の関心を引くための表現になっていることが多い。そのため、「要旨」の中心概念が「標題」に凝縮して表現されていると考えるよりも、「要旨」と「標題」全体で一つの概念を完成させていると判断できる。

例:#22

【標題】 フッサールとフレーゲ

【要旨】 現象学と分析哲学のルーツへ。二人は同じ〈哲学的世界〉に住んでいた。実りある交流を促す。

例えば、データ#22では、キーワードとなるべき「フッサール」「フレーゲ」が要旨では、「二人」と置き換えられてしまっている。

BOOK データベースのこの性質を考慮して、本プロジェクトでは、抽出キーワードを標題とは比較せず、もっぱら人間が抽出したキーワードと比較することにする。

1.3 人間が抽出したキーワード

評価を行なうためには、比較対象となる人間によるキーワードを決定する必要がある。

1 評価実験方法

DTE システムの目的は、要旨を対象に、主題を的確に表現しているキーフレーズを抽出することにある。そこで、本プロジェクトでは、人間が BOOK データベースの要旨を検討し、キーワードを設定した。

この作業を進める際に、次の2点に留意した。

- 主題を表わすものだけに限り、事項を表わすものは含めない。
- 「要旨」に表記された通りの表現を採用する。総合的な判断をして、別語で置き換えることはしない。

例: #2

【標題】 現実の脳 人工の心

【要旨】 物理学・システム理論・人工知能・ニューラルネット・分子計算機の視点から『心』解明の道を探る。

この要旨の中では、主題を表わすキーワードは「心」であり、事項を表わすキーワードは「物理学」「システム理論」「人工知能」「ニューラルネット」「分子計算機」である。このことに対し、人間が抽出したキーワードは「心」だけである。

1.2で述べたように、BOOK データベースの要旨は、キャッチフレーズの性質を帯びていることがある。次の4つのデータでは、要旨に人間が抽出すべきキーワードが表現されていないと判断し、評価作業から除外した。

#5

【標題】 ゲーム少年の夢

【要旨】 勉強嫌いのゲーム少年が太平洋を渡り、博士号を取得するまでの鮮やかな軌跡。

注:この本は富田勝氏の自伝であり、機械翻訳の開発などについて書かれている。

#149

【標題】 構造意味論-方法の探究

【要旨】 現在欧米諸国で、単に言語学関係者ばかりでなく、一般知識人にとって古典的著作となっているグレマスの代表作で、長らく刊行が待たれていた待望の日本語版。

注:この本が「意味論」について述べていることは、要旨からは判断できない。

#170

【標題】 言語とコミュニケーション

【要旨】 本書は昭和61年夏学期に、東京大学経済学部で行なわれた『総合科目(一般教育)』の12人の講師による12回の講義の講義録を、各講師が手を入れて纏めた論文12編からなる。

注:要旨には、講義の内容が表現されていない。

#193

【標題】 コンピュータ類出用語徹底解説

【要旨】 現在、機械翻訳システムが急速に普及しようとしています。しかし、だからといって、翻訳者が不要になるかという、そうでもなさそうです。と言うのは、現在の翻訳システムはほとんど大型コンピュータでのみ動くため、一般には普及していないことと、翻訳システムが不完全なため、プレエディットとポストエディットの作業がかなり必要なためです。これからも優秀な翻訳者が必要とされ、従って本書も利用されて行くことと思います。

注:要旨には、この本がコンピュータ用語の解説書であることは表現されていない。

1.4 システムが抽出したキーワードと人間が抽出したキーワードの照合法

照合法には、「形態一致」と「意味的一致」がある。

- 1) 形態一致とは、表記が完全に一致する場合である。例えば、「コンピューター」と形態一致するものは「コンピューター」のみであり、「コンピュータ」や「電子計算機」は形態一致とは見なさない。
- 2) 意味的一致は、表記は異なっているが、指示している内容が同じ場合である。例えば、「コンピューター」「コンピュータ」「電子計算機」「電算機」「計算機」は、お互いに意味的一致と見なすことができる。

前述したように、本プロジェクトでは、人間が抽出したキーワードは要旨に表記された通りの表現のみを採用し、別語で置き換えることはしない。従って、ii) で述べた「意味的一致」は考慮しない。

今回の評価作業では、次の3つの場合に、要旨から抽出したキーワードが有効であると見なした。

- 人間が抽出したキーワードとシステムが抽出したキーワードが形態一致した場合
例: 人間抽出キーワード…「人工知能」、システム抽出キーワード…「人工知能」

- 人間が抽出したキーワードが、システムが抽出したキーワードの一部である場合
例: 人間抽出キーワード…「現代中国語」、システム抽出キーワード…「現代中国語
読本」
- 人間が抽出したキーワードが、システムが抽出した複数のキーワードの組み合わせである場合
例: 人間抽出キーワード…「Turbo Prolog」
システム抽出キーワード…「Turbo」と「Prolog」

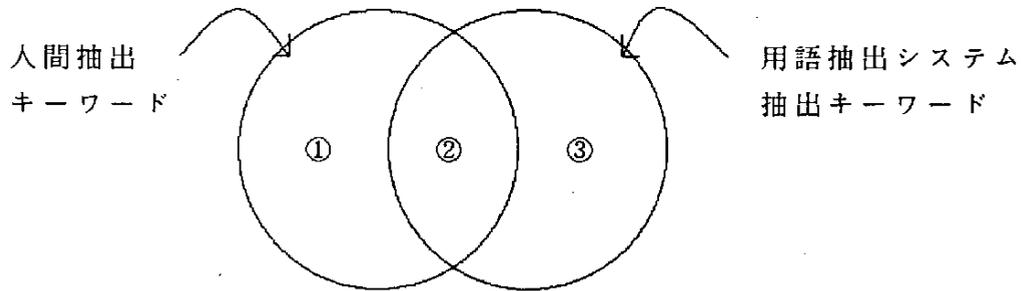
1.5 評価方法

評価の材料となるものは、以下の3つである。

- 1) 要旨から 人間 が抽出したキーワード
- 2) 要旨から 用語抽出システム が抽出したキーワード
- 2) 要旨から SYSTEM (DTE+用語抽出システム) が抽出したキーワード

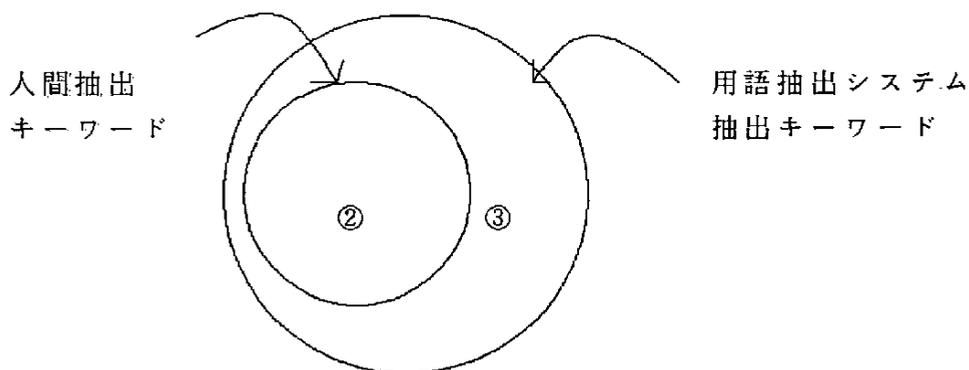
評価は、用語抽出システムと SYSTEM が抽出したキーワードを、それぞれ人間が抽出したキーワードと比較することによって行なう。人間、用語抽出システム、SYSTEM の3者の関係は次のようにまとめることができる。

人間が抽出したキーワードと用語抽出システムが抽出したキーワードの関係

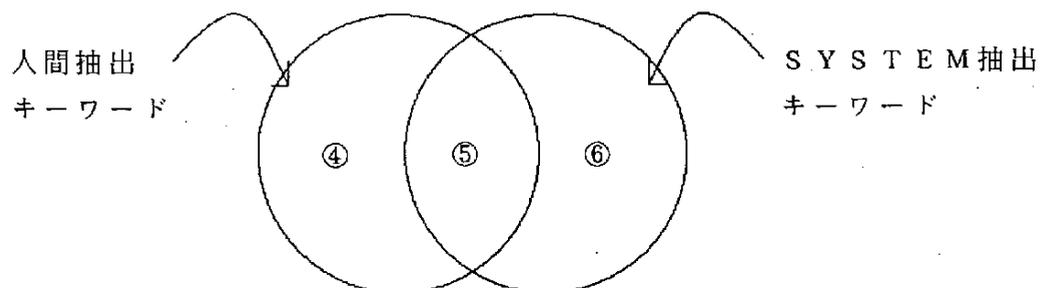


- ① 人間が抽出したキーワードには含まれているが、用語抽出システムが抽出したキーワードには含まれていないもの
- ② 人間が抽出したキーワードと用語抽出システムが抽出したキーワードの両方に含まれているもの
- ③ 用語抽出システムが抽出したキーワードには含まれているが、人間が抽出したキーワードには含まれていないもの

ただし、今回の評価方法では、人間が抽出したキーワードと用語抽出システムが抽出したキーワードのどちらも、要旨に表記された通りの表現を採用するので、①の数は実質的には0になる。従って、実際には、次のような関係になる。



人間が抽出したキーワードと SYSTEM が抽出したキーワードの関係



- ① 人間が抽出したキーワードには含まれているが、SYSTEM が抽出したキーワードには含まれていないもの
- ② 人間が抽出したキーワードと SYSTEM が抽出したキーワードの両方に含まれているもの
- ③ SYSTEM が抽出したキーワードには含まれているが、人間が抽出したキーワードには含まれていないもの

②、③、⑤、⑥の数をカウントし、用語抽出システムが抽出したキーワードの適合率と SYSTEM が抽出したキーワードの適合率を計算する。

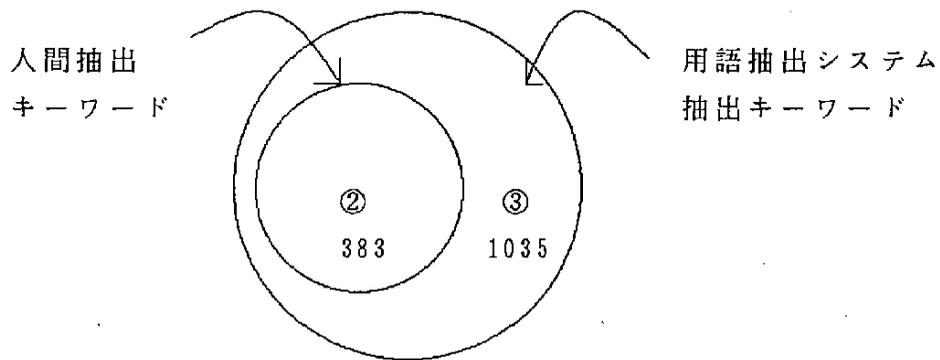
	用語抽出システム	SYSTEM
適合率 (%)	$\frac{\textcircled{2}}{\textcircled{2} + \textcircled{3}} \times 100$	$\frac{\textcircled{5}}{\textcircled{5} + \textcircled{6}} \times 100$

この2つの数値を比較し、SYSTEM が抽出したキーワードの適合率が用語抽出システムが抽出したキーワードの適合率よりも大きければ、SYSTEM が有効であると言えることができる。

2 評価結果

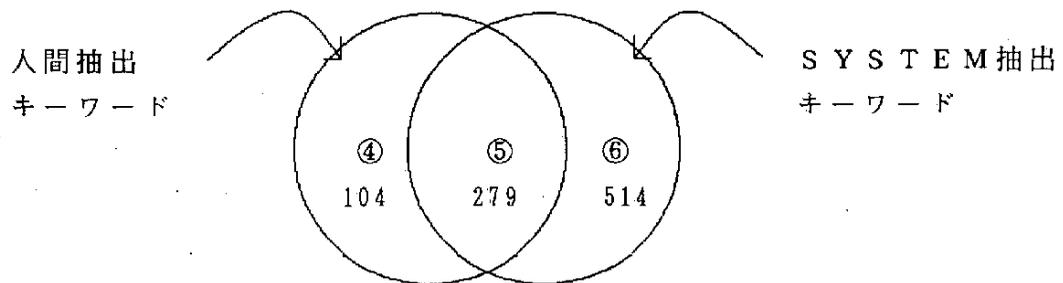
2.1 適合率の算出

人間が抽出したキーワードと用語抽出システムが抽出したキーワードの関係



(データ件数:134件、以下同様)

人間が抽出したキーワードとSYSTEMが抽出したキーワードの関係



2 評価結果

前ページの数字を使用して適合率を計算する。

$$\text{用語抽出システム適合率} = \frac{\textcircled{2}}{\textcircled{2} + \textcircled{3}} \times 100 = \frac{383}{383 + 1035} \times 100 = \underline{27.0\%}$$

$$\text{SYSTEM適合率} = \frac{\textcircled{5}}{\textcircled{5} + \textcircled{6}} \times 100 = \frac{279}{279 + 514} \times 100 = \underline{35.2\%}$$

2.2 適合率の評価および問題点と対策

用語抽出システム適合率	SYSTEM 適合率
27.0%	< 35.2%

前者よりも後者の数字が大きいことから、SYSTEM は、用語抽出システムを単独に使用する場合よりも、真のキーワードを効率的に抽出することができると言える。言い換えると、SYSTEM は、用語抽出システムを単独で使用した場合よりも、 $35.2\% - 27.0\% = 8.2\%$ の改善をもたらしたと言うことができる。

問題点および対策として以下のことが考えられる。

1) キーフレーズの範囲が広すぎる

DTE システムで抽出するキーフレーズの範囲が広すぎて、無駄な部分を含んでいることが多い。このキーフレーズの中からより重要な部分のみを抽出するように、ルールを強化する必要がある。

このためには、現在切り出されているキーフレーズの内部構造をさらに解析する技術が不可欠となる。

データ#126 は第1グループのルール B によって、また、データ#28、#76 は第1グループのルール C によって、要旨の全部あるいは大部分がキーフレーズとして切り出されている。しかし、下線部 (___) の表現動作動詞に注目して、さらに細かな分析を進めることによって、枠囲部 (□) の真のキーワードをより効果的に抽出できる可能性がある。

#126

【標題】 LISP による自然言語処理

【要旨】本書は {B:AIのコンピュータ言語ともいふべき□LISP□を用いた□自然言語処理□をできるだけやさしく解説することを} 目的としている。したがって、LISP の関数は出来るだけ基本的なものを少数用いるようにした。

#28

【**標題**】 『意味』の地平へーレヴィ・ストロース、柳田国男、デュルケーム【**要旨**】 {C:主としてレヴィ・ストロースの**構造主義理論**を現代的な視点から平明に解説し柳田国男、デュルケームとの意外性と示唆に富んだ知のトリアーデを構成するなかで人が生きる『**意味**』をそして世界の『**意味**』を探りだそうとする知的冒険の書}。

#76

【**標題**】 ふろしき文化のポスト・モダン—日本・韓国の文物から未来を読む【**要旨**】 {C:ふろしき、屏風、座蒲団、お膳…近代合理主義が『アジア的停滞』として捨ててきた古いものに、**ポスト産業時代の文化**のパラダイムを探るユニークな**比較文化論**}。

データ#100では、表現動作動詞「徹底解析し」の本当の目的語は、真のキーワードを含んでいる「**子ども**たちの**思考過程**」である。しかし、現在のルールでは、「授業実践」が目的語と判断され、キーフレーズとして切り出される。正しい解析をするためには、「四つの傑出した授業実践を素材に」という部分が挿入句であるということを判断する必要がある。

#100

【**標題**】 すぐれた授業とはなにか—授業の認知科学【**要旨**】 **子ども**は教室で生きている、もがいている、考えている。一教室の中で火花を散らしている**子ども**たちの**思考過程**を、四つの傑出した{6:授業実践}を素材に、4人の教育学者が**徹底解析し**、{6:新しい『**授業**の**認知科学**』}の方向}をさぐる。

データ#24では、第1グループのルールAによって、{A:…}内がキーフレーズとして切り出されているが、「に関する」という助詞を鍵にして、真のキーワード「人工知能」だけを切り出すことができるルールの可能性を探る必要がある。

#24 【**標題**】 図解 人工知能入門【**要旨**】 本書は、{A:**人工知能**に関する初心者向けの解説書}です。特に、図を多くし、文章をやさしくして、初心者にもわかりやすいように心がけています。

2.3 欠落キーワードの原因と対策

人間が付与したキーワード(②または④+⑤)が383であるのに対して、SYSTEMが抽出できたキーワード(⑤)は279である。つまり、SYSTEMでは、 $383 - 279 = 104$ のキーワードが欠落していることになる。

SYSTEMのキーワード適合率を上げるためには、この欠落キーワードをできるだけカバーするルールを作らなければならない。

欠落の原因、および対策として次のことが考えられる。

1) 表現動作動詞以外の動詞の整理

現在の第2グループのルールは、動詞の基本概念として表現動作動詞のみを考慮している。表現動作動詞が真のキーワードを抽出するのに有効であることは確認できたが、表現動作動詞を含まない要旨も存在する。表現動作動詞以外の動詞を整理し、相対的に重要なキーフレーズを切り出すための新たなルールを作成することが必要である。

以下のデータは、表現動作動詞を含んでいない例である。

(枠囲部が人間が付与したキーワード)

#72

【標題】 知の体得—認知科学への提言

【要旨】 知的な努力が喚起される場合とは、逆にいえば言語そのものもつ限界を知的な努力でもって積極的に補ってゆかなければならないような場合である。言語のもつ限界は一つにはわれわれが直面する事象がこれすべて変型であるにもかかわらず、それらある典型として言葉で表現しなければならぬという事実にある。

#92

【標題】 オルタナティブ・ヴィジョン—新たな価値体系の思潮

【要旨】 あらゆる価値観の相対比に直面して、確信をもって選択することがますます困難になってゆく現代、7人の真摯な探究者たちのことばから、何かの示唆を得ることができるに違いない。

#130

【標題】 人工知能 BASIC

【要旨】 本書のプログラミングを利用すれば、コンピュータ科学のほとんど

の分野に関連した手技の実例、学生の研究課題と討論材料を備えた「人工知能」の初年度あるいは入門教程を構成できる。

2) 連体止めの文の扱い

BOOK データベースの要旨の中には、連体止めの文が多い。第1グループのルール C でも、主に書籍に関する連体止めの表現を扱っているが、その他の連体止めに関するルールを作る必要がある。これは、このデータベースに特有なルールで、他のデータベースに応用することは出来ないが、個々のデータベースにおける適合率を上げるためには必要な対応であろう。

#47

【標題】 現代哲学の冒険 14 浮遊する意味

【要旨】 思考 の「メタモルフォーゼ」。現代の危機を映す意識の冒険。「パラドックス」に直面した「思考」が示す跳躍寸前のスタンス。円環、螺旋、遊動言語と「意識」の〈不可能な回路〉。

#120

【標題】 AI-人工知能のコンセプト

【要旨】 「エキスパート・システム」、機械翻訳、「知能ロボット」…。科学者の遊戯的空間から〈知〉を増幅させて、ビジネスの舞台に躍ら出た「AI」。言語の〈ゆらぎ〉〈あいまいさ〉を感知する無謬装置ははたして可能なのか。気鋭の著者が現代思想のなかに錐鉛を下ろした意欲作}。

V 結論

1 結論

辞書依存のみによる従来のキーワード抽出システムでは全ての単語を抽出するが、それらの単語の全てが目的とするキーワードとは必ずしもならない。検索精度を上げるためには、人間による選別作業のように、文意に基づいて主題該当語を抽出する必要があり、その自動抽出システムをダイナミックソーラス・エンジンとして実現した。このことによって我々は、適合率を約10%上げることが出来るという成果を見た。だが当開発実験の結果、幾多の問題点も判明したので、今後の課題として列挙する。

2 問題点と課題

2.1 主題該当”語句”抽出のための文意解析

当作業を可能とするための石川方式の適用 (特に表現動作動詞に結合する名詞句の抽出) および、新たに発見・定義した主題該当表現パターンの適用が、今年度の研究開発作業の中心となり、この両方式による主題該当語句の抽出で一定の成果を達成したが、なお更に、石川方式の動詞基本概念で表現動作動詞以外による主題該当語句抽出ができる可能性、およびまだ未発見・未定義の主題該当語句表現構文パターンを発見・定義できる可能性を、より多くの記事に適用することで追究し、ダイナミックソーラス・エンジンのルール体系を更に完璧なものとする必要がある。

2.2 主題該当名詞句内の主題該当語と主題関連語の判別

BOOK データベースの主題関連項目は【標題】、【要旨】および【内容】だが、標語的記述や簡条書の【標題】は主題該当語句と見なせ、簡条書きの【内容】は主題該当語句または主題関連語句群と見なせるが、それらの内で主題該当語と主題関連語を自動的に判別・抽出

し、かつ相互の論理関係(首位、等位、従属、AND、OR、NOTなど)をも自動的に付与できるルールを発見・定義することが必要と判明した。

更に主題該当・関連語が複合語である場合が多いので、それを構成単語や構成複合語に分割して有用な単語と複合語のみを網羅的に抽出するルールの開発も必要と判明した。

2.3 データベース構造とデータ執筆自由裁量性への対応

【標題】は内容のいかんを問わず主題該当語句と見なさざるを得ないが、象徴的表現や過度の抽象的表現になっていることも多く、【要旨】は【標題】内容の言い換えと詳細化であるものばかりではなく、単なる補足や感想や出版経過説明や適正読者層案内になっている場合もある。

ダイナミックシソーラス・エンジンによる【要旨】の文意解析で主題該当語句が抽出されない場合の原因が上記「2.1」によるものでなく、当原因によるものばかりとなれば、ダイナミックシソーラス・エンジンも完成に近いと言えよう。

3 ダイナミックシソーラス・エンジンの再確認

3.1 作動機構

図V.1の説明の通り、今年度は⑥記事項目(フィールド)特性を勘案して文意解析対象を【要旨】に限定し、①②文意解析で主題該当構文を判別・抽出し、③④用語抽出処理で主題該当単語を判別・抽出するところまで実験し、ダイナミックシソーラス・エンジンとしての作動と拡充可能性を確認できたが、エンジン全体の本格作動の為に的確な用語抽出処理のための体言シソーラスの精巧化(特定語と一般語の判別など)⑦統語解析・変換(平成2年度報告5ページを参照)機能の開発、⑧形態素(品詞)解析作業、より広範な動詞概念分類の適用、⑨文脈解析・編成機能の組み込みなど補完を要する機能が多々判明した。

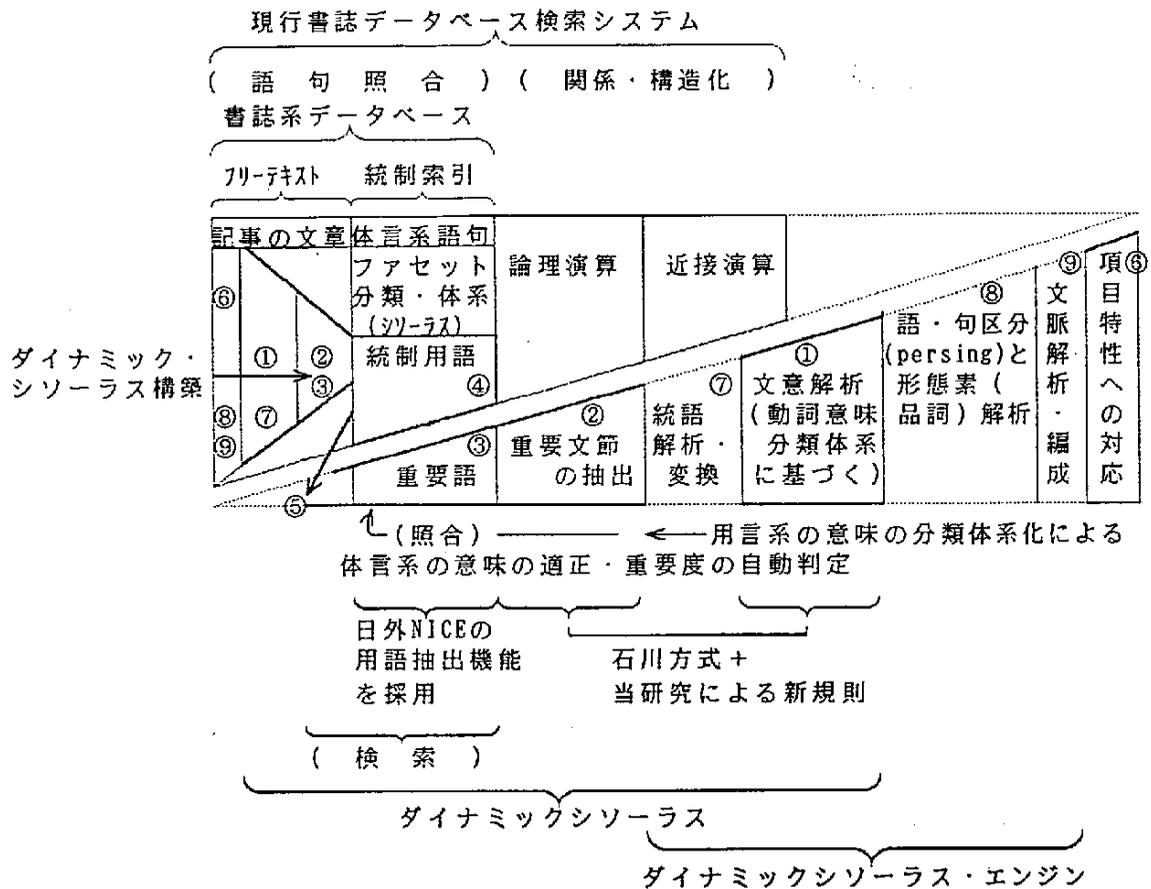


図 V.1: ダイナミックシソーラス・エンジンの機構

3.2 成果と課題

動詞概念分類や構文パターンを判別子とする文意の骨格が文意自動解読の基本条件(インフラ)であると判明すると共に、文意自動解読をより精密なものとするためには、これらの定義の一層の拡充は当然として、更に下記の研究開発が必要と見られる。

- 1) 複合語構成語句の要素語句への分解と無用語の排除。
- 2) 名詞(体言)句として抽出された主題該当。関連構文の統語変換(用語から構文)への書換え)と文意解析へのフィードバック。
- 3) 被抽出構文構成語句間の論理・優先関係の判別・定義。
- 4) 以上の作業ををより精巧なものとするための高度品詞区分(PARSING)技法の採用。
- 5) 石川方式のより理学的な検証(応用を急がず、表現動作動詞以外の動詞基本概念分類を市販抄録の表題、要旨、抄録に適用し、作動状況をじっくり観察する)。
- 6) 以上を土台とした文章全体の文脈解析・編成(構造化)のための計算言語技術の開発。

4 今後の展望と抱負

3.2で述べた成果と課題を次年度の研究開発目標としダイナミックシソーラス・エンジンを実証的で実用可能なものとしたい。

付録 A 添付資料 (処理データ)

● #1 ISBN4-326-15254-0 【B9116873】

【標題】 『語り得ぬもの』に向かって—ウィトゲンシュタイン的アプローチ 黒崎宏著 勁草書房 '91.6.15 245,5p 19cm(B6) ¥2,266(本体 ¥2,200)

【要旨】 言語・宗教・倫理をめぐるウィトゲンシュタインの思索—その核心は何か。著者の新しい境地と到達点を示す論文集。
【内容】 1 哲学史上のウィトゲンシュタイン (知性解放の哲学者ウィトゲンシュタイン; 哲学史上のウィトゲンシュタイン; ウィトゲンシュタインとラッセル; ウィトゲンシュタインは世紀末の哲学者か); 2 言語 (ウィトゲンシュタインの言語観の一面—メタ言語の不可能性; ウィトゲンシュタインにおける言語観の革命—1920年代前半を中心として; ウィトゲンシュタインの意味論—その展開と帰結; 道元・臨濟・ウィトゲンシュタイン—言語をめぐる); 3 倫理・宗教 (ウィトゲンシュタインと倫理学—『語り得ぬもの』については、沈黙しなければならない); 私という存在—クリプキとウィトゲンシュタイン; ウィトゲンシュタインと現代—彼の哲学の宗教的意義; 良寛・道元・ウィトゲンシュタイン—科学と宗教をめぐる); 4 付録 (ウィトゲンシュタインとマグリット; ウィトゲンシュタインと建築; ウィトゲンシュタインとゲーデル)

● #2 ISBN4-320-02549-0 【B9114580】

【標題】 現実の脳 人工の心 ジョン・L. カースティ; アンダース・カールクビスト編; 中村正郎訳 共立出版 '91.5.25 316p 21cm(A5) ¥4,800(本体 ¥4,660) 原書名: Real Brains Artificial Minds (John L. Casti; Anders Karlqvist)

【要旨】 物理学・システム理論・人工知能・ニューラルネット・分子計算機の視点から『心』解明の道を探る。
【内容】 数学と科学における構文論の有効範囲について—機械比喩; 内在物理学; 行動主義から認知科学へ—脳、心、そして仕組みをシステム理論的に探る; 人工知能と計算機科学; 視覚と認知の研究のための計算的理論; ニューラル・ネットワークにおける計算可能な関数と計算量; 神経回路網における連想記憶としきい値制御; 人工知能と神経生理学—二つの必然的問いかけ; 分子計算機の設計—脳理論に対する合成的アプローチ

● #3 ISBN4-06-153801-2 【B9110025】

【標題】 言語処理と機械翻訳 野村浩邦編 講談社 '91.5.20 211p 21cm(A5) ¥3,800(本体 ¥3,689)

【要旨】 機械翻訳の技術を成熟させるにはまだ多くの課題が残されているが、過去40年にわたり検討してきた技術を統合して機械翻訳システムとして実現する時期にきている。本書は、そのような観点に立ち、現在の機械翻訳の技術と将来の高度な技術を開発するための問題点を述べる。

【内容】 1章 機械翻訳の概要; 2章 言語処理の基本技術; 3章 機械翻訳システムにおける辞書の構成; 4章 概念表現と機械翻訳; 5章 意味理解と機械翻訳; 6章 文明と意味と機械翻訳

● #4 ISBN4-320-02434-6 【B9113027】

【標題】 自然言語処理入門 岡田直之著 共立出版 '91.5.20 155p 21cm(A5) ¥2,230(本体 ¥2,165) (情報・電子入門シリーズ9)

【内容】 1 自然言語処理とは; 2 言語理論; 3 言語処理; 4 プログラミング技法; 5 言語データ

● #5 ISBN4-06-205285-7 【B9113542】

【標題】 ゲーム少年の夢 富田勝著 講談社 '91.5.20 263p 19cm(B6) ¥1,200(本体 ¥1,165)

【要旨】 勉強嫌いのゲーム少年が太平洋を渡り、博士号を取得するまでの鮮やかや軌跡。

【内容】 序章 ゲーム少年の夢; 第1章 少年時代回想記; 第2章 高校三年間の『馬術ゲーム』; 第3章 インベーダーゲームの名人; 第4章 ゲームソフトを作って売って儲ける; 第5章 コンピュータ将棋と人工知能; 第6章 アメリカ留学の夢; 第7章 博士号への道のり; 第8章 夫婦で勉強した話; 第8章 網膜剥離症で突如の入院; 第10章 アメリカでの出産日記; 第11章 人工知能と自動翻訳; 第12章 博士号を授与された日; 第13章 アサヒスーパードライ CM撮影の裏話; 第14章 自作の唄を歌ってプロポーズ; 終章 『夢』実現のための『四つ』の鍵; 付録 米国大学(院)合格の秘訣

● #6 ISBN4-88848-144-X 【B9114390】

【標題】 看護と保育のためのコミュニケーション—対人関係の心理学 坂口哲司著 京都 ナカニシヤ出版 '91.5.20 174p 21cm(A5) ¥2,000(本体 ¥1,942)

【内容】 第1章 対人関係コミュニケーションの意義; 第2章 表情コミュニケーション; 第3章 視線コミュニケーション; 第4章 身振り・姿勢・周辺言語コミュニケーション; 第5章 空間的行動コミュニケーション; 第6章 筆跡・外観等コミュニケーション; 第7章 カウンセリング場面に生かす; 第8章 社会的知覚コミュニケーション; 第9章 印象形成コミュニケーション; 第10章 対人認知コミュニケーションを歪める要因; 第11章 対人魅力コミュニケーション; 第12章 対人関係の認知理論

● #7 ISBN4-88198-802-6 【B9114638】

【標題】 物語論辞典 ジェラルド・プリンス著; 遠藤健一訳 松柏社 '91.5.20 244p 21cm(A5) ¥3,800(本体 ¥3,689) 原書名: A Dictionary of Narratology (Gerald Prince)

【要旨】 この辞典で、定義し、説明し、例証しているのは、物語論に固有の用語、物語論に受容され元来の意味とは異なっており使われている用語、及び、物語論的記述や議論に頻出し、かつ必須の用語であるが、本来的には意味論の領域に属している用語である。

● #8 ISBN4-274-07658-X 【B9113188】

【標題】 図解 自然言語処理 牧野武則著 オーム社 '91.5.15 140p 21cm(A5) ¥2,300(本体 ¥2,233) (COMシリーズ)

【要旨】 意味解析や文脈解析から応用システムの概観までを紹介。

【内容】 1 言葉を理解する計算機; 2 言葉を理解する; 3 形態素を処理する; 4 構文を解析する; 5 文の成立ち; 6 意味を理解する; 7 文脈を理解する; 8 辞書と知識ベース; 9 自然言語処理の応用

● #9 ISBN4-7853-1067-7 【B9112985】

【標題】 AIテクノロジー Alan Bundy 編; 富士総合研究所編訳; 宮沢信一郎監訳 裝華房 '91.5.10 201p 19cm(B6) ¥2,060(本体 ¥2,000) 原書名: Catalogue of Artificial Intelligence Techniques, Third Revised Edition <Alan Bundy>

【内容】 自動プログラミング; コンピュータアーキテクチャ; データモデル; エキスパートシステム; ゲーム理論; 推論; 知識表現; 学習; 論理プログラミング; 自然言語; プランニング; 問題解決; プログラミング言語; 探索; 定理証明

● #10 ISBN4-7948-0085-1 【B9112194】

【標題】 経済学のコスモロジー—地球環境時代の経済原論 永安幸正著 新評論 '91.4.30 382p 21cm(A5) ¥3,914(本体 ¥3,800)

【要旨】 現代における経済とは何か? 連東欧の社会主義諸国の雪崩現象、情報化、ボーダーレス化の進行、生態系の危機の深刻化、様々な問題を抱える現代経済の意味解明に対し、『希少性』という観点から経済を系統化し、統合的な把握を試みる、地球環境時代の経済原論。

【内容】 プロローグ 経済の道をたずねて; 第1部 エコノミーの意味論(経済の意味をたずねて—経済のコスモロジー; モラルとしての経済の原型; 意味と方法への省察); 第2部 希少性と豊饒性のエコノミクス(希少性一本で考える—L・ロビンズ説の検討; ケインズから現代へ—発展と豊饒の経済理論; ミクロとマクロと—合理性の理論展開); 第3部 価値と体制のエコノミクス(マルクス・モデルを読み直す—資本主義と社会主義; 経済人類学の眼から—交換のセマンティクス; 経済システムと情報化の理論—ポスト社会主義); 第4部 生命系のエコノミクス(地球生命系の経済学を考える—エコノミーとエコロジーと; 経済循環論の拡張と一般価値論の展開; 生命系の経済学を求めて—玉野井経済学の軌跡と意味); エピローグ 経済理論再構築への鍵

● #11 ISBN4-87378-276-7 【B9113082】

【標題】 本能行動とゲシュタルト知覚 大村敏輔著 福岡九州大学出版会 '91.4.30 187p 21cm(A5) ¥2,884(本体 ¥2,800)

【要旨】 本著作は、ローレンツの思想を、フロイトの『精神分析』やヘルムホルツの『無意識推理説』と関連づけて、行動と心とのからみあいをさぐるようとするものであり、現在発展している動物行動学、認知科学などが十分に踏まえることなく飛びこえてきた分野に立ち戻って吟味した貴重な労作である。

【内容】 第1章 序論と課題の限定; 第2章 ローレンツの本能行動説; 第3章 系統発生的適応と経験(学習)による行動修正の可能性; 第4章 生得的解図式の独自エネルギー(活動特殊エネルギー)とその機能的特性; 第5章 解図体の構造と機能; 第6章 活動特殊エネルギー説の検討; 第7章 ゲシュタルト知覚の卓越した認識機能; 第8章 一般的考察と結論

● #12 ISBN4-563-00795-1 【B9111726】

【標題】 自然言語の論理処理 R. F. シモンズ著; 藤田米春; 岡田直之訳 培風館 '91.4.25 335p 21cm(A5) ¥3,914(本体 ¥3,800) (情報処理シリーズ 15) 原書名: COMPUTATIONS FROM THE ENGLISH <Robert F. Simmons>

【要旨】 本書は、自然言語の計算機処理を実現するために、手続き型論理によって英語を表現する手法を用い、その方法を詳説した入門書である。自然言語理解を目指す学部上級生、大学院生、若手技術者、あるいはそのことに関心をもつ言語学や心理学の研究者にとっての好個の書である。

【内容】 1 現在と未来; 2 知識と通信; 3 論理の立場; 4 英語テキストの構成要素を表現すること; 5 文を意味関係に翻訳すること; 6 積み木を積みロボットに命令すること; 7 文書データベースに問い合わせること; 8 物語図式の事例研究; 9 テキストについて質問し要約すること; 10 構文解析と言い換え; 11 知識システム; 付録 A HCPFRVR を使うこと; 付録 B 8章のロケット物語のさらなる解析

● #13 ISBN4-7828-0060-6 【B9111327】

【標題】 自然言語の意味論—モンタギューから『状況』への展開 白井賢一郎著 産業図書 '91.4.22 297p 21cm(A5) ¥3,296(本体 ¥3,200)

【内容】 第1章 自然言語の明示的な意味論研究; 第2章 一般量量子理論の展開; 第3章 内包論理とタイプ理論の展開; 第4章 ディスコース表示理論の展開; 第5章 状況意味論の展開

● #14 ISBN4-306-04278-2 【B9111322】

【標題】 建築美論の歩み 井上充夫著 鹿島出版会 '91.4.20 334p 21cm(A5) ¥4,532(本体 ¥4,400)

【内容】 第1章 古代—『善=美』の思想(哲学; 芸術と美に対する一般的な考え方; 『善=美』の思想; ヴィトルヴィウスの『建築書』); 第2章 中世—『神=美』の思想(美に対する一般的な考え方; 建築関係書とヴィラール・ドンヌクール); 第3章 近世—『真理=美』の思想(ヒューマニズムから科学の時代へ; 一般美術論; 建築美論; 『真理=美』の思想); 第4章 美の独立と芸術の自律(啓蒙主義・批判哲学・観念論; カントによる美の独立; 芸術の自律と優位); 第5章 折衷主義の建築美論(新古典主義; ロマン主義); 第6章 科学主義美学(人文・社会科学に対する自然科学の影響; 心理学的美学; 科学主義的建築美論); 第7章 反折衷主義から近代主義へ(近代主義建築への道; 近代主義); 第8章 様式論(美術様式論; ヴェルフリン学派); 第9章 諸方面への展開(20世紀思想の諸相; 都市美論; 意味論的諸説; 建築造形論); 第10章 反近代主義(近代主義批判; 意味論的主張; 歴史主義的・地域主義的主張; 構造主義)

● #15 ISBN4-469-24305-1 【B9108179】

【標題】 言語のしくみ—意味と形の統合 児玉徳美著 大修館書店 '91.4.10 208P 21cm(A5) ¥2,600(本体 ¥2,524)

【内容】 第1部 意味役割と文法関係と格形態(意味役割と文法関係; 格形態; 言語類型と構造的意味); 第2部 分析法のあり方—依存文法の視点(言語構造と認知原則; 体系文法の功罪; GB理論への疑問—パラメーターを中心に; 依存文法による日本語関係節構文の分析)

● #16 ISBN4-7952-6867-3 【B9108781】

【標題】 構成的プログラミングの基礎 林晋; 小林聡共著 遊星社; 星雲社【発売】 '91.4.9 253p 21cm(A5) ¥3,400(本体 ¥3,301)

【要旨】 本書は、プログラミングの理論への論理学の応用の一例である構成的プログラミングの入門書である。

付録 A 添付資料 (処理データ)

【内容】 数学的プログラミング言語; プログラムの検証と構成的数学; Feferman の理論 (形式的理論; 意味論と応用); Aczel の理論; 証明の理論

● #17 ISBN4-7952-0839-5 【B9106921】

【標題】 建築的無意識—テクノロジーと身体感覚 難波和彦著 住まいの図書館出版局; 星雲社 [発売] '91.4.1 227p 19cm 単1,860(本体単1,806) (住まい学大系 039)

【要旨】 『エイリアン』、『ブレッドランナー』の映像イメージから説き起こし、記号論、システム論、認知科学など、最新の科学を駆使して仮説される建築論。テクノロジーの未来と、ポスト・モダンの地平のなかに新たな浮かび上がる建築のイメージはどのようにかさなるのか。建築における無意識と身体性の問題を結びつける回路を模索しながらつづる渾身のエッセイ集。

【内容】 『エイリアン』と『タイムレス』; イメージのなかのテクノロジー—『ブレッドランナー』の美学; メタリックなカオス; ハイテック・マトリックス; メタ・テクノロジー; インダストリアル・ヴァナキュラーの神話; 機械としての建築; 建築的無意識—形態と機能に関する考察; 無重力についての思考実験; 建築の精神生態学; 機能主義再考; 建築は残余である—建築の1989年; モダニティの条件

● #18 ISBN4-13-013069-2 【B9106944】

【標題】 心の計算理論 往住彰文著 東京大学出版会 '91.3.22 201p 19cm(B6) 単2,266(本体単2,200) (認知科学選書 19)

【要旨】 心とは、自然が産みだしたみごとな記号計算装置だ。計算機科学、心理学、言語学、哲学に共通する問題提起の書。

【内容】 1章 計算的人間観; 2章 心の科学をめぐる; 3章 記号の計算としての認知; 4章 コネクションニズムの計算観; 5章 心の理論としての計算プログラム; 6章 経験科学としての計算アプローチ; 7章 理論科学としての計算アプローチ; 8章 おわりに—心の科学と認知科学; 補稿 私たちはどう『間違ってる』いたのか—認知科学文化論考—わざとこころ

● #19 ISBN4-13-013071-4 【B9104168】

【標題】 認識と文化—色と模様—の民族誌 福井勝義著 東京大学出版会 '91.2.25 255p 19cm(B6) 単2,472(本体単2,400) (認知科学選書 21)

【要旨】 アフリカのボディ族の色彩認識の調査から解き明かされる、彼らの牛との交わりを中心とした生活と知識の想像を越えた結びつきは、文化と認識についての常識の転換を迫る。

【内容】 1章 フィールドへ; 2章 色彩認識のもつ意味; 3章 認識の分析; 4章 色彩の分類体系; 5章 幾何模様の背景; 6章 家畜認識との対応—認識の重層性; 7章 ウシの分類の背景—民俗道徳観; 8章 アエギの習得とアイデンティティ; 9章 家畜の多様な毛色をめぐる文化装置; 補稿 私たちはどう『間違ってる』いたのか—認識人類学から学ぶこと (佐伯陣)

● #20 ISBN4-13-013082-X 【B9104640】

【標題】 こころと社会—認知社会心理学への招待 池田謙一; 村田光二著 東京大学出版会 '91.2.22 297,20p 19cm(B6) 単2,575(本体単2,500)

【内容】 1部 <こころ>の仕組みと働き(認識する<こころ>); 働く知識; 推論する<こころ>; 決める<こころ>; 働きかける感情; 2 <社会>にかかわる<こころ>(<こころ>と<こころ>—コミュニケーション; 集団の中の<こころ>; <こころ>をつなぐ<社会>—コミュニケーション・ネットワークとマスメディア; <社会>を動かす<こころ>—社会過程と社会変容)

● #21 ISBN4-7885-0383-2 【B9103924】

【標題】 認知科学通論 N. A. スティリングス; M. H. ファインシュタイン; J. L. ガーフィールド; E. L. リスランド; D. A. ローゼンバウム; S. E. ワイスラー; L. B. ベーカー・ワード著; 海保博之ほか訳 新曜社 '91.2.20 620,40p 21cm(A5) 単6,489(本体単6,300) (認知科学選書) 原書名: COGNITIVE SCIENCE: AN INTRODUCTION (N. A. Stillings; M. H. Feinstein; J. L. Garfield; E. L. Rissland; D. A. Rosenbaum; S. E. Weisler; L. Baker Ward)

【要旨】 『知』の統合的理解をめざす認知科学への招待。

【内容】 第1章 認知科学とは何か; 第2章 認知心理学—心のアーキテクチャ; 第3章 認知心理学トピックス; 第4章 人工知能—知識表現; 第5章 人工知能—探索、制御、学習; 第6章 言語学—言語の表示; 第7章 神経科学—脳と認知; 第8章 哲学—認知科学の基礎; 第9章 言語獲得; 第10章 意味論; 第11章 自然言語処理; 第12章 視覚

● #22 ISBN4-326-15245-1 【B9102836】

【標題】 フッサールとフレイゲ J. N. モハンティ著; 貴成人訳 勁草書房 '91.2.10 237,17p 19cm(B6) 単2,575(本体単2,500) 原書名: Husserl and Frege (J. N. Mohanty)

【要旨】 現象学と分析哲学のルーツへ。二人は同じ<哲学的世界>に住んでいた。実りある交流を促す。

【内容】 第1章 歴史的研究; 第2章 心理主義の問題; 第3章 意味の理論; 第4章 論理学、および知識の理論; 第5章 結論

● #23 ISBN4-00-004061-8 【B9102453】

【標題】 読みのプロトコル ロバート・スコールズ著; 高井宏子ほか訳 岩波書店 '91.1.29 258,4p 19cm(B6) 単2,500(本体単2,427) (SELECTION21) 原書名: PROTOCOLS OF READING (Robert Scholes)

【要旨】 ひとは倫理的・社会的存在である以上、読むことと倫理的規範とは無縁ではなく、読みのプロトコルを絶えず構築していかなければならない。エーコやバルトの記号論そしてデリダのテキスト論を踏襲し、読み・解釈・批評の理論を明快な語り口で展開する本書は、デリダの理論的寄与を認めつつも倫理的・価値論的観点からディオコンストラクションを批判する。

【内容】 第1章 読むこと—間テクスト的行為; 第2章 解釈—プロトコルの問題; 第3章 批評—レトリックと倫理

● #24 ISBN4-7665-1090-9 【B9100696】

【標題】 図解 人工知能入門 戸内順一著 改訂版 啓学出版 '91.1.25 144p 21cm(A5) 単1,500(本体単1,456)

【要旨】 本書は、人工知能に関する初心者向けの解説書です。特に、図を多くし、文章をやさしくして、初心者にもわかりやすいように心がけています。

【内容】人工知能とは何か;知識と推論;エキスパートシステム;ファジィ;ニューロコンピュータ;自然言語処理;機械翻訳;知能ロボット;音声理解;問題解決;その他の話題

● #25 ISBN4-324-02551-7【B9101831】

【標題】言葉の意味-初めて出会う意味論の世界 梶島一郎著 ぎょうせい '91.1.20 153p 19cm(B6) ¥1,500(本体 ¥1,456)

【内容】第1章 意味とは何だろうか;第2章 意味論の基礎を振り返る;第3章 意味の解剖を試みる;第4章 意味関係を考える;第5章 単語の意味について考える;第6章 文の意味について考える;第7章 発話行為

● #26 ISBN4-7608-9376-8【B9032972】

【標題】新・児童心理学講座 第6巻 言語機能の発達 内田伸子編 金子書房 '90.12.5 330p 21cm(A5) ¥4,000(本体 ¥3,884)

【要旨】言語学や言語心理学のみならず社会科学、人類学から比較行動学・認知科学までの言語の諸機能について広範囲の分野から集積されつつある研究を総覧しながら、人間の発達と語用論的視点から言語的諸能力の発達について考察する。

【内容】第1章 言語と人間;第2章 文法の獲得;第3章 意味の発達;第4章 文章理解;第5章 会話;第6章 言語の産出;第7章 言語と認識;第8章 言語と感情;第9章 言語の障害

● #27 ISBN4-7917-5103-5【B9030909】

【標題】哲学の小さな学校 ジョン・パスモア著;大島保彦;高橋久一郎訳 青土社 '90.11.15 293,5p 19cm(B6) ¥2,400(本体 ¥2,330) 原書名: RECENT PHILOSOPHERS: A SUPPLEMENT TO A HUNDRED YEARS OF PHILOSOPHY (John Passmore)

【要旨】現代思想のハンドブック。60年代以降の哲学や言語学の流れを総観し、チョムスキー以後の言語学者、デリダ、デヴィッドソン、ダメット、パトナムなどの哲学者、ポパー・ヤクーン以降の科学哲学者を次々と登場させ、その相互関係を見事に浮び上がらせる、現代哲学の鳥瞰図。

【内容】第1章 序論・変化と連続(言語学;論理学;自然科学;『大陸哲学』と『英米哲学』;知識と信念-グデア問題;アデア問題;アームストロング;ウィギンズ;サルとグライス);第2章 構造と統語論(ソシュール理論とその影響;構造主義者たち;デリダ;デリダ対サル;チョムスキー);第3章 統語論から意味論へ(カットとフォードの意味論;モンタギュー;形式化された人口言語;D・ルイス Convention;ストールネカー;S・クリプキ);第4章 デヴィッドソンとダメット(デヴィッドソンの仕事 心理学の哲学;デヴィッドソンの仕事 2 意味論;ダメットの仕事 1 言語哲学;ダメットの仕事 2 反実在論);第5章 実在論と相対主義(パトナムの科学哲学;パトナムのこころの哲学;デネット;パトナムの形而上学;科学哲学;ラカトシュ;ファイアアーベント;ヘッセ;ローティ)

● #28 ISBN4-624-93206-4【B9031990】

【標題】『意味』の地平へ-レヴィ・ストロース、柳田国男、デュルケム 川田稔著 未来社 '90.11.15 173p 19cm(B6) ¥1,854(本体 ¥1,800) (ポイエシス叢書 6)

【要旨】主としてレヴィ・ストロースの構造主義理論を現代的な視点から平明に解説し柳田国男、デュルケムとの意外性と示唆に富んだ知のトリアーデを構成するなかで人が生きる『意味』をそして世界の『意味』を探りだそうとする知的冒険の書。

【内容】第1章 (レヴィ・ストロースにおける構造主義の展開-『意味』の地平へ;補論 構造主義人類学の基本視角-レヴィ・ストロースの思想);第2章 (柳田国男とデュルケム-意味と信仰;付論 フレイザー・永橋卓介・柳田国男);第3章 柳田国男と日本文化-日本人の信仰

● #29 ISBN4-7958-1082-6【B9028530】

【標題】言語学は科学である-『象が国会で宿題ヲ忘レル』不思議への招待 城生伯太郎著 情報センター出版局 '90.11.14 245,8p 19cm(B6) ¥1,450(本体 ¥1,408)

【要旨】『人類最古の書きことば』から『21世紀末の日本語』まで、コトバと火を使用する、すべてのヒトへ贈る〈サイエンス・ノンフィクション〉第7弾。人類はコトバなしには一瞬たりとも社会生活を営み得ない。しかし、コトバについて我々はどれだけのことを知っているのだろうか?

【内容】第1章 知られざる学問、それは言語学(言語学のルーツ;言語学の科学性;経験科学としての言語学;実証科学をめざす言語学;言語学の魅力);第2章 言語とは何かを考える(コミュニケーションの手段;二重の分節;恣意的記号の体系;体系と構造;無限の生産性);第3章 言語学をマスターする(学問的位置づけ;音声学;音韻論;文法論;意味論);第4章 暮らしの中の言語学(より身近な言語学のために;ヤハリ、ヤッパリ、ヤッパシ、ヤッパ;『コートジボワール』とは何事だ;『嫌音権』の確立をめざして;へたなホンヤク、社会のメイワク;21世紀末の日本語はどうなるのか?)

● #30 ISBN4-335-00021-9【B9029880】

【標題】講座 東南アジア学 1 東南アジア学的手法 矢野暢編 弘文堂 '90.11.10 321p 21cm(A5) ¥4,200(本体 ¥4,078)

【要旨】東南アジア世界の尊厳を重んじ、独創的な方法論と、実証的なフィールドワークをもとに壮大な知の構図を提示したわが国初の画期的講座。

【内容】総説『地域』像を求めて-〈外文明〉と〈内世界〉;1章 文明流とその培地;2章 農耕文化の伝播と適応;3章 フロンティアとしての開拓空間;4章 ヒト・社会・出生間隔-東南アジアにおける具体像;5章 村の意味論;6章『園』の概念-社会単位論;7章 都市のなりたち;8章『世界』観の組み立て;9章 文献学としての東南アジア史;10章 近代と前近代を分けるもの-ヘルメス神の栄光;11章『政治』の成立;12章〈想像の共同体〉としての国民国家;13章 農業・農村研究と『風土の工学』;14章 経済学と東南アジア研究

● #31 ISBN4-657-90041-2;ISSN0289-3428【B9034470】

【標題】科学哲学の未来を問う 日本科学哲学会編 早稲田大学出版部 '90.11.10 120p 21cm(A5) ¥1,854(本体 ¥1,800)『科学哲学』23(1990)

【内容】整合主義的創造活動としての哲学-分析哲学の将来に寄せて(冨田恭彦);パルメニデスの幻想と論理学(粟谷敏晴);科学哲学のゆくえ-私のなかでの展開について(沢田允茂);論理主義の意味論と語用論の新展開(永井成男);80年代末まで

付録 A 添付資料 (処理データ)

の科学哲学とその問題 (竹尾治一郎); 科学哲学の世紀を占う (坂本百大); 三種の科学哲学の未来 (吉田夏彦); デカルトにおける〈人間〉と〈自然〉(所雄章); ゲチアの反例 (松川俊夫); クワインの行動主義 (古田智久); 討論 科学的実在論論駁一美濃正氏に答えて (黒崎宏); 書評; 第22回大会 (1989年) 記録; 学界消息

● #32 ISBN4-326-15241-9 【B9027126】

【標題】 現代哲学のフロンティア 神野憲一郎編 勁草書房 '90.10.20 281,5p 19cm(B6) ¥2,678(本体¥2,600)

【要旨】 蒙昧と空語を排除し、理性と事実に訴えた議論をめざす研究集団〈科学哲学コロキウム〉。その活動にみる現代哲学の熱い焦点。

【内容】 1 知識論 (知覚による知識; 知覚と実在; 科学的実在論); 2 言語哲学 (意味とコミュニケーション; 指示と意味一反フレグの意味論の展開); 3 心の哲学 (心は脳に還元されるか; 私と行為); 4 方法論 (理論の還元は可能か)

● #33 ISBN4-87502-173-9 【B9028290】

【標題】 言語の夢想者—17世紀普遍言語から現代SFまで マリナ・ヤグエーロ著; 谷川多佳子; 江口修訳 工作舎 '90.10.16 339p 21cm(A5) ¥3,296(本体¥3,200) 原書名: LES FOUS DU LANGAGE: Des langues imaginaires et de leurs inventeurs (Marina Yaguello)

【要旨】 ヨーロッパ言語思想史をふりかえると、文字通り狂人のように言語に憑かれて、完全無欠の理想言語の創造とその普及に命を賭けた人々が登場する。普遍言語の虜となったデカルト、ライブニッツ、チョムスキー、奇天烈な空想言語を考えだしたシラノ・ド・ベルジュラック、ブルワー・リットン、ジョージ・オーウェル、霊媒となって異界の言語をとめどもなく話し始めたエレース・スミス、スターリン体制下でマルクス主義言語理論を打ち立てたニコライ・マル…本書は、人工言語の迷宮にさまよって来た彼ら“言語の夢想者”の系譜を通して、言語に潜む神話、夢、狂気を説き明かしていく…。

【内容】 序章 言語への愛; 第1部 神話からユートピアへ; 第2部 17~20世紀の言語思想史; 第3部 言語にまつわる幻想の両極にむけて; 第4部 自然言語の擁護と頌揚; 巻末資料 (人工言語主要作品一覧—言語思想史年表; 人工言語文献資料集)

● #34 ISBN4-621-03511-8 【B9025312】

【標題】 国際通信 小野欽司編 丸善 '90.9.28 194p 21cm(A5) ¥3,708(本体¥3,600) (MARUZEN Advanced Technology—電子・情報・通信編 C03)

【要旨】 国際化の急速な進展に伴って、国際通信は地球上の人と人、あるいは機械と機械を結ぶ情報ネットワークとして必要不可欠なものとなっている。本書はこのような背景をもとに、国際通信技術をネットワークと伝送路などの基盤技術からデータ通信や画像通信などのサービス技術、さらには機械翻訳にいたるまで、最新の技術を各分野の第一人者が解説したものである。

【内容】 1章 概論; 2章 国際通信網の構成; 3章 デジタル衛星通信; 4章 光海底ケーブル; 5章 データ通信; 6章 画像通信; 7章 自動翻訳

● #35 ISBN4-89501-378-2 【B9025263】

【標題】 Cで学ぶAI ヘルベルト・シュルト著; 渋谷恵津子; 渋谷昇訳 マグロウヒル出版 '90.9.25 304p 21cm(A5) ¥2,900(本体¥2,816) 原書名: Artificial Intelligence Using C (Herbert Schildt)

【要旨】 本書はC言語を用いてAI(人工知能)のプログラミング技法を学習するための入門書である。AIについては全く初めての人にも理解できるように、ステップバイステップで解説されている。最近注目されているファジ理論や自然言語処理、エキスパートシステムなど、AIにおけるトピックスをほぼ網羅しており、多様な技法をマスターできるように配慮されている。

【内容】 第1章 人工知能—概説; 第2章 問題解決—解の探索; 第3章 エキスパートシステム; 第4章 自然言語処理; 第5章 視覚とパターン認識; 第6章 ロボット工学; 第7章 機械学習; 第8章 論理と不確定性; 第9章 人間らしさの表現

● #36 ISBN4-320-02529-6 【B9025647】

【標題】 人工知能の研究者たち 溝口文雄著 共立出版 '90.9.25 245p 21cm(A5) ¥2,580(本体¥2,505)

【要旨】 マッドサイエンティスト (気狂い科学者) といわれてきた人工知能の研究者たちは何を考え、何を創り出してきたのか。そして、今後どのように進んでいくのか。本書はその研究者のライフスタイルや創造の秘密を探ると同時に、実像に迫る人物論を明解に展開した世界初の書。

【内容】 第1章 オリジナルペーパーを書き続ける長老 H. A. サイモン; 第2章 人工知能のカリスマ M. ミンスキー; 第3章 ロジック・プログラミングのゴッドファーザー J. A. ロビンソン; 第4章 新世代の理性主義派 淵一博; 第5章 言語理解からグループテクノロジーへ T. ウィノグラード; 第6章 認知科学/工学の推進者 D. A. ノーマン; 第7章 米人工知能学会のプレジデント D. C. ポプロウ; 第8章 ロジック・プログラミングの闘士 R. A. コワルスキー; 第9章 知識工学革命 E. A. ファイゲンバウム; 第10章 育ちゆく若き獅子 W. J. クランシー; 第11章 人工知能の創始者 J. マッカーシー; 第12章 次世代のヒーローについて

● #37 ISBN4-560-05712-5 【B9026163】

【標題】 意味論 ビエール・ギロー著; 佐藤信夫訳 白水社 '90.9.25 151p 18cm ¥880(本体¥854) (文庫クセジュ 712) 原書名: La Semantique (Pierre Guiraud)

【内容】 序論 3種類の意味論 (意味作用: 意味の過程; 意味の機能); 意味の変化 (その形態; その原因); 構造的意味論; さまざまの意味論; 結論 意味論

● #38 ISBN4-320-02527-X 【B9023618】

【標題】 日本語の情報化—その技術をめくって 横井俊夫著 共立出版 '90.9.15 245p 19cm(B6) ¥2,060(本体¥2,000)

【内容】 言語と情報; 今日の日本語; 言語科学の歩み; 言語処理技術—コンピュータ上の日本語; 電子化辞書技術 (意味を求めて; 言語の知識ベース); コンピュータ上の書物—文書処理技術; 現代の百科全書派—知識ベース技術; ソフトさの復権—ソフトウェア技術; 言葉の壁に挑む—機械翻訳技術; 言語に強い伝達力を—テクニカルコミュニケーション技術; 言語産業

● #39 ISBN4-87593-166-2 【B9024281】

【標題】 Turbo Cによる人工知能 クリストファ・F. シャプリス著; 岩谷宏訳 工学社 '90.9.15 383p 21cm(A5) ¥2,800(本体 ¥2,718) 原書名: Artificial Intelligence and Turbo C (Christopher F. Chabris)

【内容】 1章 導入部そして歴史的な背景; 2章 一般的な問題; 3章 知識の表現; 4章 自然言語処理; 5章 エキスパート・システムと知識工学; 6章 ヒューリスティックな探索; 7章 ゲーム; 8章 未来の方向; 付録 プログラムのソース・リスト

● #40 ISBN4-479-75027-4 【B9021858】

【標題】 『子ども不在』の教育論批判—『法則化運動』を撃つ! 教育実践研究会編 大和書房 '90.8.31 214p 19cm(B6) ¥1,550(本体 ¥1,505)

【要旨】 子どもの個性も、教師の多様性も認めない『教育技術の法則化運動』を徹底的に批判する。

【内容】 第1章 『教育技術の法則化』をなぜ批判するか—マニュアル主義の非人間性; 第2章 『追試』論の不毛性—教師の成長とは何か; 第3章 理科からみた『法則化運動』批判—『法則化』論文の批判を通して; 第4章 社会科『立ちあい授業』批判—向山氏の『江戸時代の人口』の授業分析; 第5章 『全員を跳ばせる技術』論批判—体育の授業; 第6章 音楽指導の『定石』化批判; 第7章 特別活動における子どもの『自治』を否定する『子供を動かす法則』; 第8章 授業論における意味論的議論の必要性—向山洋一氏の『指導法』への宇佐見寛氏の語用論観点からの擁護を批判する; 第9章 教育実践研究に対する教育研究者の任務—藤岡信勝氏における『全員をとばせる技術』論の『正当化』批判; 第10章 教材解釈論にもとづく子ども理解の必要性—向山洋一氏の『全員をとばせる技術』論の形成過程批判

● #41 ISBN4-14-001586-1 【B9023067】

【標題】 デジタル思考とアナログ思考 吉田夏彦著 日本放送出版協会 '90.8.20 215p 19cm(B6) ¥780(本体 ¥757) (NHKブックス 586)

【要旨】 コンピュータが音楽や美術の分野に活用される等、社会のすみずみに浸透している一方で、感性の重要性が叫ばれている。一体、論理的にものごとを処理していく能力としての理性と、その反対概念として、感情にうったえることが多い感性とは、まったく異質なもののなか。思考の流れを、合理的なデジタル型と直観的なアナログ型に大別し、その両者の本質に深く関わる理性と感性の対立や結びつきを捉え直す。

【内容】 第1章 二つのことば; 第2章 論理的概念; 第3章 アナロジーから論証へ; 第4章 部分への分解; 第5章 デジタルなやり方; 第6章 直観と概念; 第7章 自然言語と人工言語; 第8章 デジタルなやり方と感性; 第9章 形而上学; 第10章 感性の時代

● #42 ISBN4-274-07580-X 【B9019094】

【標題】 知的CAIシステム—知識の相互伝達への認知科学的アプローチ Etienne Wenger著; 岡本敏雄; 溝口理一郎監訳 オーム社 '90.7.20 508p 21cm(A5) ¥6,500(本体 ¥6,311) 原書名: Artificial Intelligence and Tutoring Systems: Computational and Cognitive Approaches to the Communication of Knowledge (Etienne Wenger)

【要旨】 知的CAI(ITS)といわれる人工知能を取り入れた教育システムについて、初期の段階から今日のシステムを概観し、システム構築の理論と実際を、全3部全20章でまとめた好著の翻訳版。

【内容】 第1部 最初の一瞥—ITS研究分野の序説(知識の相互伝達システム; 基本的な課題); 第2部 展望—研究者、アイデア、システム(教育のための対話—意味ネットからメンタルネットへ; SOPHIE—定量的シミュレーションから定性的シミュレーションへ; 対話的シミュレーション—コミュニケーションし合うメンタルモデル; 現存するCAIの伝統—初期に貢献した研究ほか); 第3部 概観—技術の現状(コンピュータ; 対象領域; 学習者; 診断; 教授法; 伝達知識)

● #43 ISBN4-320-02518-0 【B9018287】

【標題】 ニューロコンピュータの現状と将来 日本学際会議編 共立出版 '90.7.10 200p 21cm(A5) ¥2,750(本体 ¥2,670)

【要旨】 ニューロコンピュータ開発の現状と将来の展望を、『脳の生理学的研究』『ニューロハードウェア』『光ニューロシステム』『記憶と認知』『ニューロによる問題解決』『認知の仕組み』にわたる広い視点から試みた、日本学際会議主催のシンポジウム記録を単行本化。

【内容】 1 脳に学ぶ; 2 ニューロ・ハードウェアのデバイス技術; 3 光ニューロコンピューティング; 4 記憶と認知のニューロコンピューティング; 5 ニューロダイナミクスによる問題解決; 6 人工知能・認知科学・ニューロコンピュータ

● #44 ISBN4-87189-016-3 【B9015782】

【標題】 カード型データベース Q&A ガイドブック 高橋三雄著 アネスト; インフォメーションサイエンス [発売] '90.6.11 214p 21cm(A5) ¥2,300(本体 ¥2,233)

【内容】 第1部 Q&Aの概要(Q&Aのファイル機能; 自然言語によるデータベース操作; Q&Aのワープロ機能); 第2部 Q&Aの応用(販売カードの活用; 社員カードにもとづくデータベース操作; その他の機能 マクロとユーティリティ)

● #45 ISBN4-8301-0560-7 【B9015897】

【標題】 障害児発達学研究 小川再治編 文化書房博文社 '90.6.10 269p 21cm(A5) ¥3,800(本体 ¥3,689)

【内容】 第1章 障害児発達学研究与私; 第2章 聴覚障害児の言語発達—意味論的考察から; 第3章 音声知覚発達に関する近年の基礎的研究; 第4章 重症心障害者の『行動的』応答に関する研究へのアプローチ; 第5章 自閉症に関する生理心理学的研究; 論文(聴覚障害児の発話のモニタリング過程と修正過程について—自己修正タイプと発話内の生起位置に関する検討; 補聴器装用を継続することにより生じる補聴域値の変化について; 自我の発達よりみた聴覚障害児の反抗について; 精神遅滞児の非別学習の転移におよぼす言語指示効果ほか)

● #46 ISBN4-478-80017-0 【B9015411】

【標題】 科学技術の最前線—『日本の頭脳』を現場に追う 10 三田出版会編 ダイヤモンド社 '90.6.7 207p 19cm(B6) ¥1,240(本体 ¥1,204)

付録 A 添付資料 (処理データ)

【内容】 エリートに多い中年期のモラトリアム (河合隼雄); “集団見合い”で演算するデータ駆動型プロセッサ (寺田浩昭); パワーデバイス、青色発光ダイオードに応用できる SiC 半導体 (松波弘之); 超高層ビルの振動を制御するピエゾ素子の可能性 (示村悦二郎); 影絵が生みだした光コンピューター OPALS の構想 (一岡芳樹); アナログ、デジタル混在 LSI の総合設計システム (田丸啓吉); 分子を識別する化学認識機能材料 (柳田博明); 技術と人間の感性を結ぶユニークな大学 (安藤由典); 宇宙衛星をつなぐコヒーレント光通信 (森永規彦); 材料内部の残留応力を超音波で非破壊測定 (福岡秀和); 限りなく人間に近いコンピューターを目指して (野口正一); 人間と高度なコミュニケーションができる計算機を (池田克夫); ジョギングしながら正確な心拍数が感じて分かる (山地啓司); 小型強力で脚光浴びる PM(永久磁石) モーター (平紗多賀男); 魚群行動を追跡するシステム工学 (三宮信夫); 新素材の “運命” を決める疲労強度の評価 (城野政弘); VLSI 設計パニックを防ぐ CAD システム (白川功); イノシシやサワガニに寄生するウェステルマン肺吸虫 (寺崎邦生); 曖昧さを抑えた日本語がつくる機械翻訳システム (吉田将); 鉄鋼精錬基礎研究のノウハウを複合材料に応用 (荻野和己)

● #47 ISBN4-00-004104-5 【B9014852】

【標題】 現代哲学の冒険 14 浮遊する意味 市川浩; 加藤尚武; 坂部恵; 坂本賢三; 村上陽一郎編 岩波書店 '90.6.5 370p 19cm(B6) ¥2,400(本体 ¥2,330)

【要旨】 思考のメタモルフォーゼ。現代の危機を映す意識の冒険。パラドックスに当面した思考が示す跳躍寸前のスタンス。円環、螺旋、遊動言語と意識の〈不可能な回路〉。

【内容】 歴史 テキスト 批評 (富山太佳夫); イメージの図書館 意味の廃墟 (宮本陸司); コミュニケーションの戦略 (中岡成文); 懐疑と循環 (福居純); エコーする声-W・B・イエイツの〈存在の統一性〉 (島弘之); 意味のおどり 意味の危機 (増田一夫)

● #48 ISBN4-7665-1066-6 【B9012137】

【標題】 ファジィ集合—自然言語演算とリスク解析 K. J. シュマッカー著; 鬼沢武久訳 啓学出版 '90.5.25 220p 21cm(A5) ¥2,600(本体 ¥2,524) 原書名: FUZZY SET: NATURAL LANGUAGE COMPUTATIONS AND RISK ANALYSIS (K. J. Schmucker)

【要旨】 本書では、読者にファジィ集合論を紹介し、リスク解析におけるファジィ集合論の使用例、つまり、リスク評価のための自然言語表現の使用例を解説する。自然言語表現を使った手法を組み込んだ、試験的な自動リスク解析システムについても詳しく述べており、また今後の課題についてもその概略を述べている。

【内容】 1章 集合論; 2章 ファジィ集合論; 3章 自然言語演算; 4章 ファジィネスについての心理学的考察; 5章 ファジィ・リスク・アナライザ; 6章 今後の課題; 付録 (言語変数の定義; 拡張原理; コンピュータ上でのファジィ集合の表現)

● #49 ISBN4-13-041064-4 【B9013255】

【標題】 人間行動の計量分析—多変量データ解析の理論と応用 柳井晴夫; 岩坪秀一; 石塚智一編 東京大学出版会 '90.5.25 336p 21cm(A5) ¥6,180(本体 ¥6,000)

【内容】 序章 多変量データ解析の最近の動向; 多変量データ解析の新しい動向 (潜在変数分析モデルと因子分析; 理想点判別分析法とその応用; 3相データの階層的主成分分析; 射影追跡と多変量データ解析; 非線形定式化による多変量データ解析手法の統一的考察); 多変量データ解析のより効果的適用をめざして (データの予備的解析と多次元外れ値の抽出; 数値化1類と2類におけるアイテムの選択とカテゴリーの併合; 因子分析における回転—プロク拉斯テス回転を中心に; 単調回帰と多次元尺度構成法); 人間行動の計量—その基礎的考察 (人間の測定; 認知科学と統計学の一つの接点—統計的概念の理解と教育); 多変量データ解析の応用 (総合的品質管理を支える統計手法; 低周波騒音の心理的影響における多変量解析的検討; 入試データの計量分析); 終章 多変量データ解析の発展をめざして

● #50 【B9013258】

【標題】 認知意味論—英語動詞の多義の構造 田中茂範著 三友社出版 '90.5.25 173p 21cm(A5) ¥2,060(本体 ¥2,000)

【内容】 第1章 基本動詞と多義性; 第2章 コア理論と基本動詞の多義性; 第3章 プロトタイプ理論; 第4章 ネットワーク理論

● #51 ISBN4-13-013081-1 【B9014322】

【標題】 アクティブ・マインド—人間は動きのなかで考える 佐伯胖; 佐々木正人編 東京大学出版会 '90.5.24 309,7p 19cm(B6) ¥2,472(本体 ¥2,400)

【要旨】 身体と思考のみごとな相互関連を解きあかし、認知科学の新しいパースペクティブを示した意欲作。

【内容】 序章 アクティブ・マインド—活動としての認知; 1章 視覚—運動表象による見えの成立—逆さめがね実験; 2章 からだと意図が乖離するとき—スリップの心理学的理論; 3章 姿勢が変わるとき; 4章 むかし感情・ゆれる感情—表情フィードバックと共振性からの検討; 5章 何のための記憶—フラッシュバルブメモリーの機能論; 6章 人間にとってのカテゴリー—カテゴリーをどう考えるか; 7章 音声と文字のあいだ—対話の場のシンボル使用; 8章 『読む』ということ; 9章 推論と活動の文脈—ピアジェ保存課題の再考

● #52 ISBN4-06-153911-6 【B9012696】

【標題】 認知科学の発展 Vol.3 日本認知科学会編 講談社 '90.5.20 250p 21cm(A5) ¥2,900(本体 ¥2,816)

【要旨】 『言語表現』にかかわる新たなパラダイムの提唱。G. フォコニエ (カリフォルニア大学) 教授によって与えられたメンタル・スペースという概念に基づいた論文集で、学際領域の研究者による認知科学への1つのアプローチである。

【内容】 特集 メンタル・スペース (領域と結合; 役割、ガ・ハ、ウナギ文; 対話における聞き手領域の役割について; 談話管理理論からみた日本語の指示詞; メンタル・スペース理論の形式化に向けて; 表現と言語理解理論としてのメンタル・スペース理論); 論文 直接ブライミング効果の多層性

● #53 ISBN4-589-01526-9 【B9011004】

【標題】 異文化を知るための情報リテラシー—外国語と外国文化研究教育におけるコンピュータ利用入門 村山皓司編 京都法律文化社 '90.5.8 299p 21cm(A5) ¥2,884(本体 ¥2,800)

【内容】 序章 異文化についての情報へのアプローチ; 第1部 語学と地域研究の情報リテラシー (外国語習得のための情報整理; 自然言語処理と言語学; 異文化間コミュニケーションと計量分析; 地域研究における二次的な調査方法; 語学教育のため

の情報機器利用); 第2部 コンピュータリテラシー (パーソナルコンピュータのハードとソフトの基礎知識; パーソナルコンピュータのアプリケーションソフトウェア; プログラム言語; プログラミング; コンピュータ通信; コンピュータ共同利用)

● #54 ISBN4-7649-0163-3 【B9011417】

【標題】 自然言語理解と論理プログラミング Veronica Dahl; Patrick Saint Dizier 共著; 西田豊明; 松本裕治; 上原邦昭共訳 近代科学社 '90.4.30 318p 21cm(A5) ¥4,944(本体 ¥4,800) 原書名: NATURAL LANGUAGE UNDERSTANDING AND LOGIC PROGRAMMING (Veronica Dahl; Patrick Saint Dizier)

【内容】 構文解析器のカジュアルな記述者からの複雑性の隠蔽; ポーランド鉄道エキスパートシステムのための自然言語インターフェース; 広告照合の分野でのエキスパートシステムにおける項目別広告の解析; 自然言語文の意味表現における限量子の作成域のあいまい性の取り扱い; 定参照を扱うための相互信念論理; 文章理解のための統合化構文解析器一構文解析をアプター間でのメッセージ転送と見なすことについて; BUP 構文解析システムの諸機能; 論理プログラミング言語 ESP におけるオブジェクト指向構文解析器; 語彙機能文法における名詞句について; パズル文法; 論理文法によって等位表現を扱うためのメタ文法; 自然言語質問応答システムにおける制御情報の役割について [ほか]

● #55 ISBN4-947627-09-3 【B9010337】

【標題】 C言語による英和翻訳システム 柴田勝征著 ラッセル社 '90.4.25 303p 21cm(A5) ¥2,800(本体 ¥2,718) (ラッセルボックス)

【要旨】 C言語による機械翻訳システムの全容と拡充法を公開。

【内容】 第1章 機械翻訳について考える; 第2章 機械翻訳の仕組み; 第3章 機械翻訳システムのデータ拡充法; 第4章 より高度なレベルの、データの拡充法; 第5章 C言語ミニ入門; 第6章 ソースプログラムの解説; 第7章 本書の翻訳システムの使用法; 第8章 ペーパーウェア

● #56 ISBN4-7828-0053-3 【B9007198】

【標題】 認知科学とパラダイム論 M. ドゥ・メイ著; 村上陽一郎; 成定薫; 杉山滋郎; 小林伝司訳 産業図書 '90.3.30 496p 19cm(B6) ¥3,605(本体 ¥3,500) 原書名: THE COGNITIVE PARADIGM (MarcDe May)

【要旨】 コンピュータは、画期的な道具であり、かつて望遠鏡や顕微鏡が自然科学にもたらしたのと同じような解像力を精神や心に関する諸科学にもたらすであろう。哲学、心理学、社会学といった多くの専門分野と AI(人工知能)における研究成果を総合しようとする努力の中から誕生した本書は、科学や科学知識の分析に対する新しいアプローチを提起している。本書で展開されているように、このアプローチは、AIの発展を通じてお馴染みとなっている図式を拡張し、実証主義、論理実証主義、科学の科学、さらにはパラダイムをも包含するような枠組を可能にしてくれる。

【内容】 第1部 認知論的視点の導入 (認知論的視点の発展; 世界観とモデル; モナド論的視点としての実証主義; 論理実証主義一構造論的視点; 科学の文脈一科学の科学; 科学に対する認知論的視点一パラダイム); 第2部 科学の社会的構造 (計量書誌学と科学の構造; 非公式な集団とネットワークの起源; 科学の専攻分野のライフサイクル); 第3部 認知構造と科学のダイナミックス (パラダイムと注意および知覚の心理学; パズル解きと世界観の再編; 保存と概念システムのダイナミックス)

● #57 ISBN4-06-153907-8 【B9004023】

【標題】 認知科学の発展 第2巻 日本認知学会編 講談社 '90.3.20 242p 21cm(A5) ¥2,900(本体 ¥2,186)

【要旨】 第4回京都市賞受賞のチョムスキー教授の論文を中心とした特集。本特集は、文法理論の研究を通じて人間のこころの構造と機能の解明へ寄与すべく、認知科学という学際領域に集結した広範な研究者が語る言語学からの認知科学へのアプローチである。

【内容】 特集 認知革命 (認知革命一言語学からのアプローチ; チョムスキー教授の言語学ならびに認知科学に対する貢献; 派生と表示の経済性に関する覚書; 統語論におけるバリエー概念について; 原理とパラメーターのアプローチにおける受動構文; 文法獲得関数の性質について; 認知科学の研究対象としての科学的知識); 論文 (フレーム問題をどうとらえるか; 知能・理解・知識); 日本認知学会会報および『認知科学の発展 Vol.2』編集後記

● #58 ISBN4-588-00292-9 【B9004848】

【標題】 意味と意味の発展 R. A. ウォルドロン著; 築島謙三訳 法政大学出版局 '90.3.15 245,40p 19cm(B6) ¥2,884(本体 ¥2,800) (叢書・ユニベルシタス 292) 原書名: SENSE AND SENSE DEVELOPMENT (R. A. Waldron)

【要旨】 マリノフスキー、ソシュールら先哲の学説を分析し意味とは何かを明らかにしつつ、とりわけ英語の語意変化を隠喩・換喩を主要因として豊富な事例・作品引用によって示し、意味変化の理論を体系化するとともに言語研究における共時的・通時的方法の必要性を説く。

【内容】 第1部 共時論 (意味の意味; 活きた意味; 脈絡、定義、多義; 語の指示; 意味の場と体系); 第2部 通時論 (意味の変化一その原因と類型; 意味のずれ; 隠喩による意味転移; 換喩による意味転移)

● #59 ISBN4-8115-6232-1 【B9006837】

【標題】 自然言語の論理とその存在論一レスニェウスキー存在論の立場から 石本新編著 多賀出版 '90.2.28 390p 21cm(A5) ¥9,064(本体 ¥8,800)

【要旨】 この論文集の主な目的は、レスニェウスキーの論理学、とくにその存在論、すなわちレスニェウスキー存在論に関する研究をまとめたものである。

【内容】 第1章 抽象を含むレスニェウスキー存在論について; 第2章 レスニェウスキー存在論の命題論理的部分系とその完全性; 第3章 レスニェウスキー存在論の解釈一レスニェウスキー存在論の命題論理的部分系と関連する系について; 第4章 レスニェウスキー初等存在論の部分理論に関する分離定理と翻訳定理の構成的証明; 第5章 古典命題論理における公理的拒否の方法とその応用について; 第6章 中世論理学の三段論法と単称判断; 第7章 レスニェウスキー存在論の部分系 L1 における公理的拒否; 第8章 レスニェウスキー存在論の命題論理的部分系とその簡略化した定式化; 第9章 レスニェウスキー存在論の一階述語論理的部分系と論理文法との関連について; 第10章 初等レスニェウスキー存在論のための新しい公理系; 第11章 アリストテレスの三段論法のヒルベル式定式化に関する一考察; 第12章 正規様相論理を特徴づけるモデルの集合に関する

付録 A 添付資料 (処理データ)

覚え書; 第13章 連立線相論理の構成における連結の公理とそのフレーム; 第14章 強い否定を含む構成論理に関する一考察—その健全性と完全性; 第15章 三段論法のゲンツェン式定式化とその一階述語論理のモデルに関する完全性について

● #60 ISBN4-8207-0664-0 【B9001615】

【標題】 OA 実務家の書いたエキスパート・システムの本 三菱商事システム企画部 OA 技術チーム編 日本能率協会 '90.2.1 210p 21cm(A5) ¥2,000(本体¥1,942)

【要旨】 三菱商事で好評の社内テキストを単行本化。ユーザーの立場からむずかしさを乗り越えるために書かれた ES(エキスパートシステム) 中級入門。

【内容】 第1章 人工知能とは; 第2章 人工知能の歴史; 第3章 人工知能の応用; 第4章 認知科学; 第5章 知識表現と推論モデル; 第6章 エキスパート・システムの歴史; 第7章 エキスパート・システムの構築; 第8章 エキスパート・システム開発の事例; 第9章 エキスパート・システム構築ツールの構造; 用語解説

● #61 ISBN4-274-07542-7 【B9001661】

【標題】 人工知能ハンドブック 人工知能学会編 オーム社 '90.1.30 1085p 26cm(B5) ¥23,690(本体¥23,000)

【要旨】 人工知能に関する基礎から応用までの全分野を網羅。歴史的な業績や、最近、特に進歩の著しい分野についても積極的に取り入れ解説。ハンドブックの性格上、将来を見通した普遍的な記述。

【内容】 序編 人工知能総論; 基礎 (知識ベース編; 自然言語編; パターン理解編; AI マシン編; AI 言語とツール編); 応用 (エキスパートシステム編; 機械翻訳編; ヒューマンインタフェース編; 知的 CAI 編; 知的ロボティクス編; CAD・CAM・CAE 編; 知的 OA 編)

● #62 ISBN4-7885-0362-X 【B9000941】

【標題】 誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論 ドナルド・A. ノーマン著; 野島久雄訳 新曜社 '90.1.25 403,24p 19cm(B6) ¥3,399(本体 ¥3,300) (新曜社認知科学選書) 原書名: THE PSYCHOLOGY OF EVERYDAY THINGS (Donald A. Norman)

【内容】 第1章 毎日使う道具の精神病理学; 第2章 日常場面における行為の心理学; 第3章 頭の中の知識と外界にある知識; 第4章 何をするかを知る; 第5章 誤るは人の常; 第6章 デザインという困難な課題; 第7章 ユーザ中心のデザイン

● #63 ISBN4-523-30053-4 【B8934853】

【標題】 言語学への招待 ジノ・ソング著 南雲堂 '90.1.18 312p 21cm(A5) ¥2,800(本体 ¥2,718)

【内容】 世界の言語; 国際語への道; 言語と文化; 言語と文字; 言語と社会; 言語と心理; 言語の変化; 言語の構造; 音韻論; 母音体系と子音体系; 音形素性; 音形分析; 意味論; 語形分析; 統語論; 文の構造; 統語分析

● #64 ISBN4-00-010386-5 【B9000805】

【標題】 岩波講座 転換期における人間 6 科学とは 宇沢弘文; 河合隼雄; 藤沢令夫; 渡辺慧編 岩波書店 '90.1.11 295p 21cm(A5) ¥2,700(本体 ¥2,621)

【要旨】 人間にとって、社会にとって、科学とはなにか。生き方と価値観の指針を提示する。

【内容】 1 科学とはなにか (科学の方法; 科学史の方法); 2 科学は人間をどのように見るか (量子物理学の場合; エネルギー代謝の観点から; 認知科学の場合); 3 人間・社会の研究は科学か (人間科学の可能性; 社会科学の可能性; 歴史科学は成立するか); 4 科学者と社会; 5 科学のゆくえ (ビッグサイエンスについて—ひとつの試論; 科学の多義性)

● #65 ISBN4-320-02497-4 【B8933404】

【標題】 人工知能と論理 Raymond Turner 著; 松田利夫; 石本新訳 共立出版 '89.12.25 143p 21cm(A5) ¥2,930(本体 ¥2,845) 原書名: LOGICS FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE (Raymond Turner)

【要旨】 本書は、非標準論理の人工知能 (Artificial Intelligence) への応用に関する、初等用テキストあるいは参考書として用いられることを意図したものである。本書では、また、人工知能の研究者にとって専門的素養として役立つような、計算機科学の主要分野への非標準論理の応用についても述べている。

【内容】 序 (非標準論理; 計算機科学と非標準論理; 人工知能と非標準論理; 古典 1 階論理); 様相論理とダイナミック論理 (様相論理; 様相論理の計算的解釈; 簡単なプログラミング言語; ダイナミック論理; 知識と行動の理論); 3 値論理と計算的解釈 (序論; 3 つの 3 値論理; 単調性; 厳密性); 直観主義論理: Martin-Lof の型理論 (直観主義; 論理記号の直観主義的解釈; 型理論の言語; 判断と推論規則; プログラミング言語としての型理論); 非単調推論の意味論 (非単調推論; 非単調様相論理; 非単調推論の直観主義的基盤; 部分モデルと不完全な情報; 自己認識論理); 時間論理と人工知能 (序論; 時間論理; 2 つの事例; 事象と瞬間; 時間論理と仕様および検証); ファジ理論とエキスパート・システム (ファジ化; ファジ集合論; 多値論理; ファジ論理; エキスパート・システムにおけるファジ理論とファジ集合論); 他の論理と将来の展望 (他の論理; 展望)

● #66 ISBN4-339-02536-4 【B8932658】

【標題】 数理論理学 林晋著 コロナ社 '89.12.20 177p 21cm(A5) ¥2,060(本体 ¥2,000) (コンピュータ数学シリーズ 3)

【内容】 推論の形式化—自然演繹; 形式的言語の意味論と推論法則の妥当性; 証明の標準化; sequent calculus; 分解原理; Curry-Howard の対応

● #67 ISBN4-327-42064-6 【B9000490】

【標題】 談話分析—自然言語の社会言語学的分析 マイケル・スタブズ著; 南出康世; 内田聖二共訳 研究社出版 '89.12.20 291p 21cm(A5) ¥3,920(本体 ¥3,806) 原書名: Discourse Analysis: The Sociolinguistic Analysis of Natural Language (Michael Stubbs)

【要旨】 著者自らが収集した会話データ等を詳細に分析することにより、談話の構成・構造を社会・教育言語学の観点から具体的に解明し、その混沌とした表層下に隠された規則性に光をあてる。英語教育関係者必読の書。

【内容】 第1部 序論 (談話分析—段階的紹介); 第2部 談話分析に対する 3 つのアプローチ (会えば口をきく問柄で—会話データの分析; 同じ波長で—民族誌学的データの分析; 異なるレベルで—不変化詞、副詞、連結詞); 第3部 発話交換の構造

(談話への言語学的アプローチ構造と適格性; 開始発話と応答; 発話交換構造の分析); 第4部 表層上の結束性と基底の結束性 (談話の表層下で一発話行為における間接性; 談話の表層について一前置きと整合表現; 筋が煮つまるまでかき混ぜよ一テグストの命題分析)

● #68 ISBN4-89362-055-X 【B8933062】

【標題】 TRON プロジェクト '88・'89 坂村健著 パーソナルメディア '89.12.15 479p 21cm(A5) ¥3,914(本体 ¥3,800)

【要旨】 90年代に向け着々と進展をみせる TRON プロジェクト最先端の技術論文集。

【内容】 TRON システムアーキテクチャ(TULS; 超機能分散システム MTRON の構築); ITRON(HI18: μ ITRON 仕様に見準拠した H8/500 シリーズ用リアルタイム・オペレーティングシステム; μ ITRON 仕様リアルタイム OS: MR7700 の開発); ITRON に基づく組み込みシステムソフトウェア開発環境; BTRON(TACL; BTRON での自然言語翻訳サービス; ビデオマネージャとハイパーテキスト-BTRON 仕様における動画を扱うための一手法; プログラミング言語 TIPE/L の型メカニズム); CTRON(CTRON の展望; CTRON の通信制御インタフェース概論; CTRON 実行制御インタフェースの設計; CTRON カーネルインタフェースの拡充; CTRON 基本 OS のインプリメント; ラップトップ WS 上での CTRON 準拠基本 OS のインプリメントについて); TRON チップ (沖 32 ビットマイクロプロセッサのアーキテクチャ; 松下 32 ビット実記憶プロセッサの設計; 高性能仮想記憶プロセッサの基本構造の検討; TX1 によるトロン仕様の実現とその評価; GMICRO CPU 用浮動小数点演算ユニットの概要; GMICRO/300 高性能バスインタフェース; 大規模 PLA (積項数 3411) を有する転送速度 40MB/s の DMA コントローラ; GMICRO プロセッサ用 C コンパイラの開発; TX シリーズ開発支援システム; GMICRO/200 用統合開発ツールキット)

● #69 ISBN4-7828-5127-8 【B8932150】

【標題】 自然言語解析の基礎 田中徳積著 産業図書 '89.11.27 276p 21cm(A5) ¥3,296(本体 ¥3,200)

【内容】 第1章 はじめに (自然言語とコンピュータ; 形態素解析と統語解析; 論理型プログラム言語と自然言語処理); 第2章 統語解析 (統語解析の目的と方法; トップダウン縦型探索法; トップダウン横型探索法; ボトムアップ横型探索法; 双方向縦型探索法; 双方向横型探索法; LR (k) 法と富田法; LL (k) 法; CFG の補強と自然言語の解析; 統語解析結果の優先度); 第3章 形態素解析 (形態素解析と統語解析; 形態素解析の目的; 隠語の形態素解析); 第4章 Prolog と自然言語処理 (Prolog 入門; 確定節文法 DCG; トップダウン縦型探索法と Prolog; 双方向縦型探索法と Prolog; ボトムアップ横型探索法と Prolog)

● #70 ISBN4-327-41029-2 【B8931078】

【標題】 ヒアリングの指導システム—効果的な指導と評価の方法 竹蓋幸生著 研究社出版 '89.11.24 242p 19cm(B6) ¥2,060(本体 ¥2,000)

【要旨】 実際に効果のあがるヒアリングの科学的な指導法、学習法について、著者の豊富な経験を基にした実践例や内外の著名な文献により具体的に分かり易く解説。

【内容】 序論 (国際化と英語教育; 読めるが聞けない; 目標の確認; 音声英語の諸相; 機械と人間); ヒアリングの指導 (力を引き出す; 指導に生きる評価; 教材とその提示; 認知科学から学ぶ; 指導法開発のための実験; 実験的指導); 英語教育のシステム化 (指導システムの開発; コースウェアの作成; ランゲージ・ラボラトリー; 三本の矢)

● #71 ISBN4-8103-2000-6 【B8927372】

【標題】 CAI への招待 理論編 教育学のパラダイム変換 菅井勝雄著 同文書院 '89.11.18 230p 21cm(A5) ¥2,800(本体 ¥2,718)

【要旨】 きわめて可能性に満ちたコンピュータは、本質的に、双方向の情報技術であり、多様な情報処理機能を有し、ネットワーク化も可能である。これが、授業の中に入った場合、これまでのような単方向の情報技術と整合性がある伝統的な、いわば『教師→学習者伝達モデル』とは異なる授業モデルが、新たなパラダイムのもとで、理論的に確立されなければならない。本書では、このコンピュータ教育のための新しい授業モデルを『学習環境モデル』として紹介し、その基礎的理論を解説したものである。

【内容】 情報技術の進歩と人間 (情報技術と人間のかかわり—印刷技術の場合; 言語・画像と人間の情報技術—視覚聴覚教育の成立; 画像・映像と現実世界; 情報技術と人間の宗教・文明—あるイスラム教国での経験から); 新たな人間観からのアプローチ (人間の情報処理活動—その能動性; 教育における『理論』の位置づけと接近法); 情報教育時代の CAI (CAI とは; パラダイム論からみた CAI 研究の歴史的展開; 認知理論に基づく新たな CAI の開発の実際; CAI の可能性と今後の課題); コンピュータと学習指導 (情報教育の目標、内容、方法; コンピュータと学習指導—新たな授業モデル; コンピュータ学習のための授業モデルの探究)

● #72 ISBN4-571-21026-4 【B8927582】

【標題】 知の体得—認知科学への提言 野村幸正著 福村出版 '89.11.10 219,11p 19cm(B6) ¥2,300(本体 ¥2,233)

【要旨】 知的な努力が喚起される場合とは、逆にいえば言語そのものもつ限界を知的な努力でもって積極的に補ってゆかなければならないような場合である。言語のもつ限界は一つにはわれわれが直面する事象がこれすべて変型であるにもかかわらず、それらある典型として言葉で表現しなければならないという事実がある。

【内容】 序章 新しい知のあり方; 1部 言葉以上の世界を求めて (かかわりと生存; 知のとらえ方; 言語の限界; 身体の世界—技; 伝授の世界); 2部 生成と矛盾の解決 (努力; 矛盾と生存)

● #73 ISBN4-7885-0355-7 【B8929639】

【標題】 心のシミュレーション—ジョンソン・レアードの認知科学入門 フィリップ・N. ジョンソン・レアード著; 海保博之; 中冨幸夫; 横山昭一; 守一雄訳 新曜社 '89.11.10 428,51p 21cm(A5) ¥4,500(本体 ¥4,369) (新曜社認知科学選書) 原書名: THE COMPUTER AND THE MIND: An Introduction to Cognitive Science (P. N. Johnson Laird)

【要旨】 錯綜し発展を続ける認知科学の全容を、体系的に将来への可能性をも含めて理解するための一冊。

【内容】 第1部 計算と心 (心はどのように研究すべきか; シンボルと心的過程; 計算可能性と心的過程); 第2部 視覚 (視覚イメージ; 実行知覚; シーン・形態・イメージ); 第3部 学習・記憶・行為 (学習と学習可能性; 記憶の成分; プランとプロダク

付録 A 添付資料 (処理データ)

ジョン; 並列分散処理; 行為と運動制御); 第4部 思考作用 (演繹; 帰納・概念・確率判断; 創造); 第5部 コミュニケーション (コミュニケーションの性質; 言語音と聴覚; 文法; 意味); 第6部 意識と無意識 (自省・自由意志・意図; 欲求と感情)

● #74 ISBN4-478-98030-6 【B8928833】

【標題】 翻訳者への道 徳岡孝夫著 ダイヤモンド社 '89.11.9 229p 19cm(B6) ¥1,100(本体¥1,068)

【要旨】 原文の魂を伝える翻訳とは? 当代きっての名翻訳家が語る翻訳の楽しさ、奥深さ。さあ、あなたも思わず、楽しく、苦しく、深みにはまってみては…

【内容】 翻訳の楽しさとは; ある女性翻訳者の場合; 日本語を勉強する; カシコイモノゴザル!; 固有名詞の面白さ; どちらを向くか; 自動翻訳機に勝てるか?; 夜の底が白くなった; 舞良戸と犬釘; 誤訳が左右した戦争; 時計を交換した水兵さん; 茶の湯と誤訳; 真珠湾攻撃に特別手当を; アベ・マリア; 幕末の訳・明治の訳; 若松賤子の名訳; 『みなさん、笑って下さい』; 押してもダメなら引いてみな; アイアコッカ断片; 翻訳は恋愛の如し; 『結婚』の仲人・翻訳エージェンシー; とにかく1冊、読みましょう

● #75 ISBN4-303-71580-8 【B8926958】

【標題】 認知心理学講座 3 問題解決 H. カーニー著; 認知科学研究会訳海文堂出版 '89.10.15 167,3p 21cm(A5) ¥1,900(本体¥1,845) 原書名: PROBLEM SOLVING: A Cognitive Approach (Hank Kahney)

【要旨】 本書は認知心理学の主要な問題や、理論、データなどについて、最新かつ詳細な情報を提供しよう心がけた。また、本書では、認知心理学の研究で用いられる代表的な研究法を精選して紹介している。

【内容】 問題解決入門 (序論; 問題解決とは; 状態空間分析; サイモンの問題解決情報処理理論; 交換問題のボルソンのモデル; 結論); 類推による問題解決 (序論; 悪定義問題の分析; 記憶中の問題表現; 解の適用; 類推による問題解決のコンピュータモデル; 結論); 認知スキルの表現と獲得 (序論; 素人・専門家; 問題解決のコンピュータモデル; ACT: 学習の認知理論); 展望; 自己診断テストの解答

● #76 ISBN4-12-001854-7 【B8923773】

【標題】 ふろしき文化のポスト・モダン—日本・韓国の文物から未来を読む 李御寧著 中央公論社 '89.9.25 201p 19cm(B6) ¥1,000(本体¥971)

【要旨】 ふろしき、屏風、座蒲団、お膳…近代合理主義が『アジア的停滞』として捨ててきた古きものに、ポスト産業時代の文化のパラダイムを探るユニークな比較文化論。

【内容】 ふろしきとカバンの文化コード; おくるみの家、揺り籠の家; 屏風の意味論; 箸の工学; 『坐るもの』の詩学—椅子と座蒲団; エレベーターか昇降機か; 加減文化とファージ理論の時代; 『包み』、『奥』、『触れ合い』; 『卵のつと(菰)』—ワラ文化と華文化; ノイズからつくられた秩序; ソウル・オリンピックのパフォーマンスにみる新アジア感覚; カササギの餌と朝の思想

● #77 ISBN4-7536-5401-X 【B8923289】

【標題】 かしい材料とシステム—産業科学の新しい芽 大阪大学産業科学研究所かしい材料とシステム研究会編 内田老鶴編 '89.9.20 257p 21cm(A5) ¥2,575(本体¥2,500)

【要旨】 本書は、材料と情報を中心として現在の産業科学がどのような研究を志向しているか、現状はどうか、その将来はといった見地から書かれている。

【内容】 1 堅い機械・柔らかいシステム; 2 話のわかるコンピュータ; 3 自動翻訳; 4 特別仕立ての半導体—超格子とその応用; 5 あたらしい機能をもつ金属; 6 超伝導とその応用; 7 環境に 대응するセラミックス; 8 くすりのデザイン; 9 ホストとゲスト—化学反応における分子認識; 10 酵素をつくり直す; 11 光反応と機能材料; 12 放射線と高分子; 13 反粒子の応用

● #78 ISBN4-326-80025-9 【B8923406】

【標題】 文学のプラグマティクス T. K. スン著; 輪島士郎; 山口和彦訳 勁草書房 '89.9.20 319,15p 21cm(A5) ¥3,502(本体¥3,400) 原書名: SEMIOTICS AND THEMATIC IN HERMENEUTICS (T. K. Seung)

【要旨】 文脈 (コンテクスト) 的理解をすべての解釈の営みの基礎とする立場から、形式的/構造的な分析を越えて、解釈学的方法論的拡大をめざす。

【内容】 第1章 テキストと文脈; 第2章 意図と表現; 第3章 文脈と意味; 第4章 意味論と実用論; 第5章 実用論の向上; 第6章 実用論的規範; 第7章 実用論的機能; 第8章 主題の企投; 第9章 主題的整合性; 第10章 主題的伝統; 第11章 主題的弁証法

● #79 ISBN4-89384-083-5 【B8923693】

【標題】 記号論—その論理と哲学 永井成男; 和田和行著 北樹出版; 学文社 [発売] '89.9.20 327p 21cm(A5) ¥3,700(本体¥3,592)

【内容】 記号論の基礎 (記号論とは何か; 記号論の分類; 論理学における記号論の方法; 哲学における記号論の方法); 自然言語の論理 (第1階の述語論理と集合論; 内包論理 IL; 英語の IL への翻訳; 内包的メタ言語における英語の意味論; 記号論の再構成)

● #80 ISBN4-89362-053-3 【B8922527】

【標題】 MITの人工知能 W. E. L. グリムソン; R. S. パティル編; 篠原靖志ほか訳 パーソナルメディア '89.9.11 395p 21cm(A5) ¥3,605(本体¥3,500) 原書名: AI in the 1980s and Beyond (W. Eric L. Grimson; Ramesh S. Patil)

【要旨】 人工知能の研究では世界で最も進んでいるマサチューセッツ工科大学で開催された人工知能の将来についての会議において、P・H・ウィンストンをはじめとするトップクラスの人工知能の研究者達の白熱した議論が展開された。本書はその議論のもととなった12の論文をまとめたものである。1990年代の人工知能はどのようなのか? 人工知能の最先端の研究に携わり、常に確かな現状把握と将来に対する視点を持つ彼らが、90年代、そして21世紀に向けて、大きな可能性を秘める人工知能について論じている。

【内容】人工知能—展望;知識ベースシステム—1986年における概観;エキスパートシステムのツールと技術—過去、現在、未来;事例研究—専門知識(医療診断知識)を組み込んだシステムの発展;人工知能とソフトウェア工学;知的自然言語処理—現状と将来展望;自動音声認識と音声理解;知的な視覚システムの構築;ロボットの知覚機能;ロボットプログラミングとAI;ロボットハンドと触覚センサ;自律移動ロボット

● #81 ISBN4-7890-0474-0【B8920421】

【標題】動詞がわかれば英語がわかる—基本動詞の意味の世界 田中茂範;川出才紀著 ジャパンタイムズ '89.8.20 215p 19cm(B6) ¥1,240(本体 ¥1,204)

【要旨】本書は、表面的な意味のちがいに隠された単語本来の意味“コア・イメージ”をつかみ、基本動詞を100%使い切るための必読書です。

【内容】第1章 単語の学習とは;第2章 基本動詞の意味論(基本動詞のコアとは?;コア・イメージのとらえ方);第3章 基本動詞のコア分布;第4章 前置詞をコアでとらえる(前置詞の中の前置詞;粉らわしい前置詞);第5章 イメージでつかむ句動詞

● #82 ISBN4-7665-1036-4【B8917810】

【標題】オブジェクト指向への招待—思考表現のための新しい技法 春木良且著 啓学出版 '89.7.25 91p 21cm(A5) ¥2,000(本体 ¥1,942)

【要旨】オブジェクト指向という、プログラミングにおける新しい考え方は、SmalltalkばかりでなくC言語やLispなど既存のプログラミング言語にも取り入れられており、今後、様々な分野に応用されていくものと思われます。本書では、オブジェクト指向を『思考を表現するための技法』としてとらえ、その基本概念から応用までをプログラミングの経験のない方にもわかるように紹介しています。

【内容】なぜオブジェクト指向なのか(オブジェクト指向の登場;ソフトウェア工学におけるオブジェクト指向);オブジェクト指向型プログラミング言語(自然言語とプログラミング言語;高水準言語としてのオブジェクト指向型言語;専用プログラミング言語としてのオブジェクト指向型言語);オブジェクト指向の基本概念(基本概念;オブジェクト;メッセージ;クラス/インスタンス;クラス階層);オブジェクト指向の実際(オブジェクト指向的な情報処理表現;オブジェクト指向プログラムの構成;オブジェクト指向プログラムの実行過程;オブジェクト指向で表現できること;オブジェクト指向による問題の表現と解決;Smalltalkその他の言語);オブジェクト指向の応用(オブジェクト指向がもたらしたもの;モデル化表現とオブジェクト指向;データベースとオブジェクト指向;シミュレーションとオブジェクト指向;知識表現とオブジェクト指向)

● #83 ISBN4-13-001019-0【B8918791】

【標題】心のありか 村上陽一郎編 東京大学出版会 '89.7.25 256p 19cm(B6) ¥2,472(本体 ¥2,400)(シリーズ・人間と文化3)

【内容】こころ(村上陽一郎);心とは何か—私と他者(宮本久雄);社会変化のなかでの心(野田正彰);知的理解と共感的理解—認知科学に寄せて(小谷津孝明);機械は心を持ち得るか(竹内啓);動物と心—欺瞞の行動学(西田利貞);脳のはたらきからみた心—ニューロンからこころを推測する(河内十郎);からだどころ—心身症(末松弘行);『小さなおとな』の心(須賀哲夫);若者の心(松原隆一郎);アラブの心、イスラムの心(板垣雄三);現代人の心と価値観(木村尚三郎)

● #84 ISBN4-274-07522-2【B8917120】

【標題】機械翻訳 牧野武則著;電子情報通信学会編 オーム社 '89.7.20 206p 21cm(A5) ¥2,781(本体 ¥2,700)(ニューメディア技術シリーズ)

【要旨】本書は、意味を理解するための常識に関する知識や文の成立ちを規定する構分規則での言語からの独立について、新たなモデルを設定して解説したものです。

【内容】はじめに(開発の歴史;方式の変遷;意味の理解に向けて;多言語間翻訳を目指して;中間言語方式へ);機械翻訳の課題(翻訳の難しさ;翻訳システムのアウトライン;翻訳システムへの要請);言葉の理解と処理(理解のメカニズム;言語の理論;構文解析の方法;構文と意味の処理);構文の構造(基本的な文の構成;文の成立ち;語彙辞書の内容;構文解析の概要);概念の実現(意味と概念の表現;概念の表現;自然言語文の概念表現);翻訳のプロセス(形態素解析;構文意味解析;構文生成;形態素生成;翻訳過程について);機械翻訳のための辞書(言葉とは何か;辞書の構成;専門用語辞書;多言語間辞書;辞書の作成と管理);翻訳システムの運用(なぜ機械翻訳か;機械翻訳システムの能力;運用システムの概要;運用形態;今後の展望(解析・生成能力の向上;辞書情報の収集;そして自動通訳へ))

● #85 ISBN4-13-013072-2【B8917530】

【標題】神経回路モデルとコネクショニズム 甘利俊一著 東京大学出版会 '89.7.20 207p 19cm(B6) ¥1,854(本体 ¥1,800)(認知科学選書 22)

【要旨】今、認知科学でもっともホットな脳の並列分散処理の可能性と限界をその基礎となる原理からていねいに解説。

【内容】脳とコンピュータ;ニューロン、基本素子、神経回路網;神経回路網による情報変換;対称結合の回路網のダイナミックス;連想記憶モデルのダイナミックス;ポルツマン機械;ニューロンの学習;多層の学習回路網;神経回路網の自己組織化;補綴 哲学における〈コネクショニズム〉(黒崎政男)

● #86【B8915618】

【標題】陳原著作選 2 ことばの社会機能 5 個の漢字をめぐる 陳原著;松岡崇志編訳 凱風社 '89.6.30 152p 21cm(A5) ¥1,751(本体 ¥1,700)

【要旨】辞書編纂40年の著者による語彙論。現代中国語読本。

【内容】『一』を積す—辞典の収録語彙・語釈について、いくつか思いついたこと;『大』を積す—辞典学・語彙学と社会言語学についてのいくつかの問題と随想;『鬼』を積す—意味論・辞典論・社会言語学のいくつかの現象についての考察;『典』を積す—辞書の記録性と規範性及び社会的機能について;『九』を積す—中国語の表記システムに関する社会言語学的考察

● #87 ISBN4-625-52111-4【B8916565】

【標題】講座 日本語と日本語教育 第11巻 言語学要説 上 崎山理編 明治書院 '89.6.30 388p 19cm(B6) ¥2,884(本体 ¥2,800)

付録 A 添付資料 (処理データ)

- 【内容】言語と言語学; 音声・音韻 (音声学と音韻論); 文法 (形態論・語形成論; 記述的統語論; 生成文法の統語論); 意味 (語彙論; 意味論; 語用論; 類型論); 社会・文化 (方言学と言語地理学; 社会言語学; 言語人類学; 歴史比較言語学—その目標と方法)
- #88 ISBN4-89384-086-X 【B8915319】
- 【標題】異文化領域への架橋 関森勝夫; 武田修一編著 北樹出版; 学文社 [発売] '89.6.25 177p 21cm(A5) ¥2,266(本体 ¥2,200) (国際関係学双書 5)
- 【内容】抽象概念を示す外来語—精神活動の国際化; 英語意味論の世界; 『魚の目は泪』考—芭蕉句異見; やさしき女とかいなき男—お伽草子から浮世草子まで; 日ソ間経済関係の問題点; 古代中国の石神信仰について
- #89 ISBN4-274-12856-3 【B8915857】
- 【標題】KE養成講座 1 AI入門 長田正; 松井俊浩共著 オーム社 '89.6.20 180p 21cm(A5) ¥2,266(本体 ¥2,200)
- 【要旨】本講座は、KE(ナレッジエンジニア)がエキスパートシステムの開発にあたり知っておくべき AIの基本知識から、開発に必要な知識・技法、プログラミング手法までを効率的に学習できるよう全6巻で構成したテキストです。
- 【内容】1章 AI概論 (AIとは; AIの歴史と動向; AIの関連分野; AIの応用分野); 2章 AIの基礎理論 (問題解決と探索; 論理と推論; 知識表現; 学習); 3章 AIの要素技術と応用 (画像理解; 音声理解; 自然言語理解; エクスパートシステム); 4章 AIの開発環境と実行環境 (AI言語; Lisp; Prolog; Smalltalk; プログラミングパラダイムの統合; プログラミング環境)
- #90 【B8916957】
- 【標題】パソコンによる英日、日英自動翻訳—翻訳ソフト、ツールをどう使うか 大場五夫著 日本技術出版; オーム社 [発売] '89.6.16 253p 26cm(B5) ¥2,678(本体 ¥2,600)
- 【要旨】本書では翻訳実務やライティングに、パソコンをどのように使えばよいか、またそのためにはどのようなツールがあり、それらはどのように使えば効果が上がるかを、考え方とノウハウの両面で、分かりやすく紹介してあります。
- 【内容】第1章 パソコン活用の第一歩—ワープロをどう使うか; 第2章 日英翻訳ツール—マイクロバック J/E3; 第3章 英日翻訳支援ツール E-JBANK plus—下訳としての有効な利用法; 第4章 英文法のチェック・ツール—RIGHT WRITER で良質な英文に; 第5章 翻訳支援ツール SED—文字列変換を翻訳に生かす; 第6章 電字林 2 の活用法—電子辞書を翻訳に生かす; 第7章 パソコン活用の幅を広げるデータベース—翻訳実務に付加価値を; 第8章 英文入力を効率化するツール—PCR-SWAN の活用法; 第9章 データを多角的に活用する—テキスト・エディタの効用; 第10章 付加価値を高めるパソコン FAX—MULTIFAX と KOA-FAX
- #91 ISBN4-7856-3512-6 【B8914370】
- 【標題】ソフトウェア講座 12 構文解析 徳田雄洋著 昭晃堂 '89.6.10 196p 21cm(A5) ¥3,502(本体 ¥3,400)
- 【要旨】構文解析の技術は、与えられた言語表現の目に見える構造を決定する技術である。コンピュータサイエンスの普遍的な基本技術の一つであり、適用範囲も、コンパイラの作成、混合入力方式の構造エディタの作成から自然言語インタフェースの作成、自然言語理解システムの作成に至る分野に及んでいる。本書はプログラミング言語および自然言語の分野で、基本的と考えられる構文解析アルゴリズムを収録し、その原理を解説した。したがって、システムプログラムや自然言語処理の勉強の入門部分の基礎を学ぶことができる。
- 【内容】言語; 準備; 文句の定義; 構文の定義; 構文解析技術の応用例; 構文解析の手法; 形式言語の性質; 下降型解析; 上昇型解析; 一般の文脈自由文法の構文解析
- #92 ISBN4-900074-68-3 【B8911334】
- 【標題】オルタナティブ・ヴィジョン—新たな価値体系の思潮 吉福伸逸編・訳 阿含宗絵本山出版局 '89.5.24 246p 19cm(B6) ¥1,800(本体 ¥1,748)
- 【要旨】あらゆる価値観の相対比に直面して、確信をもって選択することがますます困難になってゆく現代、7人の真摯な探求者たちのことばから、何かの示唆を得ることができるに違いない。
- 【内容】エルムウッド研究所とその周辺 (フリットホフ・カブラ); 21世紀のグローバルな創造神話 (ブライアン・スウィム); ブーツトラップ理論の哲学的側面 (ジェフリー・チュー); 認知科学と仏教瞑想 (フランシスコ・J・ヴァレラ); 新しい誕生のプロセスとしての宇宙旅行 (ラッセル・L・シュワイカート); コミュニティ・デザインからライフ・デザインへ (シム・ヴァン・デル・リン); メディソン・パースンとニューエイジの動向 (ダグ・ボイド)
- #93 ISBN4-327-40095-5 【B8912309】
- 【標題】意味の文脈—通じる世界の言葉と心 成瀬史著 研究社出版 '89.5.20 201p 21cm(A5) ¥2,410(本体 ¥2,340)
- 【要旨】意味を考える分野が近年急速に展望を広げつつある。本書は、意味の構成・伝達・解釈・喚起・創造などにかかわる問題を、具体的な事例に即して言葉の心の文脈という視点から分析し、われわれが言葉を用いる際の心の働きを明らかにする。
- 【内容】『通じる』世界; 発想から表現へ; 意味の枠組み; 焦点・残像・省略; 台本 (SCRIPT) による理解; 誤解の回路と回避; 『分かりやすさ』の条件; 情報の伝達と情念の喚起; 意味の退化と回復
- #94 【B8911107】
- 【標題】教科理解の認知心理学 鈴木宏昭; 鈴木高士; 村山功; 杉本卓著 新曜社 '89.5.10 233p 21cm(A5) ¥2,600(本体 ¥2,524)
- 【内容】1章 文章を書く過程 (文章産出過程の包括的モデル; 書き手の知識と文章産出; 書く過程—初心者と熟達者; 課題状況; 書くこととコミュニケーション); 2章 算数・数学の理解 (数の理解の発達; 計算のバグと手続きの理解; 文章題の理解と表象の生成); 3章 自然科学の理解 (自然科学の知識を用いて問題を解くこと—問題解決研究から; 自然科学を理解する); 4章 既有知識と文章理解 (文章理解と知識; スキーマ理論の一般的枠組; スキーマと文章理解の実証的研究; スキーマ理論の貢献のまとめと今後の課題; スキーマ理論の最近の成果—シャンクの理論)
- #95 ISBN4-7665-1028-3 【B8909302】
- 【標題】知的知識ベース・システム入門 W. J. ブラック著; 白井英俊; 益田誠也訳 啓学出版 '89.4.28 245p 21cm(A5) ¥2,700(本体 ¥2,621) 原書名: INTELLIGENT KNOWLEDGE BASED SYSTEMS: An Introduction (W. J. Black)

【要旨】本書は、知識工学入門者のために、様々な方面からIKBSにアプローチしており、エキスパート・システムの構造や機能の概説、その開発過程、Prolog、知識表現の紹介、言語理解における意味論、自然言語理解へのアプローチなどを詳しく、平易に解説している。情報処理、計算機科学の学科生、人工知能関連の技術者に向けた入門書。

【内容】第1章 エキスパート・システム; 第2章 PROLOG の理解; 第3章 IKBS—知識表現; 第4章 エキスパート・システムの開発—『知識工学』; 第5章 プランニングと学習と知的チュータリング; 第6章 自然言語理解; 第7章 自然言語理解における意味論; 第8章 計算機システムに対する知的インタフェース; 第9章 読み進む人のために

● #96 ISBN4-274-07506-0 【B8908753】

【標題】人工知能 志村正道著 オーム社 '89.4.20 110p 19cm(B6) ¥1,236(本体¥1,200) (新 OHM 文庫)

【要旨】本書は、コンピュータの歴史とともに発展していく基盤として、あるいは応用分野で利用されつつある人工知能について、基本的ないくつかのテーマに焦点をあて、その概要を平易に解説しています。

【内容】1章 コンピュータと人間の知能; 2章 問題の展開; 3章 論理の世界; 4章 知識を使う; 5章 エキスパートシステム; 6章 ゲームの世界; 7章 自然言語と機械翻訳; 8章 知的 CAI; 9章 最近の話題

● #97 ISBN4-947627-04-2 【B8909289】

【標題】パーソナルコンピュータによる日英双方向機械翻訳システムの制作 上野俊夫ほか著 ラッセル社 '89.4.20 235p 21cm(A5) ¥2,800(本体¥2,524) (ラッセルブックス)

【要旨】日英・英日双方向機械翻訳の理論と、プログラム (BASIC/Lisp) を公開。

【内容】1 日英双方向システムの制作; 2 システムの強化; 3 Lisp による双方向機械翻訳システム

● #98 ISBN4-469-25033-3 【B8908426】

【標題】フランス語、意味の散策—日・仏表現の比較 泉邦寿著 大修館書店 '89.4.10 177p 19cm(B6) ¥1,440(本体¥1,398)

【要旨】この本では、純粋に文法的なことよりはむしろ、意味と表現の問題で日本語を母語とする学習者がうっかり間違えてしまうこと、あまり気づかずにいること、覚えておいた方がいことなどを取り上げて考えてみることにしました。

【内容】ハンカチと靴下—単語の意味について; 虫と bete—類集合詞の話; porte と戸—カテゴリー化の違い; 意味の特徴; <かく>・<はなす>; nu とはだか—語の意味の中の前提; farouche—多義語の話; quelqu'un とだれか; 単位を表わす表現—日本語の助数詞に対応するもの; 所有と存在をめぐる; 位置を表わす表現—<前・後・上・下>; 位置と方向; <遠い>・<近い>; 時の表現と前置詞; 様態の表現; 比喩の表現; 話し手の判断を示す副詞表現; 挨拶と呼びかけ; tu と vous について; on について; 命令と依頼の表現; 誘いと許可の表現; 感謝と遺憾の表現; 使役表現と他動詞的表現; 強調ということ

● #99 ISBN4-563-01347-1 【B8907386】

【標題】情報処理論 1 情報処理概論 三上市蔵編著 培風館 '89.4.5 184p 21cm(A5) ¥1,545(本体¥1,500)

【要旨】本書は、大学における全学共通の教養課程学生向き情報処理教育用テキストである。情報化社会におけるコンピュータ利用の実際を認識し、情報処理について基本的な見識を涵養することを目的とする。コンピュータの原理とその発展、情報とは何か、情報の管理の問題にはじまり、様々な分野におけるコンピュータの利用形態、さらに情報システム基本構成までユニークな構成で解説する。広い視野からコンピュータリテラシーを育成する。

【内容】コンピュータの誕生からスーパーコンピュータまで; 計算機科学概説; 高度情報通信システム—電気通信網の統合; コンピュータネットワークとコミュニケーション; 認知科学とコンピュータ; 個人情報収集とプライバシー; メディア・身体・経験; 数値計算法の基礎; 経済活動とコンピュータ; 書誌情報とデータベース; 技術者のための文献検索; コンピュータグラフィックス入門; 人工知能; コンピュータシミュレーション—構造物の動的解析

● #100 ISBN4-13-002061-7 【B8906046】

【標題】すぐれた授業とはなにか—授業の認知科学 佐伯胖; 大村彰道; 藤岡信勝; 汐見稔幸著 東京大学出版会 '89.3.22 241p 19cm(B6) ¥1,400 (UP 選書 261)

【要旨】子どもは教室で生きている、もがいている、考えている。一教室の中で火花を散らしている子どもたちの思考過程を、四つの傑出した授業実践を素材に、4人の教育学者が徹底解析し、新しい『授業の認知科学』の方向をさぐる。

【内容】1 子どもが表現するとき—作文における誠実さと真実さ (丹羽徳子氏の実践から); 子どもにとって作文とは何なのか; 討論; 2 子どもの納得世界を探る—算数の学習の場合 (算数教育はうまくいっているのか; 討論; 算数が『わかる』ということ—ランバートの実験授業の考察); 3 子どもが生きる授業—有田正氏の社会科授業に見る学習の分析 (授業観察による学習過程の研究; 学習過程モデルの再検討; 討論); 4 授業で子どもの信念を変えることは可能か—仮説実験授業の場合 (仮説実験授業『ばねと力』の授業過程; 授業の評価と問題点; 討論)

● #101 ISBN4-274-07446-3 【B8906424】

【標題】機械翻訳サミット 長尾真; 田中穂積; 牧野武則; 野村浩郷; 内田裕士; 石崎俊共編 オーム社 '89.3.20 200p 26cm(B5) ¥3,900

【要旨】機械翻訳関係者の 1987 年 9 月に開催された機械翻訳研究に関する国際シンポジウムの研究発表をもとに、討論の内容、その後の最新の成果を、第一線の研究者・技術者が、モノグラフとしてまとめました。

【内容】序章; 1章 機械翻訳の展望; 2章 機械翻訳技術の展望; 3章 機械翻訳関連プロジェクト; 4章 商用機械翻訳システムの開発; 5章 商用機械翻訳システムの運用; 6章 各国における機械翻訳への取り組み; 7章 機械翻訳サミットの結論; 付録: 日本の機械翻訳システム

● #102 ISBN4-7828-5125-1 【B8904070】

【標題】PDP モデル—認知科学とニューロン回路網の探求 D. E. ラメルハート; J. L. マクレランド; PDP リサーチグループ著; 甘利俊一監訳 産業図書 '89.2.27 529p 21cm(A5) ¥4,600 原書名: PARALLEL DISTRIBUTED PROCESSING: Explorations in the Microstructure of Cognition (David E. Rumelhart; James L. McClelland; The PDP Research Group)

付録 A 添付資料 (処理データ)

【内容】第1章 並列分散処理の魅力; 第2章 並列分散処理の一般的枠組み; 第3章 分散表現; 第4章 PDPモデルと認知科学の諸問題; 第5章 競合的学習による特徴発見; 第6章 動的システムにおける情報処理、調和理論の創設; 第7章 ボルツマン・マシンにおける学習と再学習; 第8章 誤差伝播による内部表現の学習; 第8章 PDPモデルにおけるスキーマと直列的思考過程; 第10章 大脳皮質の構造と機能; 第11章 認知と並列分散処理に関する考察と展望

● #103 ISBN4-327-39914-0 【B8904502】

【標題】英語年鑑 1989 英語年鑑編集部編 研究社出版 '89.2.10 515p 19cm(B6) ¥9,000

【要旨】この『英語年鑑』は、わが国の英語学・英米文学界の、1987年4月から1988年3月にいたる1年間の活動のあとを記録するために『各界の回顧と展望』『英学日誌』『全国大学・短大・高専英語教育構成』『研究団体』『個人研究業績』『人名録』および『研究業績項目別索引』の七部分に分けて編集したものである。

【内容】英語学・英米文学各界の回顧と展望(イギリス詩の研究; アメリカ詩の研究; イギリス小説の研究; アメリカ小説の研究; シェイクスピアの研究; 児童文学の研究; 音声学・音韻論・形態論の研究; 英語史の研究; 統語論・意味論の研究; 文体論の研究; 英学史の研究; 時事英語の研究; 現代英米演劇の研究; 英語教育の問題点); 英学日誌(1987.4-1988.3); 全国大学・短大・高専英語学・英米文学関係教育構成一覽; 研究団体一覽; 個人研究業績一覽; 英語学・英米文学関係人名録; 『個人研究業績』内容別分類項目索引

● #104 ISBN4-339-01016-2 【B8833121】

【標題】画像と言語の認識工学 長尾真著 コロナ社 '89.1.10 486p 21cm(A5) ¥7,500 (エレクトロニクス モノグラフシリーズ 2)

【内容】第1編 画像の認識(文字パターンの非同期式読取り; 画像処理の方法; ブラックボードモデルによる航空写真の解析; 試行錯誤的プロセスによる形状認識 ほか); 第2編 言語の認識(言語情報処理概説; 重要語の自動抽出; 辞書のデータベース化と単語分割; 論文表題の機械翻訳; 機械翻訳における訳語選択と構造交換; 機械翻訳のための辞書; アナロジーの原理に基づく機械翻訳の可能性 ほか)

● #105 ISBN4-303-71540-9 【B8833351】

【標題】認知心理学講座 1 記憶 ジリアン・コーエン; マイケル W. アイゼンク; マーティン E. ルボフ著; 認知科学研究会訳 海文堂出版 '89.1.10 205,4p 21cm(A5) ¥1,900 原書名: MEMORY: A Cognitive Approach (Open Guides to Psychology) (Gillian Cohen; Michael W. Eysenck; Martin E. LeVoi)

【内容】第1部 日常記憶(メタ記憶; スキーマ理論と日常記憶; 自伝的記録); 第2部 作業記憶(記憶システム; 作業記憶の構成要素); 第3部 再認と再生における符号化と検索(符号化特殊性; 再認)

● #106 【B8901144】

【標題】現象学と解釈学 下 現象学・解釈学研究会編 世界書院 '88.12.31 282p 19cm(B6) ¥2,600 (叢書・フェノメノロギカ 15)

【内容】第1章 生の哲学と解釈学—ニーチェ、デイルタイと現代; 第2章 隠れたるものの言語化—解釈学と存在思索; 第3章 テキスト理論と作者問題—音楽美学の立場から; 第4章 解釈学と意味論—リクルの場合; 第5章 解釈学と弁証法; 第6章 学の理念と近代—理論と実践の統一をめぐって; 第7章 意味と実在—ルーマンの社会理論と現象学; 第8章 日常の彼岸と此岸—フッサールからシュッツへ; 第9章 歴史叙述の論理とその制約—ナラチオ理論と現象学

● #107 ISBN4-274-07449-8 【B8832433】

【標題】TURBO PROLOG 入門 カール・タウンゼンド著; 酒見高広訳; 倉谷直臣監訳 オーム社 '88.12.25 328p 21cm(A5) ¥3,300 原書名: Introduction to Turbo Prolog (Carl Townsend)

【要旨】本書では、システムのインストールから、プログラムの構造、スタンドアロンなプログラムの作成方法まで、Turbo Prolog のあらゆる面を詳しく説明している。

【内容】基礎編(Prologへの招待; Prologを使ってみよう; 事実、オブジェクト、述語; Prologの変数; 規則を使おう; 入力と出力; 実行の制御—失敗させる; 算出演算; 複合オブジェクトを使う; 動的データベースを使う; リストを使う; ストリング操作; ウィンドウ、グラフィックス、サウンド; Prologにおけるファイル操作; Turbo Prologを使ってプログラムを開発する); 応用編(エキスパートシステム入門; エキスパートシステムを作る; アドベンチャーゲームと自然言語処理)

● #108 ISBN4-13-011100-0 【B8831820】

【標題】認識し行動する脳—脳科学と認知科学 伊藤正男; 佐伯伸編 東京大学出版会 '88.12.22 364p 21cm(A5) ¥3,600

【要旨】脳科学と認知科学の真の対話。脳科学・認知科学・人工知能の最前線で活躍する研究者たちが互いに妥協を許さない対話を経て、認識と行動を結ぶ共通の原点を提示。広く一般読者にもわかりやすい解説と対話を付す。

【内容】1 序: 認識と行動(脳科学からの接近; 認知科学からの接近); 2 基礎概念(認知機能の神経科学的基礎; 行動の心理学的基礎); 3 行動の発現と実行(プランと実行—その情報処理過程; 運動意志の発現; 視覚と運動の脳内過程; 運動軌道の形成—神経回路の計算機構; ロボットの行動の制御); 4 記憶と認識(記憶のメカニズム—認知神経科学の試み; 記憶とからだ; 空間の記憶と適応行動—生態学のアプローチ; 認知地図の計算機モデル; 時間の多重世界表現); 5 認知科学と脳科学

● #109 ISBN4-06-153904-3 【B8829369】

【標題】認知科学の発展 1 日本認知科学会編 講談社 '88.12.20 224p 21cm(A5) ¥2,200

【要旨】認知科学会からの初めてのメッセージ。創設5年目を迎えた認知科学会会員の手に成る論文集。学会刊物として第一号の重責を果たす掲載の7編は、認知科学会の活動と成果をうかがい知るのに最適であり、また認知科学会の活動内容を知らうとする諸賢にも必読。

【内容】3 囚人問題の解決と理解の過程をめぐって(市川伸一); 3 囚人問題の理論的探究(井原二郎); 最小核モデルから見た連想記憶: ヒトの漢字情報検索における優先方略(斎藤洋典; 四方義啓); 異言語間対話を目指す端末間通訳モデル(飯田仁); 珠算式暗算における習熟—定型的熟達化の一事例(波多野道余夫); 知識はいかに獲得されるか(赤間清); 行動プランについて—感情のアージ理論拡張の試み(戸田正直); 日本認知科学会会報および『認知科学の発展』編集後記(西川泰夫)

● #110 ISBN4-274-07468-4 【B8832176】

【標題】 自然言語処理入門—ことばがわかるコンピュータをめざして 西田豊明著 オーム社 '88.12.20 114p 19cm(B6) ¥1,200 (新 OHM 文庫)

【要旨】 コンピュータはどこまで日常の言語を理解できるか。自然言語処理の研究はコンピュータ関連のみならず自然言語そのものの研究も重要である。またここに奥深いものがあり、おもしろく魅力的なところがある。本書は機械翻訳システムなど一部で応用されつつある研究成果について、今後の道しるべとなる重要テーマを中心にまとめたものである。

【内容】 1章 自然言語処理の分野; 2章 単文の構造と解析; 3章 談話の構造と解析; 4章 曖昧性の問題と統合的言語理解; 5章 文章の生成; 6章 応用自然言語処理と実用化技術

● #111 ISBN4-563-05554-9 【B8831736】

【標題】 学習の理論 下 ゴードン・H. バウアー; アーネスト・R. ヒルガード共著; 梅本亮夫監訳 培風館 '88.12.15 392p 21cm(A5) ¥3,900 原書名: THEORIES OF LEARNING, 5th ed. (Gordon H. Bower; Ernest R. Hilgard)

【要旨】 本書のねらいは現代の学習理論を理解させ、その歴史的文脈とその背景とを提供することにある。下巻では理性主義による認知・体制化の考え方に影響されたゲシュタルト派やトールマンの学習理論や情報処理理論とその発展について述べられ、さらにこれらの理論と関連する神経科学や教育への応用にも及んでいる。

【内容】 2 認知・体制化理論 (ゲシュタルト理論; トールマンのサイン学習; 行動に関する情報処理理論; 認知理論の最近の発展); 3 関連分野 (学習の神経生理学; 教育への応用)

● #112 ISBN4-19-513812-4 【B8829595】

【標題】 タイム・マーチャント—日米欧・四次元の覇権争い 大前正臣著 徳間書店 '88.11.30 238p 19cm(B6) ¥1,200

【要旨】 いま列強の『タイム・マーチャント』の勝負が始まろうとしている。日米欧の情報・通信企業は、何を、いかに手中にしようとしているのか!?

【内容】 第1章 いま通信がナウい—テレコム 87に殺到する人々; 第2章 私はタイム・マーチャント—残された唯一の時間資源を売る; 第3章 シャベリだした自動翻訳電話—離散した人類を結ぶ; 第4章 ミニテルが勝ったフランス—情報時差を解消する; 第5章 意識を広域化する放送衛星—高品質テレビの黄金時代; 第6章 狙われた日独の郵政省—アメリカの手口を解剖する; 第7章 中国での覇権争い—デジタル交換機で勝負

● #113 ISBN4-02-259465-9 【B8827302】

【標題】 情報の文化史 轟山紘一著 朝日新聞社 '88.11.20 224p 19cm(B6) ¥880 (朝日選書 365)

【要旨】 洞窟画からビデオまで、人は、情報を手にして歴史に参加してきた。私たちは、情報をいかにつくり、かかわってきたか。

【内容】 序章 情報の文化史への道; 1 通信と交通の社会文化史 (太古—技術の出発点; 文書コミュニケーションの誕生; 道は統治なり; 聴覚と視覚の通信; 南船北馬; 情報高密度社会のなりたち; 輸送革命のあとさき; 有線・無線のネットワーク); 2 コミュニケーションと科学技術 (自動翻訳と言語; ビデオディスクと読書; 抵抗と摩擦の技術文明学; 日本の科学と技術; 現代技術の課題); 3 トポロジカルな世界 (虚と空隙と存在の充満; 象徴的思考の文脈; トポロジーから、非在のトポスへ)

● #114 ISBN4-89362-047-9 【B8828545】

【標題】 ザ・プロジェクト—コンピュータ技術開発の最前線 栗田昭平著 パーソナルメディア '88.11.15 199p 19cm(B6) ¥1,200

【要旨】 スーパープロダクツはこうして生まれた—日立、ソニー、IBM、富士通、NEC、東芝、リコー。着想から完成にいたるまでを徹底取材。開発秘話、苦勞、喜びなどエンジニアの生の声をレポート。

【内容】 第1部 プロジェクト (次世代 OA 環境を創造するクリエイティブ WS—日立製作所『2050』『2020』; 新市場開拓をねらう高性能 EWS—ソニー『NEWS』; 並列処理研究の道具となる並列処理 WS—日本 IBM 東京基礎研究所『TOP-1』; 先取りの社会が生んだ高速並列処理マシン—富士通研究所『CAP』; ミニスーパー市場をリードする並列処理マシン—アライアントコンピュータシステムズ『FX』シリーズ; ケタ違いの世界最高速スーパーコンピューター—ETA システムズ『ETA10 シリーズ』; 世界最高性能を誇る自動指紋認識システム—日本電気『AFIS』; 自らの手で開発した一等航空整備士養成ツール—日本航空『B767用 CPT』; ファジー理論で新境地開いた音声認識システム—リコー『BTSP』; 知識情報処理の限界に挑む機械翻訳システム—富士通『ATLAS-2』; 世界最高速の RISC アーキテクチャ・プロセッサ—東芝『AI プロセッサ』; ユーザの立場に立った ES 構築ツール—ユー・アイ・ソフト『創玄』; 独自のトータル CAI システム—日本ユニシス『コンピュータドット』; ユニークな最短時間経路検索システム—ヴァル研究所『駅すばあと』; 日本と台湾の技術協力で開発した高機能 ICE—コアグループ『C-ICE』); 第2部 コンピュータ新時代の潮流 (ミニスーパーコンピューター市場を創造する; 商業化並列処理コンピュータの登場; 研究熱高まる光コンピュータ; ニューロコンピュータの衝撃)

● #115 ISBN4-250-88037-0 【B8825402】

【標題】 偶数と奇数の記号論—脳と諸記号システムの非対称 В п ч. В с. И в а н о в 著; 田中ひろし訳 青木書店 '88.11.1 261,7p 19cm(B6) ¥3,500 原書名: Чет и нечет; Асимметрия мозга и знаковых систем (Вяч. В. Иванов)

【要旨】 右脳・左脳の機能と構造・その非対称の考察を中心に、文化・記号の二値シンボルシステム、人間の言語行為の特性、意識の深層の感覚思考などについて、諸科学領域を自由に往来しつつ論及—人間科学の可能性の扉を大胆に開く異色作品!

【内容】 右—左 (2台のコンピューターのシステムとしての脳; 両脳半球; 文法と意味; 左脳の文法; 右脳の意味情報 ほか); 双児 (二項対立シンボル; 2から4へ; イエスとノー; 二項シンボル分類システム; 文化の二値コード; 記号システムの非対称); 対話 (コンピューターとの会話; 自然言語と人工言語; 話し手と聞き手; 《転換子》、コード、メッセージ; 自己中心語と科学言語 ほか)

● #116 ISBN4-8301-0508-9 【B8826656】

付録 A 添付資料 (処理データ)

【**標題**】 ビジネス・コミュニケーションの原理 F. W. ウィークス; D. A. ジェイムソン; R. D. ゴーゼルマン著; 浦辺茂男訳
文化書房博文社 '88.10.30 261p 21cm(A5) ¥2,800 原書名: Principles of BUSINESS COMMUNICATION (Francis W. Weeks; Daphne A. Jameson; Robert D. Gieselman)

【**内容**】 第1章 ビジネス・コミュニケーションの諸問題; 第2章 理論、研究、モデルとその効用; 第3章 意味論のビジネス・コミュニケーションへの応用; 第4章 読む過程; 第5章 書く手順と作戦; 第6章 効果的な文体; 第7章 レポートの書き方; 第8章 摘要とその他の読者への助け; 第9章 履歴書と就職申込状; 第10章 日常の場面の説得的書き方; 第11章 行動をうながす書き方; 第12章 肯定的な面と否定的な面の均衡; 第13章 総括

● #117 【B8828247】

【**標題**】 レトリックの知—意味のアルケオロジーを求めて 瀬戸賢一著 新曜社 '88.10.30 314,7p 19cm(B6) ¥2,200

【**要旨**】 隠喩や換喩や提喩…などの文彩は、まさに私たちの認識を条件づけている (限界づけている) といつてよい。いわば、人間にとって可能な認識に越えられぬ境界があり、その向うは、踏み込もうにも踏み込めない無人境の空 (白) になっているということである。ヴィトゲンシュタインをもじってこれを言い表わせれば、《レトリックの限界が認識の限界である》、といえる

【**内容**】 1 レトリックの精神; 2 意味論への挑戦『対義結合』のレトリック; 3 認識と行動へ; 4 意味を求めて; 5 『否定』のレトリック; 6 反転する意味

● #118 ISBN4-89501-288-3 【B8824775】

【**標題**】 パーソナルコンピュータで学ぶ AI とエキスパートシステム R. I. レバイン; D. E. ドラング; B. エーデルソン著; 越田一郎; 中川裕志; 森辰剛訳 マグロウヒル出版 '88.10.25 307p 21cm(A5) ¥2,900 (COMPUTATION & SOFTWARE SCIENCE) 原書名: A Comprehensive Guide to AI and EXPERT SYSTEMS (Robert I. Levine; Diane E. Drang; Barry Edelson)

【**要旨**】 本書は、人工知能とエキスパートシステムの考え方を、普通の人がわかる用語で紹介し説明しています。

【**内容**】 第1部 人間と機械の知能 (知能とは何か; 人工知能システムの開発; エキスパートシステムの定義; 自然言語処理); 第2部 推論機構—機械が考えるための道具 (前向き推論; 後向き推論; 確率とファジイ論理のエキスパートシステムへの応用); 第3部 エキスパートシステム—知識+推論 (財務計画エキスパートシステム; セールス・エキスパートシステム; 学習評価エキスパートシステム); 第4部 システム構築用高度プログラミング技法 (オブジェクト指向型プログラミング; オブジェクト指向型プログラミング—工学における例; オブジェクト指向型エキスパートシステム); 第5部 洗練されたシステムのための進んだ知識表現 (意味ネット; 確信度; 自動学習; 人工知能で使用されている言語; PROLOG を使ってエキスパートシステムを設計しよう; LISP)

● #119 ISBN4-13-013070-6 【B8825861】

【**標題**】 機械の知 人間の知 辻井潤一; 安西祐一郎著 東京大学出版会 '88.10.25 252p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 20)

【**要旨**】 『機械の知』の実現と『人間の知』の解明を目指す人工知能、認知科学の成果を吟味し二つの知の特質とその乖離を埋める多様な知へのアプローチを論じる。

【**内容**】 1 機械の知 (知の計算モデル; 問題解決と記号計算; 言葉の理解; まとめ); 2 人間の知 (認識の情報科学への計算論的アプローチ; 学習の計算モデル; 認知と推論の統合的計算モデル; 超並列情報処理のモデル; 認識の情報科学—将来に向けて)

● #120 ISBN4-06-148920-8 【B8825338】

【**標題**】 AI—人工知能のコンセプト 西垣通著 講談社 '88.10.20 262p 18cm ¥580 (講談社現代新書 920)

【**要旨**】 エキスパート・システム、機械翻訳、知能ロボット…。科学者の遊戯的空間から〈知〉を増幅させて、ビジネスの舞台に躍り出た AI—。言語の〈ゆらぎ〉〈あいまいさ〉を感知する無謬装置ははたして可能なか。気鋭の著者が現代思想のなかに錐鉛を下ろした意欲作。

【**内容**】 AI とは何か; テクノロジーとエキスパート・システム (意味ネットワーク; あいまいな知識; 意味のゆらぎ ほか); コンピュータはまちがえないか (プログラムのバグ; AI と SDI; 迷路の鼠化快楽 ほか); 言語記号をめぐる大論争 (サイバースペース; 人工言語をつくる; AI を審問する ほか); 現代社会は AI で変わる (バイオ・コンピュータ; 生存命題; AI は現代のメタファ ほか); AI 感覚をみがく (近代知の祭壇; AI のパラドックス; コンピュータのポスト・モダン ほか)

● #121 ISBN4-309-00512-8 【B8825085】

【**標題**】 これは日本語か ドメニコ・ラガナ著 河出書房新社 '88.10.15 233p 19cm(B6) ¥1,600

【**要旨**】 あの『ラガナ一家のニッポン日記』の著者が、大学生へのアンケートをもとに、現代日本語文法と国語教育の課題を愛惜こめて提起する感動的な本格日本語論。

【**内容**】 第1章 日本語の特徴; 第2章 西洋の諸言語の文法と日本語の文法; 第3章 現代日本語の実態調査; 第4章 日本人の規範意識; 第5章 日本の学生の語感; 第6章 自然言語と論理学; 第7章 “変でない”日本語

● #122 ISBN4-255-88048-4 【B8824034】

【**標題**】 知識情報の世界を拓く—データベースから知恵をくむ 第2回大学と科学公開シンポジウム組織委員会編 朝日出版社 '88.10.11 252p 26cm(B5) ¥4,200 (明日の文化と産業を支える独創的・先端的研究の成果)

【**要旨**】 大学・企業等で日々生みだされる研究成果を初めとする膨大な情報を的確、迅速に処理することは独創的な研究を進める上で、必要不可欠な手続きといえよう。本書では、こうした見通しに立って、様々な学分野内で、また学分野を横断的に結びつけて構築されている情報ネットワークの現在が論じられている。コンピュータ・オンラインで接続された〈情報〉は、社会をどこへ導くのか? 知恵と知恵の創造的な再編成の行方を示唆する一書である。

【**内容**】 学術情報システムの展望 (オンライン図書館への展望; 学術情報センター・オンライン共同分担; 目録システムの現状と将来; データベース操作とワークステーション; 標準学術用語と多言語ソーラスシステム; 学術用語集の機械可読化とその高度利用); 特別講演 学術情報とその流通技術; 知識情報の集積と知的利用—人文・社会科学へのアプローチ (国文学におけるデータベース形成とその高次利用; 歴史学研究に対する計算機の活用; 古写本の計算機処理; 経済データベースの現状と課題; 経済分析用エキスパートシステムの開発); マルチメディア情報システム (マルチメディア学内情報システム (IMES); マ

ルチメディアの知的ファイリング・システムの構築; 多次元 X 線像の新しい処理法と表示; 材料と情報システム (化学と情報分子設計のはじめから終わりまで; 材料データシステムの新しい展開); 生命科学を支える情報 (文字・画像・知識の総合化; 日本の DNA データバンク; 医用画像データベース; 下顎運動機能データベース); 認知科学と人工知能 (人工知能と神経情報処理; 日常会話システムの設計; 対人相互作用実験); 高次知識情報処理 (知識情報処理研究の進展—大学の場合; 多元情報受容系と感性情報処理; 知識科学の展開; 高次コミュニケーション)

● #123 ISBN4-526-02410-4 【B8822925】

【標題】 PC9801 機械翻訳プログラミング入門 CSK 総合研究所編 日刊工業新聞社 '88.9.30 174p 21cm(A5) ¥2,000

【要旨】 まったくの初心者か機械翻訳の基礎を理解し、応用できるように、この本を執筆した。ここで書かれている内容は、機械翻訳の歴史・現状および編者が開発した CRI-Prolog を使った機械翻訳システム (日本語→英語) の作り方である。

【内容】 第1章 機械翻訳の実用化 (機械翻訳の概説; わが国の最近の機械翻訳の動向; 機械翻訳システムの構築); 第2章 機械翻訳システムの作り方; 第3章 まとめと展望

● #124 ISBN4-7828-0044-4 【B8823485】

【標題】 メンタルモデル—言語・推論・意識の認知科学 P. N. ジョンソン・レアード著; AIUEO 訳 産業図書 '88.9.30 602p 21cm(A5) ¥5,600 原書名: Mental Models (P. N. Johnson Laird)

【要旨】 著者は、本書で認知科学の研究のやり方の一つを示している。実験心理学、論理学、言語学、人工知能、そして哲学からのアイデアと方法をいかに統合するかを教えてください。とりわけ、計算理論は、心の複雑さを理解するのに必要な決定的な方法とメタファーのいくつかを提供する。本書は、広く科学に興味を抱く読者を念頭に書かれたものである。

【内容】 第1章 説明とは何か; 第2章 心理理論の原理; 第3章 命題による推論; 第4章 三段論法の諸理論; 第5章 三段論法的に推論する方法; 第6章 推論とメンタルモデル; 第7章 イメージ、命題、モデル; 第8章 モデル論的意味論における意味; 第9章 意味とは何か; 第10章 単語は心の中でどのように表象されるか; 第11章 操作的意味論と意味の心理学; 第12章 文法と心理学; 第13章 構文解析と言語運用; 第14章 談話の整合性; 第15章 メンタルモデルの性質; 第16章 意識と計算

● #125 ISBN4-7649-0146-3 【B8822328】

【標題】 ダイナミック・メモリー—認知科学的アプローチ ロジャー・C. シャンク著; 黒川利明; 黒川容子共訳 近代科学社 '88.9.20 255p 21cm(A5) ¥3,400 原書名: DYNAMIC MEMORY: A Theory of Reminding and Learning in Computer and People (Roger C. Schank)

【要旨】 人間の知的活動の中心に、学習・記憶・問題解決という重要なテーマがある。人間は言葉、文字、動作などによって得られた情報を脳に蓄積し、その記憶に基づいて、与えられた問題を推論し、決定することができる。コンピュータに人間と同じような機能を持たせるには、これらのメカニズムを解明する必要がある。本書は、『人間はなぜ思い出すのか』つまり人間の記憶のメカニズムの認知科学的アプローチを試みた、斯界の第一線の研究者によるユニークな成書である。

【内容】 第1章 ダイナミック・メモリー入門; 第2章 想起と記憶; 第3章 失敗主導の記憶; 第4章 文脈にまたがる想起; 第5章 記憶中の構造の種類; 第6章 MOJPs; 第7章 TOPs; 第8章 一般化と記憶; 第9章 一般化場面と普遍的 MOP; 第10章 索引化と調査; 第11章 詳細な例の説明; 第12章 計算機による実験; 第13章 展望

● #126 ISBN4-7692-0195-8 【B8822431】

【標題】 LISP による自然言語処理 草薙裕著 工学図書 '88.9.20 226p 21cm(A5) ¥3,500

【要旨】 本書は AI のコンピュータ言語ともいえるべき LISP を用いた自然言語処理を出来るだけやさしく解説することを目的としている。したがって、LISP の関数は出来るだけ基本的なものを少数用いるようにした。

【内容】 第1章 LISP; 第2章 枝分れ図; 第3章 解析と生成; 第4章 形態素解析; 第5章 日本語動詞の解析; 第6章 構文解析; 第7章 日本語の構文解析; 第8章 形態素生成

● #127 ISBN4-320-02414-1 【B8827028】

【標題】 GNU Emacs マニュアル Richard Stallman 著; 竹内郁夫; 天海良治監訳 共立出版 '88.9.20 254p 26cm(B5) ¥2,700 第2刷 (第1刷: 88.2.15)

【要旨】 GNU Emacs は先進的でドキュメント機能を備え、カスタム化機能と拡張性に富んだ実時間画面エディタです。このマニュアルには Emacs の使用方法および簡単なカスタム化の方法が記載されています。対象読者はプログラマである必要はありません。本ドキュメントは本来リファレンスマニュアルですが、入門書としても利用できます。Emacs の紹介としては、印刷されたマニュアルよりも効果的でしょう。

【内容】 画面構成; 文字、キー、コマンド; Emacs の起動と終了; 編集の基本的なコマンド; 変更の取消し (Undo); ミニバッファ; コマンド名によるコマンドの実行法; ヘルプ機能; マークとリージョン; テキストの削除と移動; レジスタ; 画面の制御; 探索と置換; テキストの修正用コマンド; ファイルの扱い; マルチプルバッファの使い方; マルチプルウィンドウ; 主モード; 字下げ; 自然言語用コマンド [ほか]

● #128 ISBN4-320-02415-X 【B8821453】

【標題】 情報科学—パソコンと人工知能 相原恒博編 共立出版 '88.9.10 200p 21cm(A5) ¥2,000

【要旨】 本書は、コンピュータの先端利用法を紹介し、情報化社会を主体的に生きるための教養となることを願って編集されている。

【内容】 1章 人工知能—機械はどのようにして考えるか—; 2章 エキスパート・システム; 3章 コンピュータによる自然言語処理—自動翻訳システムの開発状況; 4章 コンピュータと数式処理; 5章 CAI の現状と課題 1; 6章 CAI の現状と課題 2; 7章 コンピュータ・グラフィックス; 8章 パソコン・グラフィックスによるフラクタル図形; 9章 CAD/CAM システム; 10章 コンピュータによる画像処理; 11章 コンピュータと故障—故障に強いコンピュータを目指して; 12章 植物工場システム; 13章 医学・医療におけるコンピュータ

● #129 ISBN4-622-00872-6 【B8821514】

付録 A 添付資料 (処理データ)

【標題】 記号学の冒険 ロラン・バルト著; 花輪光訳 みすず書房 '88.9.8 271p 19cm(B6) ¥2,200 原書名: L'AVENTURE SEMILOGIQUE (Roland Barthes)

【要旨】 『物語の構造分析序説』(1966)以来、バルトはフランスのナラトロジー (物語記号論) のリーダーとしてこの先端領域を切り拓いてきた。本書は、この分野における主要な論考、『物語の構造分析—『使徒行伝』10・11章について』(1969)『行為の連鎖』(1971)『エドガー・ポーの一短編の分析』(1973)を収める。この三編の邦訳によって、バルトの《物語学》関係のエッセーはほとんど訳されたことになる。彼の新鮮な分析視角はわが国の《物語研究》にも有益な示唆を与えるであろう。

【内容】 1 記号学の冒険; 2 修辭の文彩 (あや) の構造的分類; 3 行為の連鎖; 4 ソシュール、記号、デモクラシー; 5 意味の調理場; 6 社会学と社会論理—クロード・レヴィ・ストロースの近著 2冊について; 7 広告のメッセージ; 8 対象 (もの) の意味論; 9 記号学と都市計画; 10 記号学と医学; 11 物語の構造分析—『使徒行伝』10・11章について; 12 エドガー・ポーの1短編のテキスト分析

● #130 ISBN4-7665-0246-9 【B8820481】

【標題】 人工知能 BASIC M. ジェームズ著; 原正一郎訳 啓学出版 '88.8.31 193p 21cm(A5) ¥2,200 (BASIC 理工学応用シリーズ 6) 原書名: BASIC ARTIFICIAL INTELLIGENCE (M. James)

【要旨】 本書のプログラムを利用すれば、コンピュータ科学のほとんどの分野に関連した手技の実例、学生の研究課題と討論材料を備えた人工知能の初年度あるいは入門教程を構成できる。

【内容】 第1章 BASICの概要; 第2章 論理と推論; 第3章 戦略; 第4章 自然言語; 第5章 記憶と理解; 第6章 学習

● #131 ISBN4-19-553743-6 【B8821184】

【標題】 ニセ学生マニュアル—いま、面白い『知』の最先端講義 300 浅羽通明著 徳間書店 '88.8.31 315p 19cm(B6) ¥1,000

【要旨】 この本は、ニセ学生のニセ学生によるニセ学生のための実用書である。ニセ学生、つまり学籍が無いのにあつかましくも大学に赴き、入室チェックがないのを幸いに講義を盗聴しにゆく物好きたちのことだ。この本は、ニセ学生もしくはニセ学生になってみたい人のためにデータを提供し、またそのほかの人たちをニセ学生というささやかな冒険、快楽もしくは悪徳に誘うために仕掛けられた。

【内容】 第1部 啓明篇—みえない大学をもとめて (ニセ学生事始め、もしくは独学者の誕生; 教場のトリックスター、もしくはニセ学生という事態; 大学は何の役に立ってきたか? もしくは “悦ばしき知恵” を遠く離れて; 教養風化の時代に、もしくは一般教養の惨憺たる現実; みえない大学建設計画、もしくは大学の将来); 第2部 実践篇—知のユーザーズ・マニュアル (近代批判の素敵な面々—現代思想 1; 闘争する自尊心の果てに—現代思想 2・西洋哲学; 悪ガキたちのメディア・ジャングル—現代思想 3・メディア論; 揺らぐリアリズム; 科学篇—科学史・科学哲学・技術論; 電脳エリートの挑戦状—認知科学・論理学; 揺らぐ幻想篇—幻想文学・神秘学; 『物語』をめぐる冒険—文芸評論・外国文学; 何でも読んでやろう—テキスト論・都市論; 世紀末異人伝説—異人論・ノマド論; 誰か故郷を想わざる—土着回帰論・コミュニケーション論; 超越するバカ、拝むバカー—宗教哲学・宗教社会学; もう幾つ寝ると大恐慌—経済学・経営論; 政治シスター—議員御礼—政治学・国際関係論; 海のあなたの空遠く—西洋学・文化人類学; 失われた等身大をもとめて—民俗学・考現学; 入寮学生修羅場—家政学・医学・軍事学)

● #132 ISBN4-7674-0503-3 【B8823889】

【標題】 小島義郎教授還暦記念論文集 松田徳一郎; 増田秀夫; 高野嘉明編 研究社 '88.8.21 293p 21cm(A5) ¥4,500 本文: 英文

【内容】 Lexicography; Syntax and Semantics; Language Teaching; Yoshiro Kojima—Bibliography (小島義郎教授書誌); Biography (略歴)

● #133 ISBN4-7856-9029-1 【B8818929】

【標題】 人工知能 江尻正貞; 中野善之; 中野武司共著 昭晃堂 '88.8.10 192p 21cm(A5) ¥2,900

【内容】 1 人工知能の基礎; 2 問題解決; 3 情景解析; 4 ロボティクス; 5 人工知能言語; 6 知識工学; 7 自然言語理解と機械翻訳; 8 知的インターフェース; 9 人間と機械

● #134 ISBN4-00-010348-2 【B8819361】

【標題】 岩波講座 ソフトウェア科学 8 記号処理プログラミング 後藤滋樹著 岩波書店 '88.8.10 218p 21cm(A5) ¥2,700

【要旨】 人工知能や知識処理のソフトウェアを作成するうえで必要となる記号処理のプログラム技法を系統的に紹介する。例題はプロダクションシステム、自然言語の構文解析、定理の自動証明など実際の人工知能システムからとり、プログラム作成の手順を追って詳しく解説した。また、LISP や PROLOG は、おのずとマスターできるように工夫した。

【内容】 1 LISP の考え方 (リストと S 式; LISP の関数; 関数の関数; EVAL とインタプリタ); 2 LISP の使い方 (親言語としての LISP; プロダクション・システム; 定理の自動証明; 英語の構文解析; 多項式の微分); 3 PROLOG (述語の考え方; ユニフィケーション; PROLOG におけるリスト構造; 論理プログラミング; LISP と PROLOG との比較); 4 記号処理の計算機構 (リストの内部表現; LISP マシンの発想; ラムダ表現と LISP、PROLOG)

● #135 【B8819669】

【標題】 現象主義と世界—認識・存在・価値 永井成男著 世界書院 '88.8.10 378p 19cm(B6) ¥2,900 (ぶろばあ叢書)

【内容】 第1章 哲学論 (『哲学』という言葉の歴史的理解; カルナップの哲学論; カルナップの哲学論を超えて); 第2章 論理の問題 (純粹記号論の三分科; 『真理』の意味論的概念; 『分析的』という概念); 第3章 現象主義の立場 (哲学の三分法—認識論・存在論・価値論—について; 寛容の原理の哲学的基礎としての現象主義)

● #136 ISBN4-88063-425-5 【B8815940】

【標題】 AI (人工知能) なんでも早わかり 白鳥敬著 JICC 出版局 '88.7.25 170p 21cm(A5) ¥1,200 (オープニングブックス S)

【要旨】 人工知能ということばが、研究所の中から巷にでてきはじめています。本では、難しい理論の話はまったくしていません。そのかわりに、まったく新しい概念である人工知能を身近なところからわかりやすく解説しています。

【内容】第1章 人工知能の誕生; 第2章 すでにある人工知能; 第3章 機械翻訳の現在; 第4章 エキスパートシステム; 第5章 理解するということ; 第6章 人工知能への幾つかの道; 第7章 知能機械は実現可能か; 第8章 人工知能が未来を変える; 第9章 衝撃的で魅力的な明日

● #137 ISBN4-7530-2901-8 【B8817595】

【標題】 ロボットプログラミング 荒牧重登著 井上書院 '88.7.25 139p 21cm(A5) ¥2,600

【内容】第1章 ロボットの構造と制御方式の概要(ロボットの自由度構成; プレイバック方式; プログラム制御方式); 第2章 プレイバック方式とプログラム制御方式の組合せ(概念図; 座標変換; 力制御モードによる再生); 第3章 ロボット言語(ロボット言語の特徴; ロボット言語の種類; ロボット言語の設計思想; 関数型言語; 関数型ロボット言語); 第4章 ロボット言語IMLの機能(IMLの設計方針; 言語の基本的形式; 基本コマンド; コマンド定義機能; 繰り返し処理の記述; 感覚機能の記述; 教示データの作成と管理; IML言語システムの概要); 第5章 IMLによる作業実験(実験システムのハードウェア; 実験システムのソフトウェア; IMLによる作業記述例と作業実験結果); 第6章 組立て部品の操作知識を利用したロボットプログラミング(オブジェクト指向型プログラミングの導入; 自然言語による組立て作業命令の試み; CADデータを用いたロボット作業プログラムの生成)

● #138 ISBN4-00-002006-4 【B8818414】

【標題】 フレーグ哲学論集 ゴットロープ・フレーグ著; 藤村龍雄訳 岩波書店 '88.7.22 218,10p 21cm(A5) ¥3,400

【内容】第1部 意味論研究(関数と概念; 意義と意味について; 概念と対象について; 関数とは何か); 第2部 論理学研究(思想; 否定; 複合思想)

● #139 ISBN4-7649-0143-9 【B8817306】

【標題】 コンピュータサイエンス大学講座 19 自然言語処理入門 東条敏著 近代科学社 '88.7.20 212p 21cm(A5) ¥2,700

【内容】第1部 計算機による自然言語処理(自然言語の処理過程; 文脈自由文法と構文解析); 第2部 統語論と意味論(変形生成文法; 格分法; 概念依存論; モンタギュー文法; LFG; GPSG); 第3部 計算機処理再論(自然言語処理システム)

● #140 ISBN4-8207-0506-7 【B8817149】

【標題】 図解 新・IE入門—モノ・コト・ヒトの活性化技術 城功著; 大西三朗イラスト 日本能率協会 '88.7.15 248p 19cm(B6) ¥1,300

【内容】第1部 新IE誕生のいきさつ(社長の言葉は、なぜわからぬか; 新・IEの全貌; 新・IEの定義); 第2部 これからの経営の進め方(感性よりも身近なもの; 身体で科学する; 6・6システムのすすめ; 『業草』成功の急所; IE熟達の急所; イメージ法則化の過程; 売上発生グラフの作り方); 第3部 解析から創造へ(新・IEマンの条件; 成功者の精神構造; 新人類の精神構造; 省エネ技術を生んだもの; 計画づくりの新兵器; 商品とは融合されたものだ; 既存店活性化の発想); 第4部 モーション・マインドのすすめ(国際人に“肩こり”はない; 認知科学から見たワザ; 気がつかなかった先入観; 私のコミュニケーション記号)

● #141 ISBN4-385-30615-X 【B8816721】

【標題】 語彙論の方法 柴田武著 三省堂 '88.7.10 389p 21cm(A5) ¥5,800

【内容】言語における意味の体系と構造; ことばにおける構造とは何か; 私の意味論—意味論をどうとらえるか; 現代語の語彙体系; 言語から見た『食』; 語彙研究と方言語彙; 語彙研究の方法と琉球宮古語彙; 沖縄宮古語の語彙体系; 沖縄宮古島方言の風と雨; 沖縄宮古島方言の生活時間語彙; 沖縄宮古島方言の人名語彙; 与那国方言における兄弟姉妹の呼称; 語彙体系としての親族名称—トルコ語・朝鮮語・日本語; 世界の中の日本語; 柴田武先生の語彙論研究に関する文献目録

● #142 ISBN4-7724-0287-X 【B8817011】

【標題】 フロイト草稿の再評価—現代認知理論と神経心理学への序文 K. H. プリブラム; M. M. ギル著; 安野英紀訳 金剛出版 '88.7.8 219p 21cm(A5) ¥4,800 原書名: FREUD'S 'PROJECT' RE-ASSESSED (Karl H. Pribram; Merton M. Gill)

【要旨】 神経心理学総論の体系化を試みたフロイトは、1895年「科学的心理学草稿」をフリースに送った。本書はその「草稿」を、脳の機能の研究で名高いプリブラム(スタンフォード大学教授)が、ギル(イリノイ大学教授)とともに整理し、現代の制御理論、システム理論、情報理論など、最新の知見により検証し、あらためてフロイト理論の再評価を行ったものである。

【内容】プロローグ; 序論; 第1章 調節原理と制御理論; 第2章 記憶—動機構造と自我過程; 第3章 意識の理論; 第4章 思考の理論; 第5章 夢と精神病理学—連想過程と解離過程; エピローグ—「草稿」とそれ以後のフロイトの研究; 日本の読者への特別寄稿(K. H. プリブラム)

● #143 ISBN4-8301-0501-1 【B8816614】

【標題】 現代構造言語学の原理と方法 Ю. Д. АПЛЕНШАН 著; 谷口勇訳 文化書房博文社 '88.6.30 388p 21cm(A5) ¥5,600 原書名: ИДЕИ И МЕТОДЫ СОВРЕМЕННОЙ СТРУКТУРНОЙ ЛИНГВИСТИКИ (Ю. Д. АПЛЕНШАН)

【内容】1部 構造言語学の歴史から(構造言語学はなぜ生まれたのか; 構造言語学の直接の先駆者たち; 構造言語学の古典的学派); 2部 言語モデル(言語モデルの概念; 言語モデルの諸型; 数学的基本概念); 3部 研究モデル(読解のモデル; 実験モデル); 4部 発話行為のモデル(生成モデル; 分析の統語論的モデル; 分析および総合の意味論的モデル); 5部 メタ理論の概念

● #144 【B8813687】

【標題】 意味と生命—暗黙知理論から生命の量子論へ 栗本真一郎著 青土社 '88.6.25 334p 19cm(B6) ¥1,800

【要旨】 知と生命と想像力と時空の淵源を研究し、ニーチェ没後の西欧形而上学の凋残と呪詛とを叩き切る鈍刀のような著述。25年の超領域的思慮の結果、やがて曠朗な方向が示される。

【内容】序章(西欧形而上学の伝統からの訣別—「外部」の内面化問題と還元主義; ヴィトゲンシュタインとマイケル・ポランニー; 暗黙知理論の展望; 精神、身体メカニズム、身体); 第1章 認知科学との交感(パラノイアのフーガ; 三組要素的感知

付録 A 添付資料 (処理データ)

の交錯); 第2章 身体と知 (認知と層 (レベル)); 精神と身体; 身体と知); 第3章 生命 (境界の危険性によって結び付けられた2つの原理; 揺らぎ動くラプラスの宇宙; 生命—偶然か必然か); 第4章 生命の『量子論』

● #145 ISBN4-13-013068-4 【B8816226】

【標題】 決定を支援する 小橋康章著 東京大学出版会 '88.6.25 222p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 18)

【要旨】 決定はだれでもしている。しかしよい決定はむずかしい。人間の意思決定を支援するコンピュータシステムの新しい方向を示す。

【内容】 1章 『知』の働きとしての道具の使用; 2章 意思決定の研究; 3章 支援の正当化; 4章 意思決定を支援する; 5章 意思決定支援の副次効果; 補稿 決定における規範的理論と直観的推論 (市川伸一)

● #146 ISBN4-89384-027-4 【B8816520】

【標題】 文化・文明の新しい地平 木村浩; 美尾浩子編著 北樹出版; 学文社【発売】 '88.6.25 227p 21cm(A5) ¥2,200 (国際関係学双書 3)

【内容】 駅 その姿と機能の変遷 (岡並木); アメリカ演劇の革新性とジャン・クロード・ヴァン・イタリー (有泉学宙); ロシア人の美意識について—その試みのための対話 (木村浩); 『南総里見八犬伝』覚書 (佐藤深雪); 時間意識の日英語比較 (美尾浩子); 意味論研究の方法と課題 (武田修一); 19世紀アメリカ中産階級労働倫理の内容と『国内市場』の心理的形成をめぐる試論的覚書 (室谷哲)

● #147 ISBN4-13-001018-2 【B8814887】

【標題】 意味と情報 竹内啓編 東京大学出版会 '88.6.23 304p 19cm(B6) ¥2,400 (シリーズ・人間と文化 2)

【要旨】 情報なるものが単に大量に氾濫しているだけでは、人々間のコミュニケーションも、社会的な統合も促進されるとは限らない。情報は適切な意味を担って適切な場で伝えられるのであれば役に立たない。つまり情報にとっては、単に形式的な量だけでなく、その『意味』と『文脈』が重要である。そこでそういう観点から、情報というものを見ようというのが、この一連の共通テーマであり、全体をまとめて『意味と情報』と名づけた次第である。

【内容】 『情報』の形式的な理論 (竹内啓); 機械と人間の情報処理—認知工学序説 (佐伯胖); 機械上の意味論 (淵一博); 資本主義と情報 (岩井克人); 政治的コミュニケーションと現代日本の政治空間 (猪口孝); マスコミュニケーションの効果モデル—その変遷と社会的背景 (飽戸弘); 商品としての情報 (小宮山恵三郎); 噂の社会学 (広井脩); 輸入情報処理 (柳父章); 言語を介さない情報伝達 (香原志勢); 虚による伝達 (伊藤笏康); 相互理解不能状況 (折原浩); 理解とは何か (藤本隆志)

● #148 ISBN4-486-01008-6 【B8812907】

【標題】 文化のインターフェイス—境界・界面・越境 日本記号学会編 東海大学出版会 '88.5.25 215p 21cm(A5) ¥2,500 『記号学研究』7

【内容】 インターフェイスの記号論 (坂本百大); 計算機技術におけるインタフェース (木村泉); 脱インタフェース論 (川野洋); インターフェイス・表面の一元論 (室井尚); 『東洋』の場所—知と権力との界面 (吉岡洋); 諷諭と形式—自然言語と人工言語のインターフェイス (本山博司); 建築のシーケンス (菊竹清訓); 人間と建築—住生活の意図せざるコミュニケーション (外山知徳); “ハッピー・エンディング”を読む—『ニューヨーク・ニューヨーク』における映画映画面のテキスト分析 (武田潔); インターフェイスの文化論 (磯谷孝); 演劇の生得的基礎—ドラマおよび関連文化的事象の記号発生について (ワルター・コッホ); 書評; 記号学のパースペクティブ (The Center for the Study of Language and Information (CSLI) について; 記号学界の最近の動向—日本と世界; ニュース—訪中報告その後)

● #149 ISBN4-314-00501-7 【B8811157】

【標題】 構造意味論—方法の探求 A. J. グレマス著; 田島宏; 鳥居正文訳 伊国屋書店 '88.5.20 363p 21cm(A5) ¥6,500 原書名: SEMANTIQUE STRUCTURALE: Recherche de Methode (Algirdas Julien Greimas)

【要旨】 現在欧米諸国で、単に言語学関係者ばかりでなく、一般知識人にとって古典的著作となっているグレマスの代表作で、長らく刊行が待たれていた待望の日本語版。

【内容】 科学的意味論の諸条件; 表意作用の基本構造; ランガージュと言説; 表出された表意作用; 記号論レベル; 言説の同位態; 意味世界の組織; 表意作用の記述; 記述手続き; 行為項モデルに関する考察; 変形モデルを求めて; 記述の見本

● #150 ISBN4-7828-0042-8 【B8810371】

【標題】 現代の文法理論—GB理論、GPSG、LFG入門 ピーター・セルズ著; 郡司隆男; 田窪行則; 石川彰訳 匠屋図書 '88.4.28 261p 21cm(A5) ¥2,800 原書名: Lectures on Contemporary Syntactic Theories (Peter Sells)

【内容】 第1章 構文論の基本的概念 (文法能力; 構成素性; 句構造規則; 辞書; 変形); 第2章 統率・束縛理論 (X'理論; 投射原理; θ 理論; 構成素統御と収率; α 移動; 格理論; 移動の展開と補文構造についてのまとめ; 空範疇原理 (ECP); 束縛とNPのタイプ); 第3章 一般化句構造文法 (素性と文法範疇; ID/LP形式; 規則; 意味論の概略; 規則から木への投射; 非有界依存と等位接続); 第4章 語彙機能文法 (構成素構造; 機能構造; 辞書; 制御と束縛; 長距離依存関係と等位接続)

● #151 ISBN4-7714-8802-9 【B8810025】

【標題】 鬼頭英一著作集 第1巻 哲学思索の論理 鬼頭英一著 公論社 '88.4.24 34p 21cm(A5) ¥2,600

【内容】 1 哲学の論理—自ら思索する人のための哲学入門 (哲学すること; 絶望の試み; 哲学の問いかた; 分析; 批判; 解釈; 構想; 形式論理); 2 意味論 (意味の構造; 矛盾の種類に就いて); 3 様相論 (様相論序説 (1958年); 存在と可能性—様相論その2; 価値と可能性—様相論その3)

● #152 ISBN4-274-07412-9 【B8809673】

【標題】 統計データベースの設計と開発—データモデルと知識ベースの応用 佐藤英人著 オーム社 '88.4.20 246p 21cm(A5) ¥3,600

【要旨】 統計データベースは、近年各方面で急速に関心が高まっています。本書は、統計データベースの理論と応用について詳解するもので、国土庁において実際に適用されたものを中心にまとめられたものです。

【内容】第1部 スキーマ概念と意味データモデル—統計データベースの基礎(統計データベース研究の動向; スキーマ概念と統計データベース; 意味データモデルと統計データモデル; 一般の統計ファイルと記述対象ファイル); 第2部 意味データモデルの応用—統計データ辞書システムの開発(データベースシステムの発開手順; データベースの論理設計と統計データベース; DD/Dと統計データベース; 知識ベースと統計データベース; 自然言語問い合わせと統計データベース)

● #153 ISBN4-87148-121-2 【B8806586】

【標題】 AI—情報処理から知能処理へ 塚本克治編著 アスキー '88.4.8 286p 26cm(B5) ¥3,000

【要旨】 ソフトウェアの開発・維持量の増大、データ量の増大、問題の複雑さの増大、応答の緊急性の増大、システムの完全性や安全性への要求の増大など、情報化社会の抱える問題は山積みしている。いまやこれらの問題を解決するには伝統的情報処理技術では困難になってきている。AIは爆発的増大を抑制するソフトウェア技術である。AIは第5世代コンピュータ、人工知能の概念を包含しつつ、知能処理技術へと展開しはじめた。本書は人工知能=第5世代コンピュータの最先端研究者がその専門分野別に執筆した、いま最高の解説書である。

【内容】 1 知能処理技術の歴史と現状; 2 AI用言語; 3 知識ベース構築用ツールとエキスパートシステム; 4 知能処理向き計算機; 5 自然言語の理解; 6 文字・画像の処理技術; 7 音声情報処理; 8 ロボット

● #154 ISBN4-87148-121-2 【B8807774】

【標題】 AI—情報処理から知能処理へ 塚本克治編著 アスキー '88.4.8 286p 26cm(B5) ¥3,000

【要旨】 ソフトウェアの開発・維持量の増大、データ量の増大、問題の複雑さの増大、応答の緊急性の増大、システムの完全性や安全性への要求の増大など、情報化社会の抱える問題は山積みしている。いまやこれらの問題を解決するには伝統的情報処理技術では困難になってきている。AIは爆発的増大を抑制するソフトウェア技術である。AIは第5世代コンピュータ、人工知能の概念を包含しつつ、知能処理技術へと展開しはじめた。本書は人工知能=第5世代コンピュータの最先端研究者がその専門分野別に執筆した、いま最高の解説書である。

【内容】 1 知能処理技術の歴史と現状; 2 AI用言語; 3 知識ベース構築用ツールとエキスパートシステム; 4 知能処理向き計算機; 5 自然言語の理解; 6 文字・画像の処理技術; 7 音声情報処理; 8 ロボット

● #155 ISBN4-87168-085-1 【B8808355】

【標題】 ヒューマン・エラー—過誤は巨大化する 正田亘著 エイデル研究所 '88.4.2 207p 19cm(B6) ¥1,500

【要旨】 技術・システムの進展は事故を多発・巨大化する。『人災』をどう防ぐべきか。

【内容】 序章 人間—この未知なるもの; 第1章 ヒューマン・エラーの様相(様々な環境場面におけるヒューマン・エラー; ヒューマン・エラーの分類; 認知科学とヒューマン・エラー; ヒューマン・エラーへのアプローチ); 第2章 ヒューマン・エラーのメカニズム(エラーの生理的メカニズム; 人間の感覚特性; 不注意の心理; 環境認知のメカニズム); 第3章 ヒューマン・エラーの深層心理(意識と無意識; 自我防衛機制; 衝動の爆発); 第4章 技能とヒューマン・エラー(技能レベルと行動の安定性; 技能の向上; 記憶と忘却; 操作とフィードバック; 加齢とヒューマン・エラー); 第5章 対人環境とヒューマン・エラー(対人関係によるストレス; 事故多発者; リーダーシップ; 小集団活動; コミュニケーション活動の促進); 第6章 OA環境とヒューマン・エラー(テクノストレス; 事務作業とミス); 第7章 人間工学とヒューマン・エラー(人間と機械の信頼性; 感覚特性と設備)

● #156 ISBN4-7665-0110-1 【B8806459】

【標題】 Prologで学ぶ AI手法—推論システムと自然言語処理 高野真著 啓学出版 '88.3.31 182p 26cm(B5) ¥2,000

【要旨】 人工知能(AI)のブームは去り、反省期に来ていると、AI先進国であるアメリカではいわれている。日本でも同様であり、AIに対する過剰期待が、冷静な選択する目になってきている。本書では、そういった『冷静な選択する目』を養うために、AI手法の有効性と限界について、実際のインプリメントを通して考察する。

【内容】 第1部 推論システム(プロダクションシステム; 非単調推論システム; プランニングシステム; フレームシステム); 第2部 自然言語処理システム(自然言語処理システム; 日本語文生成システム)

● #157 ISBN4-88552-070-3 【B8807582】

【標題】 自然言語処理の基礎技術 野村浩郷著; 電子情報通信学会編著 電子情報通信学会; コロナ社【発売】 '88.3.30 290p 21cm(A5) ¥3,600

【要旨】 本書は、自然言語処理をこれから学ぼうとする人のための入門書である。従って、構文解析の解析アルゴリズムについては比較的くわしく述べるが、計算言語学理論の詳細に立ち入ることはしない。計算言語学理論については、基本的アイデアを示すための最小限の範囲で、要点のみを説明する。

【内容】 第1章 文法と解析の概要(語と辞書; 形態素解析; 文法規則; 構文木); 第2章 構文解析の基本技法(CKY法; Earley法; CHART法); 第3章 構文解析の応用技法(LR法; PARSIFAL); 第4章 構文解析の複合技法(LINGOL; ATN); 第5章 論理解析(DCG; GPSG); 第6章 ユニフィケーション解析(LFG; PART-2; CUG); 第7章 語彙解析(格解析; LXC)

● #158 ISBN4-326-15206-0 【B8806052】

【標題】 文化の言語学 鹿須教光著 勁草書房 '88.3.25 210p 19cm(B6) ¥1,800

【要旨】 ことばの本質(構造と機能)を明らかにし、『言語』と『文化』の相関関係を探る。意味論と言語人類学からのアプローチ。

【内容】 序 人類学における言語学; 第1章 ことばの構造と機能(ことばの構造と普遍性; ことばの構造と創造性); 第2章 文化の構造と機能(文化とは何か; 民話の構造; その他の文化的生産物の構造); 第3章 言語と文化(サビア・ウォーフの仮説再考; 日本の民話と日本語の構造; SAEとしての英語の特徴とヨーロッパの民話の特徴); 第4章 結論—言葉の民族誌の必要

● #159 ISBN4-13-013067-6 【B8806576】

【標題】 比喩と理解 山梨正明著 東京大学出版会 '88.3.25 204p 19cm(B6) ¥1,800(認知科学選書 17)

【要旨】 生きた実例を豊富に駆使して、比喩を通じた認知のメカニズムを詳細に分析。本格的比喩研究の書。

【内容】 1章 序章; 2章 類似性の認識—隠喩と直喩; 3章 慣用化と比喩—意味の原型と転義; 4章 記号化と現実—換喩と提喩; 5章 比喩と認知のプロセス; 6章 終章; 補稿 『比喩ル』の心—比喩の発達の観点から (岩田純一)

● #160 ISBN4-87148-301-0 【B8805565】

【標題】 コンピュータ言語進化論—思考増幅装置を求める知的冒険の旅 ハワード・レヴァイン; ハワード・ラインゴールド著; 椋田直子訳 アスキー '88.3.21 372,10p 19cm(B6) ¥1,900 (アスキー・海外ブックス) 原書名: The Cognitive Connection (Howard Levine; Howard Rheingold)

【要旨】 有史以前の人類の思考形態から最先端のコンピュータまで、人類はさまざまな知的冒険を遂げてきた。そうした冒険の底には、自然言語とそれを補佐する形式言語 (論理学、数学) を駆使すれば新しい知識を創造することができるはずだ、という考え方があった。この、人類にとってきわめて重要な意味をもつ“発想”をテーマにすえた本書は、コンピュータの専門家から知的好奇心にあふれる読者まで、すべての人を魅了せずにおかない。

【内容】 第1章 自然言語と思考; 第2章 形式的言語と形式的思考; 第3章 コンピュータ言語と抽象化の階層; 第4章 コンピュータ思考言語からプログラムまで; 第5章 プログラミング言語のいろいろ; 第6章 プログラミング言語の未来

● #161 ISBN4-274-07398-X 【B8806500】

【標題】 知識工学講座 8 自然言語理解 田中穂積; 辻井潤一共編 オーム社 '88.3.20 222p 21cm(A5) ¥2,700

【要旨】 本書は、自然言語理解の研究の入門書であるとともに、今後、より高度な自然言語理解システムの構築を目指す技術者、研究者に対する専門書として最新の知識が得られるように記述した。

【内容】 1章 言語理解の諸問題; 2章 自然言語の文法理論; 3章 統語解析の手法; 4章 意味の表現と処理; 5章 談話の世界; 6章 今後の展望

● #162 ISBN4-8457-0331-9 【B8807512】

【標題】 意味のメカニズム 荒川修作; マドリン・ギンズ著; 市川浩訳 リプロポート '88.3.20 2冊 (別冊共) 31 × 29cm ¥8,000 原書名: THE MECHANISM OF MEANING (Arakawa Shusaku; Madeline Gins)

【内容】 〈ブランクへ/ブランクから〉 (市川浩); ARAKAWA への/からの助走 (三浦雅士); 1 主観性の中性化; 2 位置づけと移動; 3 あいまいな地帯の提示; 4 意味のエネルギー (生化学的、物理的、精神物理的諸相); 5 意味の諸段階; 6 拡大と縮小—尺度の意味; 7 意味の分裂; 8 組み立て直し; 9 逆転可能性; 10 意味のテクスチャー; 11 意味の凶形化; 12 意味の感情; 13 意味の論理; 14 意味の記憶の構築; 15 知性の意味; 16 検討と自己批判; 荒川修作年譜

● #163 ISBN4-00-007731-7 【B8805051】

【標題】 人工知能はどこまで進むか 野崎昭弘著 岩波書店 '88.3.7 150p 20cm ¥1,000 (NEW SCIENCE AGE 31)

【要旨】 チェスではすでに人間を追い越しつつあるコンピュータは、どこまで人間を超えていくのか、あるいは超えられないのか、自動翻訳、電話番号案内、作曲、文学など楽しい例をあげながら、人間の脳とコンピュータの違いや、コンピュータにとって何がむずかしいことなのかを解説する。

【内容】 1 人間はどこまで機械か (脳と心; 脳細胞の働き; 神経細胞と判断; 学習のしくみ; 脳全体のしくみ); 2 コンピュータと人工知能 (コンピュータのしくみ; コンピュータの特徴; 人工知能とはなにか; コンピュータと推論; 翻訳のむずかしさ; 電話番号の自動案内; ロボットについて; コンピュータと文学); 3 コンピュータは人間を超えるか (比較にあたって注意すべきこと; コンピュータは人間を超えられない?; 証明のむずかしさ; 直観的判断について)

● #164 ISBN4-526-02309-4 【B8803137】

【標題】 パソコン AI 入門 Mickey Williamson 著; 高橋三雄訳 日刊工業新聞社 '88.2.28 206,3p 21cm(A5) ¥2,400 原書名: Artificial Intelligence for Microcomputers: The Guide for Business Decision Makers (Mickey Williamson)

【要旨】 AI とりわけエキスパートシステムはさまざまな分野における意思決定を支援するための応用システムである。とくにビジネスの領域における応用つまり、経営意思決定を支援するための有用なツールとして期待されている。本書はエキスパートシステムの専門家ではなく、企業のマネージャーがみずからの意思決定のために、あるいは企業の DSS 開発のためにエキスパートシステムを検討しようとするときの手引となることを目的に書かれている。

【内容】 第1章 人工知能—その歴史; 第2章 自然言語を用いた問い合わせシステム; 第3章 知識ベースシステムとエキスパートシステム; 第4章 AI 言語入門; 第5章 自然言語問い合わせシステム; 第6章 意思決定支援システム—ソフトウェア評価; 第7章 パソコン用エキスパートシステム—製品概要; 第8章 AI 用プログラミング言語; 第9章 今後の見通し; 付録 A 初心者のためのコンピュータ入門; 付録 B 用語解説

● #165 ISBN4-320-02318-8 【B8802766】

【標題】 知識獲得と認知科学—学習とは何か Ryszard S. Michalski ほか編; 電総研人工知能研究グループほか訳 共立出版 '88.2.25 173p 21cm(A5) ¥2,200 (知識獲得と学習シリーズ 4) 原書名: MACHINE LEARNING, Vol.2 (Ryszard Michalski)

【内容】 1. 学習とはなにか—問題点と将来動向 (学習機械は必要か; 今後の学習の方向性); 2. 学習研究の展望—80年代の挑戦; 3. ゴール階層構造のチャンキング—練習効果の一般化モデル (学習効果のチャンキング理論; ゴール階層構造のチャンキング; 以前の研究との関係); 4. 知識とコンパイル—学習の一般メカニズム (LISP プログラミングのシミュレーション; 一般化; 弁別); 5. 物理学の定性的学習—理論的枠組みへ向けて (定性的プロセス理論; 比較と構造写像; 構造写像と学習)

● #166 ISBN4-7828-0040-1 【B8803731】

【標題】 認知科学の計算理論 ゼノン・W. ピリシン著; 信原幸弘訳; 佐伯胖監訳 産業図書 '88.2.25 383p 19cm(B6) ¥3,500 原書名: Computation and Cognition: Toward a Foundation for Cognitive Science (Zenon W. Pylyshyn)

【内容】 第1章 認知の説明的論議; 第2章 説明における表示の役割; 第3章 計算と認知過程; 第4章 プログラムの心理学的実在性—強い等値性; 第5章 機能的結構の選定規準; 第6章 物理的水準から記号的水準への架橋—変換; 第7章 機能的結構とアナログ過程; 第8章 心像と機能的結構; 第9章 結び—認知科学は何の科学か

● #167 ISBN4-560-05688-9 【B8804039】

【標題】 応用言語学 シャルル・ブートン著、滑川明彦、会津洋、滝沢隆幸共訳 白水社 '88.2.25 143p 18cm ¥750 (文庫クセジュ 688) 原書名: LA LINGUISTIQUE APPLIQUEE (Charles Bouton)

【要旨】 言語学の成果はどのように応用されるのか。子供の言語発達のしくみから解き明かし、2言語併用、翻訳理論、自動翻訳の問題を探究、国語・外国語の教育方法にも言語学の応用を説く。

【内容】 第1部 言の領域における応用言語学(言語の発達; 言語の病理学的諸相); 第2部 相互伝達の領域における応用言語学一話の社会的側面(2言語併用; 翻訳); 第3部 教育における応用言語学一言語の教育的側面(母語教育; 学校における外国語の習得)

● #168 ISBN4-274-07400-5 【B8803007】

【標題】 ビジネスマンのためのAI入門 森文彦、増位庄一著 オーム社 '88.2.20 153p 21cm(A5) ¥2,200

【内容】 1章 人工知能(AI)入門(知識工学とエキスパート・システム; エキスパート・システム概説; 機械翻訳、音声認識、知能ロボット); 2章 エキスパート・システムの適用事例(エキスパート・システムの事例紹介; エキスパート・システムの適用可能性); 3章 人工知能言語とエキスパート・システム構築ツール; 4章 エキスパート・システムの開発技法(ナレッジ・エンジニアの役割; エキスパート・システムの開発手順; 知識ベースの構築手法)

● #169 【B8802993】

【標題】 チョムスキー理論と言語獲得一言語学における説明とは何か N. ホーンスタイン; D. ライトフット著; 今井邦彦監訳 新曜社 '88.2.10 346p 21cm(A5) ¥4,300 原書名: EXPLANATION IN LINGUISTICS: The logical of language acquisition (Norbert Hornstein; David Lightfoot)

【内容】 第1章 序論; 第2章 統語理論における諸原則と媒介変項; 第3章 音韻論における抽象性と説明; 第4章 自然言語における意味の研究—一時制に関する三つの考察; 第5章 変形理論の制限—事例研究; 第6章 神経言語学における説明; 第7章 統語変化の説明; 第8章 言語獲得のデータと言語理論

● #170 ISBN4-13-001017-4 【B88012S9】

【標題】 言語とコミュニケーション 竹内敏人編 東京大学出版会 '88.1.30 263p 19cm(B6) ¥2,200 (シリーズ・人間と文化 1)

【要旨】 本書は昭和61年夏学期に、東京大学経済学部で行われた『総合科目(一般教育)』の12人の講師による12回の講義の講義録を、各講師が手を入れて纏めた論文12編からなる。

【内容】 言語とコミュニケーション—ギリシア哲学からの証言(山本鏡); 視覚の発生と色彩語(鳥居修晃); 動物のコミュニケーション(青木清); 脳における言葉の座(岩田誠); 自動翻訳(野村浩郷); 言語・エトノス・国家(田中克彦); 言語が消える時(土田滋); 異文化間のコミュニケーション(船曳建夫); 世代間コミュニケーション(富永健一); 近代日本における輸入情報の『処理』—法律用語の場合(大久保泰甫); 意味論—言語学の意味研究(池上嘉彦); 詩の言語(古増剛造)

● #171 ISBN4-326-19879-6 【B8800818】

【標題】 記号理論の基礎 Ch. W. モリス著; 内田種臣; 小林昭世訳 勁草書房 '88.1.25 163,15p 19cm(B6) ¥1,500 (双書プロブレマタ 9)

【要旨】 1930年代、統一科学運動の熱気の中で構想された記号学の名著。方法・目的・基本理論など、簡潔に述べられている。

【内容】 記号理論の基礎(記号過程と記号学; 構文論; 意味論; 語用論; 記号学の統一; 諸問題と応用); 美学と記号理論(一般的アプローチ; 記号学; 価値の理論; 美的記号; 美的知覚; 美的な一般性; 美学的分析; 美学的構文論; 美学的意味論; 美学的語用論; 美学的記号学; 美的判断; 美学と科学の統一)

● #172 ISBN4-13-013066-8 【B8801615】

【標題】 なぜ人は書くのか 茂呂雄二著; 汐見稔幸補稿 東京大学出版会 '88.1.25 206p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 16)

【要旨】 言葉を文字にするということは、何と『大きな一歩』であることか。書くということ、書き始めるということの持つ意味を生成的記号論の立場から徹底解明。

【内容】 序章 問題の発掘; 1章 書くことの発生と前史; 2章 書きことばと知の発達; 3章 書かれたものの意味—シンボル・センス・対話; 4章 生成的記号活動としての作文; 5章 書くことを支えること、育てること; 終章 なぜ書くのか; 補稿 書くことと『やさしさ』(汐見稔幸)

● #173 ISBN4-8033-12S2-6 【B8800446】

【標題】 アトランティスの謎は解けた! ジャック・ゴザール; カダト・グループ著; 恩蔵昇; 滝川広子訳 大陸書房 ['88.1] 351,8p 19cm(B6) ¥1,800 原書名: LES ATLANTES, HIER ET AUJOURD'HUI (Jacques Gossart; L'equipe KADATH)

【内容】 第1部 プラトンからクストーまで(大いなる謎; 麗わしき物語の歴史; 現代におけるアトランティス; 天変地異と天変地異説); 第2部 プラトンの言葉(アトランティスと意味論; アトランティス人と神々; エジプト・ルート); 第3部 クロマニオン人の長い歩み(残存者たち; サハラがまだ緑だった頃; ベルベル人、神話と現実; バスク人、特自の世界; 偉大なる古代人、グアンチ人); 第4部 エジプト以前のエジプト(必要不可欠な通観; 侵略者たちの痕跡); 第5部 アトランティス人、人間か神か(伝説のアトランティス; われわれのアトランティス)

● #174 ISBN4-480-84183-0 【B8730745】

【標題】 カオスの読みかた—“無秩序”と“秩序” 西島建男著 筑摩書房 '87.12.20 248p 19cm(B6) ¥1,600

【要旨】 秩序の内部に無秩序の乱数系をつつみこむ(秩序=無秩序)の系が創造を生む。認知科学から数学・経済学、人類学から民俗現象まで、時代の“ゆらぎ”をよみとくパラダイム・マップ。

【内容】 序章 人間の生命; 1 エントロピー; 2 コスモス・ノモス・カオス; 3 数学のポストモダン; 4 不均衡動学と経済; 5 古典主義と表現主義; 6 アメーバ都市の不確定性音楽; 7 社会学と自己組織性; 8 無意識の発見; 9 中世史ブーム; 10 認知科学の時代; 11 多様化する言語学; 12 サル学と生物学; 13 子どもと教育学; 14 国家と政治; 終章 カオスの弁証法

● #175 【B8729335】

【標題】 社会的脳一心のネットワークの発見 M. S. ガザニガ著; 杉下守弘; 関啓子訳 育士社 '87.12.15 271,15p 19cm(B6) ¥2,200 原書名: THE SOCIAL BRAIN (Michael S. Gazzaniga)

【要旨】 脳は、情報をどのように処理して、意識を形成しているのか。脳は、多数のモジュールからなる社会的な複合であり、人間の意識や行動の謎を解く鍵は、脳が組織されるしくみそのものなかにある。豊富な実験データを駆使して、平易に描く認知科学の最前線。

【内容】 1 解釈する脳; 2 脳の基本的原則; 3 分離脳の研究—初期; 4 左脳・右脳—その正体を暴く; 5 脳のメカニズムと信念の形成; 6 モジュールの探索; 7 モジュールと記憶; 8 脳のモジュールと無意識; 9 モジュールの心理的側面; 10 人類の歩み—先史学からの覚え書; 11 宗教的信念の必然性; 12 放課後

● #176 ISBN4-7665-0127-6 【B8730203】

【標題】 AIワールドガイドブッカーパソコンを人工知能状態に リチャード・フォーサイス; クリス・ネイラー著; 大島邦夫訳 啓学出版 '87.12.15 339p 21cm(A5) ¥3,000 原書名: THE HITCH-HIKER'S GUIDE TO ARTIFICIAL INTELLIGENCE (Richard Forsyth; Chris Naylor)

【内容】 第1章 人工知能(AI)とは; 第2章 エキスパートシステム; 第3章 自然言語; 第4章 コンピュータビジョン; 第5章 機械学習; 第6章 知識表現; 第7章 問題解決の手法; 第8章 コンピュータのゲーム戦略; 第9章 コンピュータの創造性; 第10章 AI将来の方向

● #177 ISBN4-7828-0039-8 【B8730784】

【標題】 自然言語の文法理論 郡司隆男著 産業図書 '87.12.15 176p 21cm(A5) ¥2,400

【内容】 第1章 自然言語のための言語学(自然言語; 自然言語の規則性; 境界領域; 文法); 第2章 古典的生成文法(生成文法以前; Chomskyの革命; 句構造規則; 句構造の実在性; 句構造記述の限界; 変形文法; 生成音韻論; 生成文法の軌跡); 第3章 最近の文法理論(最近の生成文法理論; 最近の変形文法; 語彙機能文法; 句構造文法)

● #178 ISBN4-469-21145-1 【B8731165】

【標題】 現代言語学 20章—ことばの科学 ジョージ・ユール著; 今井邦彦; 中島平三訳 大修館書店 '87.12.15 305p 21cm(A5) ¥2,600 原書名: The Study of Language (George Yule)

【内容】 1 言語の起源について; 2 文字の発達; 3 言語の特性; 4 動物と人間言語; 5 言語で使われる音; 6 言語の諸音型; 7 単語と語形成過程; 8 形態論; 9 句と文—文法; 10 統語論; 11 意味論と語用論; 12 談話分析; 13 言語と機械; 14 言語と脳; 15 母語の習得; 16 第2言語の習得・学習; 17 手話; 18 言語の歴史と変化; 19 言語の多様性; 20 言語、社会、文化

● #179 ISBN4-560-01865-0 【B8729986】

【標題】 メンタル・スペース—自然言語理解の認知インターフェイス ジル・フォコニエ著; 坂原茂; 水光雅則; 田窪行則; 三藤博訳 白水社 '87.12.10 284p 21cm(A5) ¥3,200 原書名: ESPACES MENTAUX (Gilles Fauconnier)

【要旨】 ジル・フォコニエのメンタル・スペース理論は、意味論と語用論を統合するダイナミックな言語理解理論の構築を目指している。言語は、単に外部に存在する世界やモデルを正しく、あるいは誤って『表現』するだけでなく、メンタル・スペースと呼ばれるそれ自身の世界を作る。メンタル・スペースとは、文法的知識と言語外的一般知識の相互作用が行われる認知インターフェイスである。ところが、自然言語の文の意味は、多くの場合、メンタル・スペースの構成を一意的に決定するほど十分には規定されていない。そのため、解釈の一般原則により、比較的単純な意味から、多様で複雑な解釈が生み出される。本書の理論は、こうした解釈の生成過程に焦点を当てることで、統語・意味の構造的複雑さの仮定が誤りであることを明らかにし、意味研究の新しい方向を示す。

【内容】 1章 語用論的関数とイメージ; 2章 役割と多重コネクター; 3章 前提—浮遊、転送と投射方略; 4章 反事実的条件文と比較文; 5章 問スペース操作子、哲学的問題および将来の展望

● #180 【B8730188】

【標題】 クリステヴァ—テキスト理論と精神分析 枝川昌雄著 洋泉社 '87.12.10 193p 19cm(B6) ¥1,600 (現代思想文庫)

【要旨】 記号分析から精神分析へと冒険的に迫るクリステヴァ。人間の深奥にある恐怖の力から人間の精神と文化の根源をあげき出すクリステヴァ。本書はクリステヴァの全体像を活写する。

【内容】 クリステヴァにおける詩的言語論(〈アナグラム〉から〈パラグラマチスム〉へ); 〈ディアロジスム〉とテキスト理論; 記号と記号的実践の類型論; 詩的言語の実践とその射程; 精神分析と二つの記号論(ソヴィエト記号論と記号分析学; 記号分析学と精神分析); クリステヴァ理論—指定性/否定性; ソシユールと現代文学理論; 境界侵犯と排除の論理—アブジェクションと象徴形成(〈アブジェクション〉の構造的論のかつ意味論的理解; 宗教によるアブジェクションのコード化; 〈アブジェクション〉の場の精神分析的特定)

● #181 ISBN4-469-21144-3 【B8727904】

【標題】 海外言語学情報 第4号 太田朗; フェリス・ロボ編 大修館書店 '87.12.1 305p 21cm(A5) ¥1,800

【要旨】 本号は1985-86の2年間を中心とする、統語論、意味論、語用論、談話分析、言語習得、社会言語学、神経言語学などの分野の、原則として海外における研究動向の調査報告である。

【内容】 モデル理論の意味論(石川彰; 川森雅仁; 大月実); 語用論(野呂健); 機能主義文法(深谷輝彦); 原則と媒介変項の理論(加藤泰彦; 内田平); LFG(石川彰; 青木文夫); 幼児言語習得・発達(松本曜; 吉田研作); 社会言語学1(松田謙次郎; 永田高志); 社会言語学2(津田葵; 申恵川); 神経言語学(亀井尚); テキスト分析(関口やよい); 英語形態論(入部兼治); 音韻論(松沢絵里); 英語統語論1(大野裕; 五十嵐義行); 英語統語論2(清沢美恵; 漆原朗子); 英語統語論3(山本久雄; 鎌田精三郎); 日本語(上田雅信; 大野裕; 井口厚夫); ドイツ語意味論(高橋由美子); ドイツ語語用論(岡本順治; 久保田時子); フランス語統語論(小川定義; 岩村裕花; 福島富士郎); フランス語意味論(寺尾いづみ; 北村亜矢子); フランス語語用論(荒井文雄; 石野好一); スペイン語統語論(山口忠志; 加藤ナツ子); スペイン語意味論・語用論(酒井優子; 大森洋子); ソ連の民族構成と言語教育(ヤネズ・ミヘル チッチ)

● #182 ISBN4-89362-031-2 【B8727002】

【標題】 エキスパートシステムの実際と展望—AIの実用化に向けて M. A. プレイマー編; 白井英俊; 滝沢武信; 波里純次; 益田誠也共訳 パーソナルメディア '87.11.20 303p 21cm(A5) ¥3,800 原書名: Research and Development in Expert Systems (M. A. Bramer)

【要旨】 本書は約 20 種類のいろいろな分野のエキスパートシステムの研究・開発成果を紹介している。エキスパートシステムのシェル、医療診断システムにおける論拠付けと推論、マン・マシン・インターフェース、知識の表現、知識の獲得など様々な応用事例に関して述べている。いろいろな分野でエキスパートシステムが開発され、実用化されてきているが、本書では実務に携わる人々によるエキスパートシステムの現状と展望を概観している。

【内容】 成熟してきたエキスパートシステムシェル; 重要度に基づく医療診断推論の分散制御; 小規模エキスパートシステムを拡張する際の問題点の解析; アドバイスを与えるシステムにおける信念推論について; エキスパートシステムのための自然言語インタフェース; スペクトログラム解析—自動音声認識に対する知識ベースアプローチ; 専門知識抽出のための心理学的技術; 医療エキスパートシステムの知識獲得; 知識工学における帰納的システムの使用経験 [ほか]

● #183 ISBN4-13-013065-X 【B8726704】

【標題】 からだ—認識の原点 佐々木正人著 東京大学出版会 '87.11.11 231p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 15)

【要旨】 既成心理学において忘れ去られていた『からだ』を発見し、認識と身体をむすぶ新しい認知科学のパラダイムを示す。

【内容】 序章 認識の場としての『からだ』; 1章 見ることと動くからだ; 2章 ひろがりを描きだすからだ; 3章 イメージとからだ; 4章 記号としてのからだ; 終章 『からだ』をとりもどすために; 対談 『からだ: 認識の原点』をめぐって (竹内敏晴・佐伯胖)

● #184 ISBN4-87571-650-8 【B8726780】

【標題】 犬とイギリス人—一つの国民性論 大石俊一著 開文社出版 '87.11.10 139p 19cm(B6) ¥1,200 (開文社叢書 6)

【要旨】 イギリス人がとくに犬に示す特別な態度の中に、イギリス人の意識構造の一端を探ろうとする、異色の国民性論。英語の dog という語の内包的、含蓄的意味を追求するエンブソンの論文『英語の犬』、イギリス人の動物、食物、言語についての禁忌を剔抉するエドモンド・リーチの人類学論文などを根拠に、動物と人間の関係の仕方が、人間の存在様式の深層構造を照射しているさまを浮き彫りにし、あわせて、最先進近代国家イギリスを、『野性の思考』の論理で考察の対象とする。

【内容】 第1章 犬とイギリス人; 第2章 英語の dog についての“意味論的”紹介; 第3章 『聖犬』についての“人類学的”瞥見; 参考文献エンブソン論文『英語の犬』

● #185 ISBN4-320-02392-7 【B8726904】

【標題】 計算機科学・ソフトウェア技術講座 17 認知科学と人工知能 安西祐一郎著 共立出版 '87.11.10 268p 21cm(A5) ¥2,700

【内容】 第1章 知覚の情報処理; 第2章 記憶の情報処理; 第3章 表象の情報処理; 第4章 問題解決; 第5章 学習; 第6章 言語の情報処理; 第7章 インタフェースとコミュニケーション; 第8章 インタフェースからみた人工知能; 第9章 探索; 第10章 論理的推論と論理プログラミング; 第11章 知識表現(1); 第12章 知識表現(2); 第13章 自然言語処理; 第14章 計算機による学習; 第15章 並列処理; おわりに 人間と計算機の相互作用モデル

● #186 ISBN4-7665-0266-3 【B8725563】

【標題】 C コンパイラ設計— yacc/lex の応用 A. T. シュライナー; H. G. フリードマン著; 矢吹道郎; 小暮博道; 田中啓介訳 啓学出版 '87.10.31 239p 26cm(B5) ¥2,600 原書名: INTRODUCTION TO COMPILER CONSTRUCTION WITH UNIX (Axel T. Schreiner; H. George Friedman, Jr.)

【内容】 第1章 言語の定義; 第2章 単語の認識; 第3章 言語の認識; 第4章 エラー・リカバリ; 第5章 セマンティックス上の制限事項; 第6章 メモリ割当て; 第7章 コードの生成; 第8章 ロードアンドゴー・システム; 付録 sample C コンパイラのソース・リスト

● #187 ISBN4-590-00782-7 【B8726053】

【標題】 言語学概論 L. B. クレイン; E. イェガー; R. L. ホイットマン共著; 新長馨訳編 北星堂書店 '87.10.30 261p 21cm(A5) ¥2,500 原書名: An Introduction to Linguistics (L. Ben Crane; Edward Yeager; Randal L. Whitman)

【内容】 第1部 言語と言語学—概観 (人間のコミュニケーション—3つの体系; 言語学の歴史; 英語の歴史); 第2部 言語学—文法 (音声学; 音韻論; 形態論; 統語論; 意味論); 第3部 言語学—より広い視野 (人類言語学; 歴史・比較言語学)

● #188 【B8722487】

【標題】 コアとプロトタイプ—基本動詞の意味論 田中茂範編著 三友社出版 '87.10.21 417p 21cm(A5) ¥3,500

【要旨】 take や get などの基本動詞の意味は多岐に亘り、相互の関連性が截然と捉えにくい。本書では、これをコアとプロトタイプ概念を組み合わせて整理する理論を提案し、検証を経てかなり成功している。意欲あふれる研究書である。

【内容】 第1部 総論 (外国語学習における意味発達; 基本動詞の意味論: 理論的枠組み); 第2部 各論 (知覚動詞; 発話動詞; 移動動詞; 接触動詞; 設置動詞; 分離動詞; 解放動詞; 操作動詞; 加任動詞; 取り引き動詞); 第3部 応用 (前置詞の意味分析); 付録 実験意味論

● #189 ISBN4-8443-0185-3 【B8724960】

【標題】 第5世代コンピュータ言語 Prolog ランニングブッカー RUN/Prolog 演習プログラム 下 横井与次郎著 ラジオ技術社 '87.10.20 270p 26cm(B5) ¥2,800 (ラジオ技術選書 185)

【内容】 第8章 if文, case文の演習プログラム; 第9章 リスト操作の演習プログラム; 第10章 文字列操作の演習プログラム; 第11章 データベース操作の演習プログラム; 第12章 DCGによる自然言語処理の演習プログラム; 第13章 ファイル操作の基本演習プログラム; 第14章 リレーショナル・データベースとのインタフェースの演習プログラム

● #190 ISBN4-326-15200-1 【B8725095】

【標題】 言語哲学大全 1 論理と言語 飯田隆著 勁草書房 '87.10.20 251,15p 19cm(B6) ¥2,200

【要旨】 フレーゲとラッセルに始まる現代の言語哲学、そのエッセンスを分りやすく集約する。

【内容】 第1章 フレーゲと量理理論 (ひとつの問題; 文の論理形式; フレーゲは言語哲学者か?; Argument と Function; 文法のカテゴリー); 第2章 フレーゲの意味論の基礎 (意味と像; 文脈原理と合成原理; 意義 Sinn とイミ Bedeutung; 陰影と力; フレーゲの意味論の構造); 第3章 ラッセルと記述の理論 (前史 『数学の原理』の意味; 論; 革命 『表示について』 [1905]; 余波 論理的固有名を求めて; 残響 単称命題の意味論)

● #191 ISBN4-384-04697-9 【B8723193】

【標題】 モンタギュー意味論入門 デイヴィド・R. ダウティ; ロバート・E. ウォール; スタンリー・ピーターズ著; 井口省吾; 山梨正明; 白井賢一郎; 角道正佳; 西田豊明; 風斗博之共訳 三修社 '87.10.15 422p 21cm(A5) ¥8,500 原書名: Introduction to Montague Semantics (David R. Dowty; Robert E. Wall; Stanley Peters)

【要旨】 本書は、モデル理論に基づく真理条件の意味論の基本的な考え方、特に、1960年代および1970年代初期に発表された一連の論文で、リチャード・モンタギューが展開したこの意味論の一つの体系の紹介を意図したものである。

【内容】 第1章 序論; 第2章 単純な二つの言語の統語論と意味論; 第3章 第1階述語論理; 第4章 タイプ理論に基づく高階の言語; 第5章 時制演算子と様相演算子; 第6章 モンタギューの内包論理; 第7章 PTQ の文法; 第8章 モンタギューの一般記号論の構想; 第9章 モンタギュー意味論のその後の諸研究の注釈つき文献; 解説 言語理論の潮流とモンタギュー文法

● #192 【B8725113】

【標題】 隠喩論—宗教的言語の解釈学 ボール・リクール; エーバーハルト・ユンゲル著; 麻生建; 三浦国泰訳 ヨルダン社 '87.10.12 257,11p 19cm(B6) ¥2,500 原書名: METAPHER: Zur Hermeneutik religiöser Sprache (Paul Ricoeur; Eberhard Jungel)

【内容】 ボール・リクールの思想についての序言 (ボール・リクールの哲学的反省における解釈学的な問いの位置; 解釈学的モデルの作成; 神学者がボール・リクールから学びうるものは何か; 複数性と自立的実定性); 哲学的解釈学と神学的解釈学 (テクストと解釈; 聖書解釈学); 聖書的言語における隠喩の役割と機能 (隠喩の意味論; 隠喩と現実; 隠喩とたとえ話; たとえ話とそれ以外の『境界表現']); 隠喩における真理—語り—の神学的解釈学への寄与としての隠喩の神学的意味について (ニーチェにおける隠喩; アリストテレスにおける隠喩; 隠喩の神学的意味)

● #193 ISBN4-87198-007-3 【B8724108】

【標題】 コンピュータ類用語徹底解説 戸内順一著 アイビーシー '87.10.9 163p 26cm(B5) ¥2,000

【要旨】 現在、機械翻訳システムが急速に普及しようとしています。しかし、だからといって、翻訳者が不要になるといふと、そうでもなさそうです。と言うのは、現在の翻訳システムはほとんど大型コンピュータでのみ動くため、一般には普及していないことと、翻訳システムが不完全なため、プレエディットとポストエディットの作業がかなり必要なためです。これからの優秀な翻訳者が必要とされ、従って本書も利用されて行くことと思います。

● #194 ISBN4-7665-0349-X 【B8722926】

【標題】 人工知能のビジネス・トレンド H. C. ミシコフ著; 森田良民訳 啓学出版 '87.10.2 342p 21cm(A5) ¥3,200 原書名: UNDERSTANDING ARTIFICIAL INTELLIGENCE (Sams Understanding series) (Henry C. Mishkoff)

【内容】 第1章 人工知能とは何か; 第2章 人工知能の歴史; 第3章 エキスパート・システム; 第4章 自然言語処理; 第5章 人間の能力の拡がり; 第6章 その他の人工知能アプリケーション; 第7章 記号処理; 第8章 エキスパート・システム開発ツール; 第9章 LISP マシン; 第10章 現在進行中の長期人工知能研究開発計画

● #195 ISBN4-87188-022-2 【B8722065】

【標題】 情報とシステム PART1 経済の生態 今井賢一ほか著 エス・ティ・ティ出版 '87.10.1 447p 21cm(A5) ¥2,300 (BOOKS IN FORM)

【要旨】 本書は『情報とシステム』の第1分冊である。情報の本来性を問いつつ、これを主に経済ネットワークの動向の裡にさぐるうとした。今日ほど、企業が情報システムに対する深い理解とその実用化を迫られている時はない。本書に収められた13人の大胆な論者が、混沌の状況になんらかの指針をもたらしことを期待したい。

【内容】 第1章 情報と経済のパラダイム (情報経済と情報編集; 情報の相互作用と経営; 企業変容と情報化); 第2章 技術と開発のシステム (都市の技術; システム研究開発と組織; コンピュータ・パラダイムと標準化の問題); 第3章 ネットワークの構想 (ネットワークとプロセス; 情報ネットワークと文化; 経済の女性論とネットワーク; 高度情報社会と情報通信文化); 第4章 環境と市場の背景 (日本の情報環境とその成立; マーケティングの認知科学; 情報の採集と経済の栽培)

● #196 ISBN4-946432-05-1 【B8723805】

【標題】 ザ・トレンド 1988 村上陽一郎ほか著 ユー・ビー・ユー '87.10.1 461,24p 21cm(A5) ¥1,800

【要旨】 あらゆる分野と領域にわたる加速度的な情報の増大が、世界に洪水をもたらしている。そのカオス化、ノイズ化した社会の地形変化が、より新しい海図の要請を生み出した。この本がめざした『知』は世界を横断するためにある。不漸に他の領域に越境、干渉、複合し、そして知は一蘇生する。

【内容】 完結化する科学を越えて; エントロピーと散逸構造論; 認知科学への展望; バイオコンピュータ; 構造主義生物学; 文化戦略から文化化戦略へ; 究極の広告ターゲットを直接管理する方法; 刺激装置のトートロジー; 待望される土地論の射程; 近代知の解体と呼応する『こども』論; 終焉を迎える『労働』; 恋はプラトニック・セックス; 『人生論』と『前衛』をこえて; マンガの快楽から語り出すと; 百年後のゆるやかな死への戯れ; クラシックはブームか [ほか]

● #197 ISBN4-274-07377-7 【B8722658】

【標題】 Lisp プログラミング 中山隆; 杉山武司著 オーム社 '87.9.30 246p 21cm(A5) ¥2,800

【要旨】 AI 用言語としても注目されている言語—Lisp—を習得するには、実用面から基礎知識を整理し、種々のプログラミング例を知ることです。本書は、基礎編と応用編に分けて詳解しています。

【内容】 基礎編 (Lispで扱われるデータ; S式とその評価; 述語と条件式; 再帰; 関数; 制御構造; スペシャル・フォームとマクロ; シンボルとパッケージ; ベクトルとストリング; 入出力); 応用編 (AIとLisp; ゲーム tree; 自然言語; 翻訳; 数式処理)

● #198 ISBN4-13-013064-1 【B8722410】

【標題】 『わざ』から知る 生田久美子著 東京大学出版会 '87.9.25 181p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 14)

【要旨】 『わざ』をきわめることは『世界』を知り、拓くこと。一伝統芸道の伝承における認知過程を解明。

【内容】 序章 型なし文化のなかで; 1章 『わざ』の習得; 2章 『形』より入りて、『形』をより出る; 3章 『間』をとる; 4章 『わざ』世界への潜入; 5章 『わざ』言語の役割; 6章 『わざ』から見た知識; 7章 結び—学校、生活、知識; 補編 なぜ、いま『わざ』か (佐伯胖)

● #199 ISBN4-88503-057-9 【B8720314】

【標題】 この子らは光栄を異にす 山浦俊治著 地湧社 '87.9.10 239p 19cm(B6) ¥1,500

【要旨】 新入保母・足立愛子さんとの衝撃的な出会いが、私の福祉観を根底からくつがえした。

【内容】 序章 愛子伝説; 第1章 ひたむきに生きる娘たち; 第2章 心やさしき隣り人; 第3章 純な心の子どもたち; 第4章 涙の中の真実; 第5章 自らを省みるとき; 第6章 問いかけとしての『意味論』

● #200 ISBN4-930916-29-1 【B8720703】

【標題】 C&Cのマンマシンインタフェース—人間 (Man) と情報システム (Machine) との調和をめざして 日本電気マンマシンインタフェース研究会編 日本電気文化センター '87.9.7 240p 21cm(A5) ¥2,500

【要旨】 オフィス、学校、家庭で、日常的にマシンと接しているすべての人びとのために、人間工学にもとづく使いやすいマシンのあり方を解説。

【内容】 第1編 C&Cのマンマシンインタフェース (マンマシンインタフェース概観; 人間と情報通信システム; マンマシンインタフェースとソフトウェア); 第2編 C&Cシステムにおけるマンマシンインタフェースの実際 (入出力技術とマンマシンインタフェース; 対話技法・自然言語とマンマシンインタフェース; 情報通信におけるマンマシンインタフェース; C&Cにおけるマンマシンインタフェースの事例); 第3編 作業空間・作業環境とマンマシンインタフェース—デザイン・使い易さなどを含めて (作業空間とマンマシンインタフェース; VDT使用環境におけるマンマシンインタフェース; システムデザイン・使い易さとマンマシンインタフェース)

付録 B 添付資料 (処理結果)

- #1 ISBN4-326-15254-0 【B9116873】
【標題】『語り得ぬも』に向かって—ウイトゲンシュタイン的アプローチ
【要旨】{D: 言語・宗教・倫理をめぐるウイトゲンシュタインの思索—その核心}は何か
{C: 著者の新しい境地と到達点を示す論文集}
- #2 ISBN4-320-02549-0 【B9114580】
【標題】現実の脳
【要旨】{6: 物理学・システム理論・人工知能・ニューラルネット・分子計算機の視点から『心』解明の道}を探る
- #3 ISBN4-06-153801-2 【B9110025】
【標題】言語処理と機械翻訳
【要旨】機械翻訳の技術を成熟させるにはまだ多くの課題が残されているが過去40年にわたり検討してきた技術を統合して機械翻訳システムとして実現する時期にきている
本書は {B: そのような観点に立ち、現在の機械翻訳の技術と将来の高度な技術を開発するための問題点を}述べる
- #5 ISBN4-06-205285-7 【B9113542】
【標題】ゲーム少年の夢
【要旨】勉強嫌いのゲーム少年が太平洋を渡り、博士号を取得するまでの鮮やか軌跡
- #7 ISBN4-88198-802-6 【B9114638】
【標題】物語論辞典
【要旨】この辞典で {A: 定義し、説明し、例証しているのは物語論に固有の用語・物語論に受容され元来の意味とは異なって使われている用語・及び、物語論的記述や議論に類出し、かつ必須の用語であるが本来的には意味論の領域に属している用語}である
- #8 ISBN4-274-07658-X 【B9113188】
【標題】函解
【要旨】{6: 意味解析や文脈解析から応用システムの概観まで}を紹介
- #10 ISBN4-7948-0085-1 【B9112194】
【標題】経済学のコスモロジー—地球環境時代の経済原論
【要旨】{D: 現代における経済}とは何か
{C: ソ連東欧の社会主義諸国の雪崩現象・情報化・ポスターレス化の進行・生態系の危機の深刻化・様々な問題を抱える現代経済の意味解明に対し、『希少性』という観点から経済を系統化し、統合的な把握を試みる、地球環境時代の経済原論}
- #11 ISBN4-87378-276-7 【B9113082】
【標題】本能行動とゲシュタルト知覚
【要旨】本著作は {A: ローレンツの思想をフロイトの『精神分析』やヘルムホルツの『無意識推理説』と関連づけて、行動と心とのからみあいをさぐるものであり、現在発展している動物行動学・認知科学などが十分に踏まえることなく跳びこえてきた分野に立ち戻って吟味した貴重な労作}である
- #12 ISBN4-563-00795-1 【B9111726】
【標題】自然言語の論理処理
【要旨】本書は {A: 自然言語の計算機処理を実現するために、手続き型論理によって英語を表現する手法を用い、その方法を詳説した入門書}である
自然言語理解を目指す学部上級生・大学院生・若手技術者、あるいはそのことに興味をもつ言語学や心理学の研究者にとっての好個の書である
- #16 ISBN4-7952-6867-3 【B9108781】
【標題】構成的プログラミングの基礎
【要旨】本書は {A: プログラミングの理論への論理学の応用の一例である構成的プログラミングの入門書}である
- #17 ISBN4-7952-0839-5 【B9106921】
【標題】建築的無意識—テクノロジーと身体感覚
【要旨】{C: 『エイリアン』、『ブレッドランナー』の映像イメージから説き起こし、記号論・システム論・認知科学など、最新の科学を駆使して仮説される建築論}
{E: テクノロジーの未来とポスト・モダンの地平のかなたに新たな浮かび上がる建築のイメージはどのように}かさなるのか
{C: 建築における無意識と身体性の問題を結びつける回路を模索しながらつづる渾身のエッセイ集}
- #18 ISBN4-13-013069-2 【B9106944】
【標題】心の計算理論
【要旨】心とは自然が産みだしたみごとな記号計算装置だ
{C: 計算機科学・心理学・言語学・哲学に共通する問題提起の書}
- #19 ISBN4-13-013071-4 【B9104168】

- 【標題】 認識と文化一色と模様民族誌
- 【要旨】 アフリカのボディ族の色彩認識の調査から解き明かされる、彼らの牛との交わりを中心とした生活と知識の想像を越えた結びつきは文化と認識についての常識の転換を迫る
- #21 ISBN4-7885-0383-2 【B9103924】
- 【標題】 認知科学通論
- 【要旨】 {C: 『知』の統合的理解をめざす認知科学への招待}
- #22 ISBN4-326-15245-1 【B9102836】
- 【標題】 フッサールとフレーゲ
- 【要旨】 現象学と分析哲学のルーツへ
二人は同じ〈{<: 哲学的世界}>〉に住んでいた
実りある交流を促す
- #23 ISBN4-00-004061-8 【B9102453】
- 【標題】 読みのプロトコル
- 【要旨】 ひととは倫理的・社会的存在である以上・読むことと倫理的規範とは無縁ではなく、読みのプロトコルを絶えず構築していかなければならない
エーコヤバルトの記号論そしてデリダのテキスト論を踏襲し、読み・解釈・批評の理論を明快な語り口で展開する
本書は {B: デリダの理論的寄与を認めつつも倫理的・価値論的観点からディコンストラクションを} 批判する
- #24 ISBN4-7665-1090-9 【B9100696】
- 【標題】 図解
- 【要旨】 本書は {A: 人工知能に関する初心者向けの解説書} です
特に、図を多くし、文章をやさしくして、初心者にもわかりやすいように心がけています
- #26 ISBN4-7608-9376-8 【B9032972】
- 【標題】 新・児童心理学講座
- 【要旨】 {3: 言語学や言語心理学のみならず社会科学・人類学から比較行動学・認知科学までの言語の諸機能について広範囲の分野から} 集積されつつある研究を総覧しながら、{6: 人間の発達と語用論的視点から言語的諸能力の発達} について考察する
- #27 ISBN4-7917-5103-5 【B9030909】
- 【標題】 哲学の小さな学校
- 【要旨】 {C: 現代思想のハンドブック}
{C: 60年代以降の哲学や言語学の流れを総観し、チョムスキー以後の言語学者・デリダ・デヴィッドソン・ダメット・バナムなどの哲学者・ポパー・クーン以降の科学哲学者を次々と登場させ、その相互関係を見事に浮び上がらせる、現代哲学の鳥瞰図}
- #28 ISBN4-624-93206-4 【B9031990】
- 【標題】 『意味』の地平へーレヴィ・ストロース・柳田国男・デュルケーム
- 【要旨】 {C: 主としてレヴィ・ストロースの構造主義理論を現代的な視点から平明に解説し柳田国男・デュルケームとの意外性と示唆に富んだ知のトリアードを構成するなかで人が生きる『意味』をそして世界の『意味』を探りだそうとする知的冒険の書}
- #29 ISBN4-7958-1082-6 【B9028530】
- 【標題】 言語学は科学であるー『象ガ国会デ宿題ヲ忘レル』不思議への招待
- 【要旨】 『{<: 人類最古の書きことば}』から『{<: 21世紀末の日本語}』までコトバと火を使用する、すべてのヒトへ贈る〈{<: サイエンス・ノンフィクション}>〉第7弾
人類はコトバなしには一瞬たりとも社会生活を営み得ない
{E: しかし、コトバについて我々はどれだけのことを} 知っているのだろうか
- #30 ISBN4-335-00021-9 【B9029880】
- 【標題】 講座
- 【要旨】 {C: 東南アジア世界の尊厳を重んじ、独創的な方法論と実証的なフィールドワークをもとに壮大な知の構図を提示したわが国初の画期的講座}
- #32 ISBN4-326-15241-9 【B9027126】
- 【標題】 現代哲学のフロンティア
- 【要旨】 蒙昧と空語を排除し、理性と事実と訴えた議論をめざす研究集団〈{<: 科学哲学コロキウム}>〉
{C: その活動にみる現代哲学の熱い焦点}
- #33 ISBN4-87502-173-9 【B9028290】
- 【標題】 言語の夢想者ー17世紀普遍言語から現代SFまで
- 【要旨】 ヨーロッパ言語思想史をふりかえると文字通り狂人のように言語に憑かれて、完全無欠の理想言語の創造とその普及に命を賭けた人々が登場する
普遍言語の嚆となつたデカルト・ライブニッツ・チョムスキー・奇天烈な空想言語を考えだしたシラノ・ド・ベルジュラック・ブルワー・リットン・ジョージ・オーウェル・豊媒となつて異界の言語をとめどもなく話し始めたエレーヌ・ミス・スターリン体制下でマルクス主義言語理論を打ち立てたニコライ・マール

付録 B 添付資料 (処理結果)

本書は {B: 人工言語の迷宮にさまよってこいだ彼ら“言語の夢想者”の系譜を通して、言語に潜む神話・夢、狂気} を説き明かしていく

● #34 ISBN4-621-03511-8 【B9025312】

【標題】 国際通信

【要旨】 国際化の急速な進展に伴って、国際通信は地球上の人と人、あるいは機械と機械を結ぶ情報ネットワークとして必要不可欠なものとなっている

本書は {A: このような背景をもとに、国際通信技術をネットワークと伝送路などの基盤技術からデータ通信や画像通信などのサービス技術、さらには機械翻訳にいたるまで最新の技術を各分野の第一人者が解説したもの} である

● #35 ISBN4-89501-378-2 【B9025263】

【標題】 Cで学ぶ AI

【要旨】 本書は {A: C 言語を用いて AI(人工知能)のプログラミング技法を学習するための入門書} である

AIについては全く初めての人にも理解できるように、ステップバイステップで解説されている

最近注目されている {6: ファジ理論や自然言語処理・エキスパートシステムなど、AIにおけるトピックス} をほぼ網羅しており、多様な技法をマスターできるように配慮されている

● #36 ISBN4-320-02529-6 【B9025647】

【標題】 人工知能の研究者たち

【要旨】 {E: マッドサイエンティスト(気狂い科学者)といわれてきた人工知能の研究者たちは何を考え、何を} 創り出してきたのか

{E: そして、今後どのように} 進んでいくのか

{C: 本書はその研究者のライフスタイルや創造の秘密を探ると同時に、実像に迫る人物論を明解に展開した世界初の書}

● #40 ISBN4-479-75027-4 【B9021858】

【標題】 『子ども不在』の教育論批判—『法則化運動』を撃つ

【要旨】 子どもの個性も、教師の多様性も認めない {6: 『教育技術の法則化運動』} を徹底的に批判する

● #41 ISBN4-14-001586-1 【B9023067】

【標題】 デジタル思考とアナログ思考

【要旨】 コンピュータが音楽や美術の分野に活用される等・社会のすみずみに浸透している一方で感性の重要性が叫ばれている

一体・論理的なものごとを処理していく能力としての理性とその反対概念として、感情にうったえることが多い感性とはまったく異質なもののなか

思考の流れを合理的なデジタル型と直観的なアナログ型に大別し、その両者の本質に深く関わる {6: 理性と感性の対立や結びつき} を捉え直す

● #42 ISBN4-274-07580-X 【B9019094】

【標題】 知的 CAI システム—知識の相互伝達への認知科学的アプローチ

【要旨】 知的 CAI(ITS)といわれる人工知能を取り入れた {6: 教育システムについて、初期の段階から今日のシステム} を概観し、システム構築の理論と実際を全3部全20章でまとめた好著の翻訳版

● #43 ISBN4-320-02518-0 【B9018287】

【標題】 ニューロコンピュータの現状と将来

【要旨】 ニューロコンピュータ開発の現状と将来の展望を『{<: 脳の生理学的研究}』『{<: ニューロハードウェア}』『{<: 光ニューロシステム}』『{<: 記憶と認知}』『{<: ニューロによる問題解決}』『{<: 認知の仕組み}』にわたる広い視点から試みた、日本学際会議主催のシンポジウム記録を単行本化

● #47 ISBN4-00-004104-5 【B9014852】

【標題】 現代哲学の冒険

【要旨】 思考のメタモルフォーゼ

現代の危機を映す意識の冒険

パラドックスに直面した思考が示す跳躍寸前のスタンス

円環・螺旋・遊動言語と意識の {<: 不可能な回路}

● #48 ISBN4-7665-1066-6 【B9012137】

【標題】 ファジ集合—自然言語演算とリスク解析

【要旨】 本書では {B: 読者にファジ集合論を紹介し、リスク解析におけるファジ集合論の使用例、つまり、リスク評価のための自然言語表現の使用例を} 解説する

自然言語表現を使った手法を組み込んだ、{6: 試験的な自動リスク解析システム} についても詳しく述べており、{6: また今後の課題についてもその概略} を述べている

● #51 ISBN4-13-013081-1 【B9014322】

【標題】 アクティブ・マインド—人間は動きのなかで考える

【要旨】 {C: 身体と思考のみごとな相互関連を解きあかし、認知科学の新しいパースペクティブを示した意欲作}

● #52 ISBN4-06-153911-6 【B9012696】

- 【標題】 認知科学の発展
- 【要旨】 {C: 『言語表現』にかかわる新たなパラダイムの提唱}
G. フォコニエ(カリフォルニア大学)教授によって与えられたメンタル・スペースという概念に基づいた論文集で学際領域の研究者による認知科学への1つのアプローチである
- #55 ISBN4-947627-09-3 【B9010337】
- 【標題】 C言語による英和翻訳システム
- 【要旨】 {6: C言語による機械翻訳システムの全容と拡充法}を公開
- #56 ISBN4-7828-0053-3 【B9007198】
- 【標題】 認知科学とパラダイム論
- 【要旨】 コンピュータは画期的な道具であり、かつて望遠鏡や顕微鏡が自然科学にもたらしたのと同じような解像力を精神や心に関する諸科学にもたらすであろう
哲学・心理学・社会学といった多くの専門分野とAI(人工知能)における研究成果を総合しようとする努力の中から誕生した本書は {B: 科学や科学知識の分析に対する新しいアプローチを}提起している
本書で展開されているように、このアプローチはAIの発展を通じてお馴染みとなっている図式を拡張し、実証主義・論理実証主義・科学の科学、さらにはパラダイムをも包含するような枠組を可能にしてくれる
- #57 ISBN4-06-153907-8 【B9004023】
- 【標題】 認知科学の発展
- 【要旨】 {C: 第4回京都賞受賞のチョムスキー教授の論文を中心とした特集}
本特集は {A: 文法理論の研究を通じて人間のところの構造と機能の解明へ寄与すべく、認知科学という学際領域に集結した広範な研究者が語る言語学からの認知科学へのアプローチ}である
- #58 ISBN4-588-00292-9 【B9004848】
- 【標題】 意味と意味の発展
- 【要旨】 {6: マリノフスキー、ソシュールら先哲の学説}を分析し
{6: 意味とは何か}を明らかにしつつ、{6: とりわけ英語の語意変化を隠喩・換喩}を主要因として豊富な事例・作品引用によって示し、{6: 意味変化の理論}を体系化するとともに {6: 言語研究における共時的・通時的方法の必要性}を説く
- #59 ISBN4-8115-6232-1 【B9006837】
- 【標題】 自然言語の論理とその存在論—レスニェウスキー存在論の立場から
- 【要旨】 この論文集の主な目的は {A: レスニェウスキーの論理学、とくにその存在論、すなわちレスニェウスキー存在論に関する研究をまとめたもの}である
- #60 ISBN4-8207-0664-0 【B9001615】
- 【標題】 OA実務家の書いたエキスパート・システムの本
- 【要旨】 三菱商事で好評の社内テキストを単行本化
{C: ユーザーの立場からむずかしさを乗り越えるために書かれたES(エキスパートシステム)中級入門}
- #61 ISBN4-274-07542-7 【B9001661】
- 【標題】 人工知能ハンドブック
- 【要旨】 {6: 人工知能に関する基礎から応用までの全分野}を網羅
{5: 歴史的な業績や最近・特に進歩の著しい分野についても積極的に取り入れ}解説
ハンドブックの性格上・将来を見通した普遍的な記述
- #64 ISBN4-00-010386-5 【B9000805】
- 【標題】 岩波講座
- 【要旨】 {D: 人間にとって、社会にとって、科学}とはなにか
{6: 生き方と価値観の指針}を提示する
- #65 ISBN4-320-02497-4 【B8933404】
- 【標題】 人工知能と論理
- 【要旨】 本書は {A: 非標準論理の人工知能(Artificial Intelligence)への応用に関する、初等用テキストあるいは参考書として用いられることを意図したもの}である
本書では {B: また、人工知能の研究者にとって専門的素養として役立つような、計算機科学の主要分野への非標準論理の応用についても}述べている
- #67 ISBN4-327-42064-6 【B9000490】
- 【標題】 談話分析—自然言語の社会言語学的分析
- 【要旨】 著者自らが収集した会話データ等を詳細に分析することにより、{6: 談話の構成・構造}を社会・教育言語学の観点から具体的に解明し、その混沌とした表層下に隠された {6: 規則性}に光をあてる
{C: 英語教育関係者必読の書}
- #68 ISBN4-89362-055-X 【B8933062】
- 【標題】 TRONプロジェクト
- 【要旨】 {C: 90年代に向け着々と進展をみせるTRONプロジェクト最先端の技術論文集}
- #70 ISBN4-327-41029-2 【B8931078】

付録 B 添付資料 (処理結果)

【標題】 ヒアリングの指導システム—効果的な指導と評価の方法

【要旨】 実際に効果のある {G: ヒアリングの科学的な指導法・学習法} について、著者の豊富な経験を基にした実践例や内外の著名な文献により具体的に分かり易く解説

● #71 ISBN4-8103-2000-6 【B8927372】

【標題】 CAI への招待

【要旨】 きわめて可能性に満ちたコンピュータは本質的に、双方向の情報技術であり、多様な情報処理機能を有し、ネットワーク化も可能である

これが授業の中に入った場合、これまでのような単方向の情報技術と整合性がある伝統的な、いわば『{<: 教師→学習者伝達モデル}』とは異なる授業モデルが新たなパラダイムのもとで理論的に確立されなければならない

本書では {A: このコンピュータ教育のための新しい授業モデルを『学習環境モデル』として紹介し、その基礎的理論を解説したもの} である

● #72 ISBN4-571-21026-4 【B8927582】

【標題】 知の体得—認知科学への提言

【要旨】 知的な努力が喚起される場合とは逆にいえば言語そのもののもつ限界を知的な努力でもって積極的に補ってゆかなければならないような場合である

言語のもつ限界は一つにはわれわれが直面する事象がこれすべて変型であるにもかかわらず、それらのある典型として言葉で表現しなければならないという事実にある

● #73 ISBN4-7885-0355-7 【B8929639】

【標題】 心のシミュレーション—ジョンソン・レアードの認知科学入門

【要旨】 {C: 錯綜し発展を続ける認知科学の全容を体系的に将来への可能性も含めて理解するための一冊}

● #74 ISBN4-478-98030-6 【B8928833】

【標題】 翻訳者への道

【要旨】 {D: 原文の魂を伝える翻訳} とは

当代きっての名翻訳家が語る翻訳の楽しさ、奥深さ

さあ、あなたも思わず、楽しく、苦しく、深みにはまってみては

● #75 ISBN4-303-71580-8 【B8928958】

【標題】 認知心理学講座

【要旨】 {G: 本書は認知心理学の主要な問題や理論・データなどについて、最新かつ詳細な情報} を提供しよう心がけた
また、本書では {B: 認知心理学の研究で用いられる代表的な研究法を精選して} 紹介している

● #76 ISBN4-12-001854-7 【B8923773】

【標題】 ふろしき文化のポスト・モダン—日本・韓国の文物から未来を読む

【要旨】 {C: ふろしき、屏風・座蒲団、お膳近代合理主義が『アジア的停滞』として捨ててきた古きものに、ポスト産業時代の文化のパラダイムを探るユニークな比較文化論}

● #77 ISBN4-7536-5401-X 【B8923289】

【標題】 かしこい材料とシステム—産業科学の新しい芽

【要旨】 本書は {B: 材料と情報を中心として現在の産業科学がどのような研究を志向しているか、現状はどうか、その将来はといた見地から} 書かれている

● #78 ISBN4-326-80025-9 【B8923406】

【標題】 文学のプラグマティクス

【要旨】 文脈 (コンテクスト) 的理解をすべての解釈の営みの基礎とする立場から、形式的/構造的な分析を越えて、{G: 解釈学の方法論的拡大} をめざす

● #80 ISBN4-89362-053-3 【B8922527】

【標題】 MIT の人工知能

【要旨】 人工知能の研究では世界で最も進んでいるマサチューセッツ工科大学で開催された人工知能の将来についての会議において、P・H・ウィンストンをはじめとするトップクラスの人工知能の研究者達の白熱した議論が展開された

本書は {A: その議論のもととなった 12 の論文をまとめたもの} である

{E: 1990年代の人工知能はどう} なるのか

人工知能の最先端の研究に携わり、常に確かな現状把握と将来に対する視点を持つ彼らが 90年代、そして 21世紀に向けて、大きな可能性を秘める {G: 人工知能} について論じている

● #81 ISBN4-7890-0474-0 【B8920421】

【標題】 動詞がわかれば英語がわかる—基本動詞の意味の世界

【要旨】 本書は {A: 表面的な意味のうちに隠された単語本来の意味“コア・イメージ”をつかみ、基本動詞を 100% 使い切る} ための必読書} です

● #82 ISBN4-7665-1036-4 【B8917810】

【標題】 オブジェクト指向への招待—思考表現のための新しい技法

【要旨】 オブジェクト指向という、プログラミングにおける新しい考え方は Smalltalk ばかりでなく C 言語や Lisp など既存のプログラミング言語にも取り入れられており、今後、様々な分野に応用されていくものと思われます

本書では {B: オブジェクト指向を「思考を表現するための技法」としてとらえ、その基本概念から応用までをプログラミングの経験のない方にもわかるように} 紹介しています

● #84 ISBN4-274-07522-2 【B8917120】

【標題】 機械翻訳

【要旨】 本書は {A: 意味を理解するための常識に関する知識や文の成立ちを規定する構分規則での言語からの独立について、新たなモデルを設定して解説したもの} です

● #85 ISBN4-13-013072-2 【B8917530】

【標題】 神経回路モデルと接続ニズム

【要旨】 {4: 今・認知科学でもっともホットな脳の並列分散処理の可能性と限界} をその基礎となる基礎からていねいに解説

● #86 【B8915618】

【標題】 陳原著作選

【要旨】 {C: 辞書編纂40年の著者による語彙論}
{C: 現代中国語読本}

● #89 ISBN4-274-12856-3 【B8915857】

【標題】 KE 養成講座

【要旨】 本講座は {A: KE(ナレッジエンジニア) がエキスパートシステムの開発にあたり知っておくべき AI の基本知識から、開発に必要な知識・技法・プログラミング手法までを効率的に学習できるよう全6巻で構成したテキスト} です

● #90 【B8916957】

【標題】 パソコンによる英日・日英自動翻訳一翻訳ソフト・ツールをどう使うか

【要旨】 本書では {B: 翻訳実務やライティングに、パソコンをどのように使えばよいか、またそのためにはどのようなツールがあり、それらはどのように使えば効果が上がるかを考え方とノウハウの両面で分かりやすく} 紹介してあります

● #91 ISBN4-7856-3512-6 【B8914370】

【標題】 ソフトウェア講座

【要旨】 構文解析の技術は与えられた言語表現の目に見える構造を決定する技術である
コンピュータサイエンスの普遍的な基本技術の一つであり、適用範囲も、コンパイラの作成・混合入力方式の構造エディタの作成から自然言語インタフェースの作成・自然言語理解システムの作成に至る分野に及んでいる
本書は {B: プログラミング言語および自然言語の分野で基本的と考えられる構文解析アルゴリズムを収録し、その原理を} 解説した
したがって、システムプログラムや自然言語処理の勉強の入門部分の基礎を学ぶことができる

● #92 ISBN4-900074-68-3 【B8911334】

【標題】 オルタナティブ・ヴィジョンー新たな価値体系の思潮

【要旨】 あらゆる価値観の相対比に直面して、確信をもって選択することがますます困難になってゆく現代、7人の真摯な探究者たちのことばから、何かの示唆を得ることができるに違いない

● #93 ISBN4-327-40095-5 【B8912309】

【標題】 意味の文脈ー通じる世界の言葉と心

【要旨】 意味を考える分野が近年急速に展望を広げつつある

本書は {B: 意味の構成・伝達・解釈・喚起・創造などにかかわる問題を具体的な事例に即して言葉の心の文脈という視点から分析し、われわれが言葉を用いる際の心の働きを} 明らかにする

● #95 ISBN4-7665-1028-3 【B8909302】

【標題】 知的知識ベース・システム入門

【要旨】 本書は {B: 知識工学入門者のために、様々な方面からIKBSにアプローチしており、エキスパート・システムの構造や機能の概説、その開発過程、Prolog、知識表現の紹介・言語理解における意味論・自然言語理解へのアプローチなどを詳しく、平易に} 解説している

{C: 情報処理・計算機科学の学科生・人工知能関連の技術者に向けた入門書}

● #96 ISBN4-274-07506-0 【B8908753】

【標題】 人工知能

【要旨】 本書は {B: コンピュータの歴史とともに発展していく基盤として、あるいは応用分野で利用されつつある人工知能について、基本的ないくつかのテーマに焦点をあて、その概要を平易に} 解説しています

● #97 ISBN4-947627-04-2 【B8909289】

【標題】 パーソナルコンピュータによる日英双方向機械翻訳システム制作

【要旨】 {6: 日英・英日双方向機械翻訳の理論とプログラム(BASIC/Lisp)} を公開

● #98 ISBN4-469-25033-3 【B8908426】

【標題】 フランス語・意味の散策ー日・仏表現の比較

【要旨】 この本では {B: 純粋に文法的なことよりはむしろ、意味と表現の問題で日本語を母語とする学習者がうっかり間違えてしまうことあまり気づかずにいること覚えておいた方がいいことなどを取り上げて} 考えてみることにしました

● #99 ISBN4-563-01347-1 【B8907386】

【標題】 情報処理論

付録 B 添付資料 (処理結果)

- 【要旨】本書は {A: 大学における全学共通の教養課程学生向き情報処理教育用テキスト} である
{3: 情報化社会におけるコンピュータ利用の実際を認識し、情報処理について基本的な見識} を涵養することを目的とする
{5: コンピュータの原理とその発展・情報とは何か、情報の管理の問題にはじまり、様々な分野におけるコンピュータの利用形態、さらに情報システム基本構成までユニークな構成で} 解説する
広い視野からコンピュータリテラシーを育成する
- #100 ISBN4-13-002061-7 【B8906046】
【標題】すぐれた授業とはなにかー授業の認知科学
【要旨】子どもは教室で生きている、もがいている、考えている
一教室の中で火花を散らしている子どもたちの思考過程を四つの傑出した {6: 授業実践} を素材に、4人の教育学者が徹底解析し、{6: 新しい『授業の認知科学』の方向} をさぐる
- #101 ISBN4-274-07446-3 【B8906424】
【標題】機械翻訳サミット
【要旨】{6: 機械翻訳関係者の1987年9月に開催された機械翻訳研究に関する国際シンポジウムの研究発表をもとに、討論の内容、その後の最新の成果} を第一線の研究者・技術者がモノグラフとしてまとめた
- #103 ISBN4-327-39914-0 【B8904502】
【標題】英語年鑑
【要旨】{6: この『英語年鑑』はわが国の英語学・英米文学界の、1987年4月から1988年3月にいたる1年間の活動のあと} を記録するために『{<: 各界の回顧と展望}』『{<: 英学日誌}』『{<: 全国大学・短大・高専英語教育構成}』『{<: 研究団体}』『個人研究業績』『人名録』および『{<: 研究業績項目別索引}』の七部に分けて編集したものである
- #107 ISBN4-274-07449-8 【B8832433】
【標題】TURBO
【要旨】本書では {B: システムのインストールから、プログラムの構造・スタンドアロンなプログラムの作成方法まで Turbo Prolog のあらゆる面を詳しく} 説明している
- #108 ISBN4-13-011100-0 【B8831820】
【標題】認識し行動する脳ー脳科学と認知科学
【要旨】{C: 脳科学と認知科学の真の対話}
{6: 脳科学・認知科学・人工知能の最前線で活躍する研究者たちが互いに妥協を許さない対話を経て、認識と行動を結ぶ共通の原点} を提示
広く一般読者にもわかりやすい解説と対談を付す
- #109 ISBN4-06-153904-3 【B8829369】
【標題】認知科学の発展
【要旨】認知科学会からの初めてのメッセージ
{C: 創設5年目を迎えた認知科学会会員の手に成る論文集}
学会刊物として第一号の重責を果たす掲載の7編は認知科学会の活動と成果をうかがい知るのに最適であり、また認知科学会の活動内容を知ろうとする諸賢にも必読
- #110 ISBN4-274-07468-4 【B8832176】
【標題】自然言語処理入門ーことばがわかるコンピュータをめざして
【要旨】{E: コンピュータはどこまで日常の言語を} 理解できるか
自然言語処理の研究はコンピュータ関連のみならず自然言語そのものの研究も重要である
またここに奥深いものがあり、おもしろく魅力的なところがある
本書は {A: 機械翻訳システムなど一部で応用されつつある研究成果について、今後の道しるべとなる重要テーマを中心にまとめたもの} である
- #111 ISBN4-563-05554-9 【B8831736】
【標題】学習の理論
【要旨】本書のねらいは {A: 現代の学習理論を理解させ、その歴史的文脈とその背景とを提供すること} にある
下巻では理性主義による認知・体制化の考え方に影響された {1: ゲシュタルト派やトールマンの学習理論や情報処理理論とその発展} について述べられ、さらにこれらの理論と関連する神経科学や教育の応用にも及んでいる
- #112 ISBN4-19-513812-4 【B8829595】
【標題】タイム・マーチャントー日米欧・四次元の覇権争い
【要旨】いま列強の『{<: タイム・マーチャント}』の勝負が始まろうとしている
{E: 日米欧の情報・通信企業は何をいかに手中にしようとするのか}
- #113 ISBN4-02-259465-9 【B8827302】
【標題】情報の文化史
【要旨】洞窟画からビデオまで人は情報を手にして歴史に参加してきた
{E: 私たちは情報をいかにつくり、} かかわってきたか
- #114 ISBN4-89362-047-9 【B8828545】
【標題】ザ・プロジェクトーコンピュータ技術開発の最前線

- 【要旨】 スーパープロダクツはこうして生まれたー日立・ソニー、IBM、富士通、NEC、東芝・リコー
着想から完成にいたるまでを徹底取材
{6: 開発秘話・苦勞・喜びなどエンジニアの生の声} をレポート
- #115 ISBN4-250-88037-0 【B8825402】
【標題】 偶数と奇数の記号論ー脳と諸記号システムの非対称
【要旨】 {C: 右脳・左脳の機能と構造・その非対称の考察を中心に、文化・記号の二値シンボルシステム・人間の言語行為の特性・意識の深層の感覚思考などについて、諸科学領域を自由に往来しつつ論及ー人間科学の可能性の扉を大胆に開く異色作品}
- #117 【B8828247】
【標題】 レトリックの知ー意味のアルケオロジーを求めて
【要旨】 隠喩や換喩や提喩などの文彩はまさに私たちの認識を条件づけている (限界づけている) といってよい
いわば、人間にとって可能な認識に越えられぬ境界があり、その向うは踏み込もうにも踏み込めない無人境の空 (白) になっているということである
グイトゲンシュタインをもじってこれを言い表わせば、<<レトリックの限界が認識の限界である>>、といえる
- #118 ISBN4-89501-288-3 【B8824775】
【標題】 パーソナルコンピュータで学ぶ AI とエキスパートシステム
【要旨】 本書は {B: 人工知能とエキスパートシステムの考え方を普通の人がわかる用語で紹介し} 説明しています
- #119 ISBN4-13-013070-6 【B8825861】
【標題】 機械の知
【要旨】 『<: 機械の知>』の実現と『<: 人間の知>』の解明を目指す {6: 人工知能・認知科学の成果を吟味し二つの知の特質とその乖離を埋める多様な知へのアプローチ} を論じる
- #120 ISBN4-06-148920-8 【B8825338】
【標題】 AIー人工知能のコンセプト
【要旨】 エキスパート・システム・機械翻訳・知能ロボット
科学者の遊戯的空間から <知> を増幅させて、ビジネスの舞台に躍ら出た AIー
言語の <<: ゆらぎ>> <<: あいまいさ>> を感知する無謬装置ははたして可能なのか
{C: 気鋭の著者が現代思想のなかに錘鉛を下ろした意欲作}
- #121 ISBN4-309-00512-8 【B8825085】
【標題】 これは日本語か
【要旨】 {C: あの『ラガナ一家のニッポン日記』の著者が大学生へのアンケートをもとに、現代日本語文法と国語教育の課題を愛惜こめて提起する感動的な本格日本語論}
- #122 ISBN4-255-88048-4 【B8824034】
【標題】 知識情報の世界を拓くーデータベースから知恵をくむ
【要旨】 大学・企業等で日々生みだされる研究成果を初めとする膨大な情報を的確・迅速に処理することは独創的な研究を進める上で必要不可欠な手続きといえよう
本書では {B: こうした見通しに立って、様々な学分野内でまた学分野を横断的に結びつけて構築されている情報ネットワークの現在が} 論じられている
{E: コンピュータ・オンラインで接続された <情報> は社会をどこへ} 導くのか
知識と知恵の創造的な再編成の行方を示唆する一書である
- #123 ISBN4-526-02410-4 【B8822925】
【標題】 PC9801 機械翻訳プログラミング入門
【要旨】 まったくの初心者が機械翻訳の基礎を理解し、応用できるように、{6: この本} を執筆した
ここで書かれている内容は {A: 機械翻訳の歴史・現状および編者が開発した GRI-Prolog を使った機械翻訳システム (日本語→英語) の作り方} である
- #124 ISBN4-7828-0044-4 【B8823485】
【標題】 メンタルモデルー言語・推論・意識の認知科学
【要旨】 {6: 著者は本書で認知科学の研究のやり方の一つ} を示している
{2: 実験心理学・論理学・言語学・人工知能、そして哲学からのアイデアと方法とをいかに統合する} を教えてくれる
とりわけ、計算理論は心の複雑さを理解するのに必要な決定的な方法とメタファーのいくつかを提供する
本書は {A: 広く科学に興味を抱く読者を念頭に書かれたもの} である
- #125 ISBN4-7649-0146-3 【B8822328】
【標題】 ダイナミック・メモリー認知科学のアプローチ
【要旨】 人間の知的活動の中心に、学習・記憶・問題解決という重要なテーマがある
人間は言葉・文字・動作などによって得られた情報を脳に蓄積し、その記憶に基づいて、与えられた問題を推論し、決定することができる
コンピュータに人間と同じような機能を持たせるにはこれらのメカニズムを解明する必要がある
本書は {A: 『人間はなぜ思い出すのか』つまり人間の記憶のメカニズムの認知科学のアプローチを試みた、斯界の第一線の研究者によるユニークな成書} である

付録 B 添付資料 (処理結果)

- #126 ISBN4-7692-0195-8 【B8822431】
【標題】 LISP による自然言語処理
【要旨】 本書は {B: AI のコンピュータ言語ともいべき LISP を用いた自然言語処理を出来るだけやさしく解説することを} 目的としている
したがって、LISP の関数は出来るだけ基本的なものを少数用いるようにした
- #127 ISBN4-320-02414-1 【B8827028】
【標題】 GNU
【要旨】 GNU Emacs は先進的でドキュメント機能を備え、カスタム化機能と拡張性に富んだ実時間画面エディタです
このマニュアルには {B: Emacs の使用方法および簡単なカスタム化の方法が} 記載されています
対象読者はプログラマである必要はありません
本ドキュメントは本来リファレンスマニュアルですが入門書としても利用できます
Emacs の紹介としては印刷されたマニュアルよりも効果的でしょう
- #128 ISBN4-320-02415-X 【B8821453】
【標題】 情報科学—パソコンと人工知能
【要旨】 本書は {B: コンピュータの先端の利用法を紹介し、情報化社会を主体的に生きるための教養となることを願って} 編集されている
- #129 ISBN4-622-00872-6 【B8821514】
【標題】 記号学の冒険
【要旨】 『<<: 物語の構造分析序説』』(1966) 以来、バルトはフランスのナトロジー (物語記号論) のリーダーとしてこの先端領域を切り拓いてきた
本書は {B: この分野における主要な論考、『物語の構造分析—『使徒行伝』10・11 章について』(1969) 『行為の連鎖』(1971) 『エドガー・ポーの一短編の分析』(1973) を} 収める
この三編の邦訳によって、バルトの <<: 物語学>> 関係のエッセーはほとんど訳されたことになる
彼の新鮮な分析視角はわが国の <<: 物語研究>> にも有益な示唆を与えるであろう
- #130 ISBN4-7665-0246-9 【B8820481】
【標題】 人工知能 BASIC
【要旨】 本書のプログラムを利用すれば、コンピュータ科学のほとんどの分野に関連した手技の実例・学生の研究課題と討論材料を備えた人工知能の初年度あるいは入門教程を構成できる
- #131 ISBN4-19-553743-6 【B8821184】
【標題】 ニセ学生マニュアル—いま、面白い『知』の最先端講義 300
【要旨】 この本は {A: ニセ学生のニセ学生によるニセ学生のための実用書} である
ニセ学生、つまり学籍が無いのにあつかましくも大学に赴き、入室チェックがないのを幸いに講義を盗聴しにゆく物好きたちのことだ
この本はニセ学生もしくはニセ学生になってみたい人のためにデータを提供し、またそのほかの人たちをニセ学生というささやかな冒険・快楽もしくは悪徳に誘うために仕掛けられた
- #134 ISBN4-00-010348-2 【B8819361】
【標題】 岩波講座
【要旨】 人工知能や知識処理のソフトウェアを作成するうえで必要となる {G: 記号処理のプログラム技法} を系統的に紹介する
{5: 例題はプロダクションシステム・自然言語の構文解析・定理の自動証明などの実際の人工知能システムからとり、プログラム作成の手順を追って詳しく} 解説した
また、LISP や PROLOG はおのずとマスターできるように工夫した
- #136 ISBN4-88063-425-5 【B8815940】
【標題】 AI(人工知能) なんでも早わかり
【要旨】 人工知能ということばが研究所の中から巷にでてきはじめています
本では難しい理論の話はまったくしていません
そのかわりに、まったく新しい概念である {G: 人工知能} を身近なところからわかりやすく解説しています
- #142 ISBN4-7724-0287-X 【B8817011】
【標題】 フロイト草稿の再評価—現代認知理論と神経心理学への序文
【要旨】 神経心理学総論の体系化を試みたフロイトは 1895 年 <<: 科学的心理学草稿>> をフリースに送った
本書は {A: その<草稿>を脳の機能の研究で名高いプリブラム (スタンフォード大学教授) がギル (イリノイ大学教授) とともに整理し、現代の制御理論・システム理論・情報理論など、最新の知見により検証し、あらためてフロイト理論の再評価を行ったもの} である
- #144 【B8813687】
【標題】 意味と生命—暗黙知理論から生命の量子論へ
【要旨】 {C: 知と生命と想像力と時空の淵源を研究し、ニーチェ没後の西歐形而上学の凋残と呪詛とを叩き切る鈍刀のような著述}
{1: 25 年の超領野的思練の結果、やがて驕朗な方向} が示される
- #145 ISBN4-13-013068-4 【B8816226】

- 【標題】 決定を支援する
【要旨】 決定はだれでもしている
しかしよい決定はむずかしい
人間の意思決定を支援する {6: コンピュータシステムの新しい方向} を示す
- #147 ISBN4-13-001018-2 【B8814887】
【標題】 意味と情報
【要旨】 情報なるものが単に大量に氾濫しているだけでは人々間のコミュニケーションも、社会的な統合も促進されるとは限らない
情報は適切な意味を担って適切な場で伝えられるのでなければ役に立たない
つまり情報にとっては単に形式的な量だけでなく、その『{<: 意味}』と『{<: 文脈}』が重要である
そこでそういう観点から、情報というものを見ようというのがこの一連の共通テーマであり、全体をまとめて『{<: 意味と情報}』と名づけた次第である
- #149 ISBN4-314-00501-7 【B8811157】
【標題】 構造意味論一方法の探求
【要旨】 現在欧米諸国で単に言語学関係者ばかりでなく、一般知識人にとって古典的著作となっているグレマスの代表作で長らく刊行が待たれていた待望の日本語版
- #152 ISBN4-274-07412-9 【B8809673】
【標題】 統計データベースの設計と開発—データモデルと知識ベースの応用
【要旨】 統計データベースは近年各方面で急速に関心が深まっています
本書は {A: 統計データベースの理論と応用について詳解するもので国土庁において実際に適用されたものを中心にまとめられたもの} です
- #153 ISBN4-87148-121-2 【B8806586】
【標題】 AI—情報処理から知能処理へ
【要旨】 ソフトウェアの開発・維持量の増大・データ量の増大・問題の複雑さの増大・応答の緊急性の増大・システムの完全性や安全性への要求の増大など、情報化社会の抱える問題は山積みしている
いまやこれらの問題を解決するには伝統的情報処理技術では困難になってきている
AIは爆発的増大を抑制するソフトウェア技術である
AIは第5世代コンピュータ・人工知能の概念を包含しつつ、知能処理技術へと展開しはじめた
本書は {A: 人工知能=第5世代コンピュータの最先端研究者がその専門分野別に執筆した、いま最高の解説書} である
- #154 ISBN4-87148-121-2 【B8807774】
【標題】 AI—情報処理から知能処理へ
【要旨】 ソフトウェアの開発・維持量の増大・データ量の増大・問題の複雑さの増大・応答の緊急性の増大・システムの完全性や安全性への要求の増大など、情報化社会の抱える問題は山積みしている
いまやこれらの問題を解決するには伝統的情報処理技術では困難になってきている
AIは爆発的増大を抑制するソフトウェア技術である
AIは第5世代コンピュータ・人工知能の概念を包含しつつ、知能処理技術へと展開しはじめた
本書は {A: 人工知能=第5世代コンピュータの最先端研究者がその専門分野別に執筆した、いま最高の解説書} である
- #155 ISBN4-87168-085-1 【B8808355】
【標題】 ヒューマン・エラー—過誤は巨大化する
【要旨】 技術・システムの進展は事故を多発・巨大化する
『{<: 人災}』をどう防ぐべきか
- #156 ISBN4-7665-0110-1 【B8806459】
【標題】 Prologで学ぶ AI手法—推論システムと自然言語処理
【要旨】 人工知能(AI)のブームは去り、反省期に来ているとAI先進国であるアメリカではいわれている
日本でも同様であり、AIに対する過剰期待が冷静な選択する目になってきている
本書では {B: そういった『冷静な選択する目』を養うために、AI手法の有効性と限界について、実際のインプリメントを通して} 考察する
- #157 ISBN4-88552-070-3 【B8807582】
【標題】 自然言語処理の基礎技術
【要旨】 本書は {A: 自然言語処理をこれから学ぼうとする人のための入門書} である
{6: 従って、構文解析の解析アルゴリズム} については比較的くわしく述べるが、計算言語学理論の詳細に立ち入ることはしない
{6: 計算言語学理論については基本的なアイデア} を示すための {6: 最小限の範囲で要点のみ} を説明する
- #158 ISBN4-326-15206-0 【B8806052】
【標題】 文化の言語学
【要旨】 {6: ことばの本質(構造と機能)} を明らかにし、{6: 『言語』と『文化』の相関関係} を探る
意味論と言語人類学からのアプローチ

付録 B 添付資料 (処理結果)

- #159 ISBN4-13-013067-6 【B8806576】
【標題】 比喩と理解
【要旨】 生きた実例を豊富に駆使して、{6: 比喩を通した認知のメカニズム} を詳細に分析
{C: 本格的比喩研究の書}
- #160 ISBN4-87148-301-0 【B8805565】
【標題】 コンピュータ言語進化論—思考増幅装置を求める知的冒険の旅
【要旨】 有史以前の人類の思考形態から最先端のコンピュータまで人類はさまざまな知的冒険を経てきた
そうした冒険の底には自然言語とそれを補佐する形式言語 (論理学・数学) を駆使すれば新しい知識を創造すること
ができるはずだ、という考え方がある
この、人類にとってきわめて重要な意味をもつ“{<: 発想}”をテーマにすえた本書はコンピュータの専門家から知
的好奇心にあふれる読者まですべての人を魅了せずにおかない
- #161 ISBN4-274-07398-X 【B8806500】
【標題】 知識工学講座
【要旨】 本書は {B: 自然言語理解の研究の入門書であるとともに、今後、より高度な自然言語理解システムの構築を目指す
技術者・研究者に対する専門書として最新の知識が得られるように} 記述した
- #163 ISBN4-00-007731-7 【B8805051】
【標題】 人工知能はどこまで進むか
【要旨】 チェスですでに人間を追い越しつつあるコンピュータはどこまで人間を超えていくのか、あるいは超えられない
のか、自動翻訳・電話番号案内・作曲・文学など楽しい例をあげながら、{2: 人間の脳とコンピュータの違いやコンピュータ
にとって何がむずかしいこと} なのかを解説する
- #164 ISBN4-526-02309-4 【B8803137】
【標題】 パソコン AI 入門
【要旨】 AI とりわけエキスパートシステムはさまざまな分野における意思決定を支援するための応用システムである
とくにビジネスの領域における応用つまり、経営意思決定を支援するための有用なツールとして期待されている
本書は {B: エキスパートシステムの専門家ではなく、企業のマネジャーがみずからの意思決定のために、あるいは
企業の DSS 開発のためにエキスパートシステムを検討しようとするときの手引となることを目的に} 書かれている
- #167 ISBN4-560-05688-9 【B8804039】
【標題】 応用言語学
【要旨】 {E: 言語学の成果はどのように} 応用されるのか
子供の言語発達のしくみから解き明かし、2 言語併用・翻訳理論・自動翻訳の問題を探究・{6: 国語・外国語の教育
方法にも言語学の応用} を説く
- #170 ISBN4-13-001017-4 【B8801289】
【標題】 言語とコミュニケーション
【要旨】 本書は昭和 61 年夏学期に、東京大学経済学部で行われた『{<: 総合科目 (一般教育)}』の 12 人の講師による 12 回
の講義の講義録を、各講師が手を入れて纏めた論文 12 編からなる
- #171 ISBN4-326-19879-6 【B8800818】
【標題】 記号理論の基礎
【要旨】 {C: 1930 年代・統一科学運動の熱気の中で構想された記号学の名著}
方法・目的・基本理論など、簡潔に述べられている
- #172 ISBN4-13-013066-8 【B8801615】
【標題】 なぜ人は書くのか 茂呂雄二著
汐見稔幸補稿 東京大学出版会 '88.1.25 206p 19cm(B6) ¥1,800 (認知科学選書 16)
【要旨】 言葉で文字にすることは何と『{<: 大きな一歩}』であることか
{5: 書くということ書き始めるといことのもつ意味を生成的記号論の立場から} 徹底解明
- #174 ISBN4-480-84183-0 【B8730745】
【標題】 カオスの読みかた—“無秩序”と“秩序”
【要旨】 秩序の内部に無秩序の乱数系をつつみこむ {<: 秩序=無秩序} の系が創造を生む
{C: 認知科学から数学・経済学・人類学から風俗現象まで時代の“ゆらぎ”をよみとくパラダイム・マップ}
- #175 【B8729335】
【標題】 社会的脳—心のネットワークの発見
【要旨】 {E: 脳は情報をどのように処理して、意識を} 形成しているのか
脳は多数のモジュールからなる社会的な複合であり、人間の意識や行動の謎を解く鍵は脳が組織されるしくみその
もののなかにある
{C: 豊富な実験データを駆使して、平易に描く認知科学の最前線}
- #179 ISBN4-560-01865-0 【B8729986】
【標題】 メンタル・スペース—自然言語理解の認知インターフェイス
【要旨】 ジル・フォコニエのメンタル・スペース理論は意味論と語用論を統合する {6: ダイナミックな言語理解理論の構築}
を目指している

言語は単に外部に存在する世界やモデルを正しく、あるいは誤って『{<: 表現}』するだけでなく、メンタル・スペースと呼ばれるそれ自身の世界を作る

メンタル・スペースとは文法的知識と言語外的一般知識の相互作用が行われる認知インターフェイスである
ところが自然言語の文の意味は多くの場合・メンタル・スペースの構成を一意的に決定するほど十分には規定されていない

そのため、解釈の一般原則により、比較的単純な意味から、多様で複雑な解釈が生み出される

本書の理論は {B: こうした解釈の生成過程に焦点を当てることで統語・意味の構造的複雑さの仮定が誤りであることを明らかにし、意味研究の新しい方向を} 示す

● #180 【B8730188】

【標題】 クリステヴァーテキスト理論と精神分析

【要旨】 記号分析から精神分析へと冒険的に辿るクリステヴァ

人間の深奥にある恐怖の力から人間の精神と文化の根源をあばき出すクリステヴァ

本書は {B: クリステヴァの全体像を} 活写する

● #181 ISBN4-469-21144-3 【B8727904】

【標題】 海外言語学情報

【要旨】 本号は {A: 1985-86の2年間を中心とする、統語論・意味論・語用論・談話分析・言語習得・社会言語学・神経言語学などの分野の、原則として海外における研究動向の調査報告} である

● #182 ISBN4-89362-031-2 【B8727002】

【標題】 エキスパートシステムの実際と展望—AIの実用化に向けて

【要旨】 本書は {B: 約20種類のいろいろな分野のエキスパートシステムの研究・開発成果を} 紹介している

{G: エキスパートシステムのシェル・医療診断システムにおける論拠付けと推論・マン・マシン・インターフェース・知識の表現・知識の獲得など様々な応用事例} に関して述べている

いろいろな分野でエキスパートシステムが開発され、実用化されてきているが本書では実務に携わる {G: 人々によるエキスパートシステムの現状と展望} を概観している

● #183 ISBN4-13-013065-X 【B8726704】

【標題】 からだ—認識の原点

【要旨】 既成心理学において忘れ去られていた『{<: からだ}』を発見し、認識と身体をむすぶ {G: 新しい認知科学のパラダイム} を示す

● #184 ISBN4-87571-650-8 【B8726780】

【標題】 犬とイギリス人—一つの国民性論

【要旨】 {C: イギリス人がとくに犬に示す特別な態度の中に、イギリス人の意識構造の一端を探ろうとする、異色の国民性論} 英語の dog という語の内包的・含蓄的意味を追求するエンブソンの論文『{<: 英語の犬}』、イギリス人の動物・食物・言語についての禁忌を剔抉するエドモンド・リーチの人類学論文などを梃子に、動物と人間の関係の仕方が人間の存在様式の深層構造を照射しているさまを浮き彫りにし、あわせて、最先進近代国家イギリスを『{<: 野性の思考}』の論理で考察の対象とする

● #188 【B8722487】

【標題】 コアとプロトタイプ—基本動詞の意味論

【要旨】 take や get などの基本動詞の意味は多岐に亘り、相互の関連性が截然と把握にくい

{3: 本書ではこれをコアとプロトタイプ概念を組み合わせ} 整理する理論を提案し、検証を経てかなり成功している

意欲あふれる研究書である

● #190 ISBN4-326-15200-1 【B8725095】

【標題】 言語哲学大全

【要旨】 フレーグとラッセルに始まる {G: 現代の言語哲学、そのエッセンス} を分りやすく集約する

● #191 ISBN4-384-04697-9 【B8723193】

【標題】 モンタギュー意味論入門

【要旨】 本書は {A: モデル理論に基づく真理条件的意味論の基本的な考え方・特に、1960年代および1970年代初期に発表された一連の論文でリチャード・モンタギューが開闢したこの意味論の一つの体系の紹介を意図したもの} である

● #193 ISBN4-87198-007-3 【B8724108】

【標題】 コンピュータ頻出用語徹底解説

【要旨】 現在・機械翻訳システムが急速に普及しようとしています

しかし、だからといって、翻訳者が不要になるかというところでもなさそうです

と言うのは現在の翻訳システムはほとんど大型コンピュータでのみ動くため、一般には普及していないことと翻訳システムが不完全なため、プレエディットとポストエディットの作業がかなり必要のためです

これからも優秀な翻訳者が必要とされ、従って本書も利用されて行くことと思います

● #195 ISBN4-87188-022-2 【B8722065】

【標題】 情報とシステム

【要旨】 本書は {A: 『情報とシステム』の第1分冊} である

情報の本来性を問いつつ、{G: これ} を主に経済ネットワークの動向の裡にさぐるようとした

付録 B 添付資料 (処理結果)

今日ほど、企業が情報システムに対する深い理解とその実用化を迫られている時はない
本書に収められた 13 人の大胆な論考が混迷の状況になんらかの指針をもたらすことを期待したい

● #196 ISBN4-946432-05-1 【B8723805】

【標題】 ザ・トレンド

【要旨】 あらゆる分野と領域にわたる加速度的な情報の増大が世界に洪水をもたらしている
そのカオス化・ノイズ化した社会の地形変化がより新しい海図の要請を生み出した
この本がめざした『{<: 知}』は世界を横断するためにある
不断に他の領域に越境・干渉・複合し、そして知は一蘇生する

● #197 ISBN4-274-07377-7 【B8722658】

【標題】 Lisp プログラミング

【要旨】 AI 用言語としても注目されている言語—Lisp—を習得するには実用面から基礎知識を整理し、種々のプログラミング例を知ることです

本書は {B: 基礎編と応用編に分けて} 詳解しています

● #198 ISBN4-13-013064-1 【B8722410】

【標題】 『わざ』から知る

【要旨】 『{<: わざ}』をきわめることは『{<: 世界}』を知り、拓くこと
{6: 一伝統芸道の伝承における認知過程} を解明

● #199 ISBN4-88503-057-9 【B8720314】

【標題】 この子らは光栄を異にす

【要旨】 新入保母・足立愛子さんとの衝撃的な出会いが私の福祉観を根底からくつがえした

● #200 ISBN4-930916-29-1 【B8720703】

【標題】 C&C のマンマシンインタフェース—人間 (Man) と情報システム (Machine) との調和をめざして

【要旨】 オフィス・学校・家庭で日常的にマシンと接している {6: すべての人びとのために、人間工学にもとづく使いやすいマシンのあり方} を解説

付録 C 添付資料 (解析結果)

番号	人間が抽出したキーワード	用語抽出システムが抽出した用語	SYSTEMが抽出したキーワード
#1	ワイトゲンシュタイン	言語 宗教 倫理 ワイトゲンシュタイン 思索 著者 境地 到達点 論文集	言語 宗教 倫理 ワイトゲンシュタイン 思索 著者 境地 到達点 論文集
#2	心	物理学 システム理論 人工知能 ニューラルネット 分子計算機 心	物理学 システム理論 人工知能 ニューラルネット 分子計算機 心
#3	機械翻訳 機械翻訳システム	機械翻訳 技術 機械翻訳システム 本書 観点	機械翻訳 技術 機械翻訳システム 観点
#7	辞典 物語論 物語論 意味論	辞典 物語論 固有語 元来語 物語論的記述 必須 本来的 意味論 領域	物語論 固有語 元来語 物語論的記述 必須 本来的 意味論 領域
#8	意味解析 文脈解析	意味解析 文脈解析 応用システム 概観	意味解析 文脈解析 応用システム 概観
#10	経済 経済	現代 経済 連東欧 ソ主義諸国 社会主義諸国 雪崩現象 情報化 ボーダーレス化 生態系 現代経済 希少性 観点的 統合的	現代 経済 連東欧 ソ主義諸国 社会主義諸国 雪崩現象 情報化 ボーダーレス化 生態系 現代経済 希少性 観点的 統合的

	経済原論	把握 地球環境時代 経済原論	把握 地球環境時代 経済原論
#11	行動 心 行動	本著作 ローレンツ 思想 フロイト 精神分析 ヘルムホルツ 無意識推理説 行動 心 動物行動学 認知科学 貴重 労作	ローレンツ 思想 フロイト 精神分析 ヘルムホルツ 無意識推理説 行動 心 動物行動学 認知科学 貴重 労作
#12	自然言語 自然言語理解	本書 自然言語 計算機処理 手続き型論理 英語 入門書 自然言語理解 学部上級生 大学院生 若手技術者 言語学 心理学者 研究者 好個	自然言語 計算機処理 手続き型論理 英語 入門書
#16	構成的プログラミング	本書 プログラミング 理論 論理学 応用 一例 構成的プログラミング 入門書	プログラミング 理論 論理学 応用 一例 構成的プログラミング 入門書
#17	建築論 建築 無意識 身体性	エイリアン ブレードランナー 映像イメージ 記号論 システム論 認知科学 科学 建築論 テクノロジー 未来 ポスト・モダン 地平 建築 イメージ 無意識 身体性	エイリアン ブレードランナー 映像イメージ 記号論 システム論 認知科学 科学 建築論 テクノロジー 未来 ポスト・モダン 地平 建築 イメージ 無意識 身体性

		回路 渾身 エッセイ集	回路 渾身 エッセイ集
#18	心 記号計算装置 計算機科学 心理学 言語学 哲学	心 自然記号計算装置 計算機科学 心理学 言語学 哲学	計算機科学 心理学 言語学 哲学
#19	色彩認識 生活 知識 文化 認識	アフリカ ボディ族 色彩認識 調査 交わり 生活 知識 想像 文化 認識	
#21	知 認知科学	知 統合的理解 認知科学 招待	知 統合的理解 認知科学 招待
#22	現象学 分析哲学	現象学 分析哲学 哲学的世界 交流	哲学的世界
#23	読み プロトコル 解釈 批評 理論 理論	倫理的 社会的存在 倫理的規範 無縁 読み プロトコル エーコ バルト 記号論 デリダ テキスト論 解釈 批評 理論 明快 語り口 本書 理論的 価値論的観点 ディコンストラクション	倫理的 デリダ 理論的 価値論的観点 ディコンストラクション
#24	人工知能	本書 人工知能 初心者向け 解説書	人工知能 初心者向け 解説書

		文章 初心者	
#26	発達 言語的諸能力	言語学 言語心理学 社会科学 人類学 比較行動学 認知科学 言語機能 研究 人間 発達 語用論的 言語的諸能力	言語学 言語心理学 社会科学 人類学 比較行動学 認知科学 言語機能 人間 発達 語用論的 言語的諸能力
#27	現代思想 現代哲学	現代思想 ハンドブック 哲学 言語学 チョムスキー以後 言語学者 デリダ デヴィッドソン ダメット パトナム 哲学者 ポパー クーン 科学哲学者 相互関係 見事 現代哲学 鳥瞰図	現代思想 ハンドブック 哲学 言語学 チョムスキー以後 言語学者 デリダ デヴィッドソン ダメット パトナム 哲学者 ポパー クーン 科学哲学者 相互関係 見事 現代哲学 鳥瞰図
#28	レヴィ・ストロース 構造主義理論 意味	レヴィ・ストロース 構造主義理論 現代的 平明 柳田国男 デュルケーム 意外性 トリアーデ 意味 世界 知的冒険	レヴィ・ストロース 構造主義理論 現代的 平明 柳田国男 デュルケーム 意外性 トリアーデ 意味 世界 知的冒険
#29	書きことば コトバ	人類最古 書きことば 21世紀末 日本語 コトバ ヒト サイエンス・ノンフィクション 人類 一瞬	人類最古 書きことば 21世紀末 日本語 コトバ サイエンス・ノンフィクション サイエンス・ノンフィクション

		社会生活 我々	我々
#30	東南アジア	東南アジア世界 尊厳 独創的 方法論 実証的 フィールドワーク 画期的講座	東南アジア世界 尊厳 独創的 方法論 実証的 フィールドワーク 画期的講座
#32	科学哲学 現代哲学	蒙昧 空語 理性 研究集団 科学哲学コロキウム 現代哲学	科学哲学コロキウム 現代哲学
#33	ヨーロッパ 言語思想史 言語 言語 言語 言語 言語 人工言語 夢想者	ヨーロッパ言語思想史 文字通り狂人 言語 完全無欠 理想言語 創造 人々 普遍言語 デカルト ライプニッツ チョムスキー 奇天烈 空想言語 シラノ・ド・ベルジュラック ブルワー・リットン ジョージ・オーウェル 霊媒 異界 エレヌ・スミス スターリン体制下 マルクス主義言語理論 ニコライ・マール 本書 人工言語 迷宮 夢想者 系譜 神話 夢 狂気	言語 人工言語 迷宮 夢想者 系譜 神話 夢 狂気
#34	国際通信 国際通信技術	国際化 国際通信 地球上 機械 情報ネットワーク 本書 国際通信技術 ネットワーク	国際通信 国際通信技術 ネットワーク

		伝送路 基盤技術 データ通信 画像通信 サービス技術 機械翻訳 技術 各分野 第一人者	伝送路 基盤技術 データ通信 画像通信 サービス技術 機械翻訳 技術 各分野 第一人者
#35	C言語 AI 人工知能 プログラミング技法	本書 C言語 AI 人工知能 プログラミング技法 入門書 ステップバイステップ ファジィ論理 自然言語処理 エキスパートシステム 技法	C言語 AI 人工知能 プログラミング技法 入門書 ファジィ論理 自然言語処理 エキスパートシステム
#36	マッドサイエンティスト 人工知能 研究者	マッドサイエンティスト 気狂い科学者 人工知能 研究者 本書 ライフスタイル 創造 秘密 人物論 明解	マッドサイエンティスト 気狂い科学者 人工知能 研究者 本書 ライフスタイル 創造 秘密 人物論 明解
#40	教育技術 法則化運動	個性 教師 多様性 教育技術 法則化運動 徹底的	教育技術 法則化運動
#41	感性 理性 思考 デジタル型 アナログ型	コンピュータ 音楽 美術 社会 感性 論理的 能力 理性 反対概念 感情 異質 思考 合理的 デジタル型 直観的 アナログ型	感性 理性
#42	知的CAI	知的CAI	

	I T S 人工知能 教育システム	I T S 人工知能 教育システム 初期 システム構築 理論 全3部全20章 好著 翻訳版	教育システム 初期
#43	ニューロコンピュータ	ニューロコンピュータ開発 脳 生理学的研究 ニューロハードウェア 光ニューロシステム 記憶 認知 ニューロ 問題解決 仕組み 日本学際会議 シンポジウム記録	脳 生理学的研究 ニューロハードウェア 光ニューロシステム 記憶 認知 ニューロ 問題解決 仕組み
#47	思考 メタモルフォーゼ 現代 意識 パラドックス	思考 メタモルフォーゼ 現代 意識 冒険 パラドックス 跳躍寸前 スタンス 円環 螺旋 遊動言語 不可能な回路	不可能な回路
#48	ファジィ集合論 リスク解析 リスク評価 自然言語表現 自動リスク解析	本書 読者 ファジィ集合論 リスク解析 使用例 リスク評価 自然言語表現 試験的 自動リスク解析システム 概略	読者 ファジィ集合論 リスク解析 使用例 リスク評価 自然言語表現 試験的 自動リスク解析システム 概略
#51	身体 思考 認知科学	身体 思考 相互関連 認知科学 パースペクティブ 意欲作	身体 思考 相互関連 認知科学 パースペクティブ 意欲作
#52	言語表現	言語表現 パラダイム フォコニエ カリフォルニア大学	言語表現 パラダイム

	メンタル・スペース 認知科学	教授 メンタル・スペース 概念 論文集 学際領域 研究者 認知科学 アプローチ	
#55	C言語 機械翻訳システム	C言語 機械翻訳システム 全容 拡充法	C言語 機械翻訳システム 全容 拡充法
#56	哲学 心理学 社会学 AI 人工知能	コンピュータ 道具 望遠鏡 顕微鏡 自然科学 解像力 精神科学 諸科学 哲学 心理学 社会学 専門分野 AI 人工知能 研究成果 本書 科学 科学知識 分析 アプローチ 馴染み 図式 実証主義 論理実証主義 パラダイム 枠組	科学 科学知識 分析 アプローチ
#57	こころ 認知科学 言語学	京都賞受賞 チョムスキー教授 論文 文法理論 研究 人間 こころ 認知科学 学際領域 研究者 言語学 アプローチ	京都賞受賞 チョムスキー教授 論文 文法理論 研究 人間 こころ 認知科学 学際領域 研究者 言語学 アプローチ
#58		マリノフスキー ソシュール 先哲 学説	マリノフスキー ソシュール 先哲 学説

	意味 意味変化	意味 英語意変 英語意変 隱喩換喩 主要因引 作品用 意味変 理論研 言語研 共時的 通時的	意味 英語意變 英語意變 隱喩換喩 意味變 理論研 言語研 共時的 通時的
#59	レスニェウスキー 存在論 レスニェウスキー存在論	論文集 レスニェウスキー 論理学 存在論 レスニェウスキー存在論 研究	レスニェウスキー 論理学 存在論 レスニェウスキー存在論 研究
#60	E S エキスパートシステム	三菱商事 社内テキスト ユーザー E S エキスパートシステム 中級入門	ユーザー E S エキスパートシステム 中級入門
#61	人工知能	人工知能 応用 全分野 全歴史的 業績 ハンドブック 性格上 見通し 普遍的 記述	人工知能 応用 全分野 全歴史的 業績
#64	科学	人間 社会科学 科学 生き方 価値観	人間 社会科学 科学 生き方 価値観
#65	非標準論理 人工知能	本書論理 非標準論理 人工知能 Artificial Intelligence 応用 初等用テキスト 参考書 研究者 専門的 計算法 主要分野	非標準論理 人工知能 Artificial Intelligence 応用 初等用テキスト 参考書 研究者 専門的 計算法 主要分野

#67	談話	著者 会話データ等 談話 社会言語学 教育 観点 混沌 表層下 規則性 英語教育関係者必読	談話 規則性 英語教育関係者必読
#68	TRONプロジェクト	TRONプロジェクト 技術論文集	TRONプロジェクト 技術論文集
#70	ヒアリング 指導法 学習法	ヒアリング 科学的 指導法 学習法 著者 実践例 著名 文献	ヒアリング 科学的 指導法 学習法
#71	双方向 情報技術 授業モデル コンピュータ教育 学習環境モデル	コンピュータ 双方向 情報技術 情報処理機能 ネットワーク化 授業 伝統的 教師→学習者伝達モデル 授業モデル パラダイム 理論的 本書 コンピュータ教育 学習環境モデル 基礎的理論	教師→学習者伝達モデル 授業モデル コンピュータ教育 学習環境モデル 基礎的理論
#72	言語 限界	知的 言語 限界 事象 変型 典型 言葉	
#73	認知科学	認知科学 全容 体系的 一冊	認知科学 全容 体系的 一冊
#74	翻訳	原文 翻訳 当代 名訳家	原文 翻訳
#75		本書	本書

	認知心理学	認知心理学 理論 情報 研究的 研究法	認知心理学 理論 情報 研究的 研究法
#76	ポスト産業時代 文化 比較文化論	屏風 蒲団 近代合理主義 アジア的停滞 ポスト産業時代 文化 パラダイム ユニーク 比較文化論	屏風 蒲団 近代合理主義 アジア的停滞 ポスト産業時代 文化 パラダイム ユニーク 比較文化論
#77	材料 情報 産業科学	本書 材料 情報 産業科学 研究 見地	材料 情報 産業科学 研究 見地
#78	文脈 コンテキスト 解釈学	文脈 コンテキスト 的理解 形式的 構造的分析 解釈学 方法論的拡大	解釈学 方法論的拡大
#80	人工知能	人工知能 研究 世界 マサチューセッツ工科大学 会議 ウィンストン トップクラス 研究者達 本書 論文 現状把握 21世紀	人工知能 論文
#81	基本動詞	本書 表面的 単語本来 コア・イメージ 基本動詞 使い切る 必読書	表面的 単語本来 コア・イメージ 基本動詞 使い切る 必読書
#82	オブジェクト志向	オブジェクト指向 プログラミング 考え方 Smalltalk C言語	オブジェクト指向 プログラミング

		Lisp プログラミング言語 応用 本書 思考 表現 技法 基本 概念	応用 思考 表現 技法 基本 概念
#84	構文規則 言語 独立	本書 知識 成立 構文規則 言語 独立 モデル	知識 成立 構文規則 言語 独立 モデル
#85	認知科学 脳	認知科学 ホット 脳 並列分散処理 原理	認知科学 ホット 脳 並列分散処理 原理
#86	語彙論 現代中国語	辞書編纂 著者 語彙論 現代中国語読本	辞書編纂 著者 語彙論 現代中国語読本
#89	AI	本講座 KE ナレッジエンジニア エキスパートシステム 開発 AI 基本知識 知識 技法 プログラミング手法 全6巻 テキスト	KE ナレッジエンジニア エキスパートシステム 開発 AI 基本知識 知識 技法 プログラミング手法 全6巻 テキスト
#90	翻訳 パソコン	本書 翻訳 ライティング パソコン ツール 考え方 ノウハウ	翻訳 ライティング パソコン ツール 考え方 ノウハウ
#91	構文解析	構文解析 技術 言語表現 コンピュータサイエンス 普遍的 基本技術 適用範囲 コンパイラ 混合入力	

	<p>自然言語 自然言語理解</p> <p>プログラミング言語 自然言語 構文解析</p> <p>システムプログラム 自然言語処理</p>	<p>構造エディタ 自然言語インタフェース 自然言語理解システム 本書 プログラミング言語 自然言語 構文解析アルゴリズム 原理 システムプログラム 自然言語処理 勉強 入門部分</p>	<p>プログラミング言語 自然言語 構文解析アルゴリズム 原理</p>
#92	価値観	<p>価値観 相対比 確信 現代 真摯 探究者</p>	
#93	意味 心	<p>意味 本書 構成 伝達 喚起 創造 言葉 心 文脈</p>	<p>意味 構成 伝達 喚起 創造 言葉 心 文脈</p>
#95	<p>知識工学</p> <p>IKBS</p> <p>エキスパート・システム</p> <p>意味論 自然言語理解</p>	<p>本書 知識工学入門者 方面 IKBS アプローチ エキスパート・システム 概説 開発過程 Prolog 知識表現 言語理解 意味論 自然言語理解 平易 情報処理 計算機科学 学科生 人工知能関連 技術者 入門書</p>	<p>本書 知識工学入門者 方面 IKBS アプローチ エキスパート・システム 概説 開発過程 Prolog 知識表現 言語理解 意味論 自然言語理解 平易 情報処理 計算機科学 学科生 人工知能関連 技術者 入門書</p>
#96	人工知能	<p>本書 コンピュータ 歴史 基盤 応用分野 人工知能 平易</p>	<p>コンピュータ 歴史 基盤 応用分野 人工知能 平易</p>

#97	日英 英日 機械翻訳	日英 英日双方向機械翻訳 理論 プログラム BASIC Lisp	日英 英日双方向機械翻訳
#98	意味 表現	純粹的 文法的 意味表現 日本語 母語 学習者	純粹的 文法的 意味表現 日本語 母語 学習者
#99	情報処理 情報処理	本書 大学 全学共通 教養課程学生向き情報処理 教育用テキスト 情報化社会 コンピュータ利用 情報処理 見識 コンピュータ 原理 情報 管理 利用形態 システム基本構成 ユニーク 視野 コンピュータリテラシー	大学 全学共通 教育課程学生向き情報処理 教育用テキスト 情報化社会 コンピュータ利用 情報処理 見識 コンピュータ 原理 情報 管理 利用形態 情報システム基本構成 ユニーク 視野
#100	子ども 授業 授業 認知科学	子ども 教室 思考過程 授業実践 素材 教育学者 授業 認知科学	授業実践 授業 認知科学
#101	機械翻訳 機械翻訳	機械翻訳 機械翻訳研究 国際シンポジウム 研究発表 第一線 研究者 技術者 モノグラフ	機械翻訳 機械翻訳研究 国際シンポジウム 研究発表
#103	英語年鑑 英語学 英米文学	英語年鑑 英語学 英米文学界 英界	英語年鑑 英語学 英米文学界 英界

	回顧 展望 日誌 英語教官 研究団体 研究業績 人名録	回顧 展望 英学日誌 全国大学・短大・高専 英語教官構成 研究団体 個人研究業績 人名録 研究業績項目別索引 七部	回顧 展望 英学日誌 全国大学・短大・高専 英語教官構成 研究団体 個人研究業績 人名録
#107	Turbo Prolog	本書 インストール プログラム スタンドアローン Turbo Prolog	インストール プログラム スタンドアローン Turbo Prolog
#108	脳科学 認知科学 人工知能	脳科学 認知科学 対話 人工知能 研究者 共通 一般読者 対談	脳科学 認知科学 共通
#109	認知科学会 認知科学会	認知科学会 メッセージ 認知科学会会員 論文集 学会刊行物 重責 掲載 7編 活動内容 諸賢 必読	認知科学会会員 論文集
#110	コンピュータ 言語 自然言語処理 言語 機械翻訳システム	コンピュータ 日常 言語 自然言語処理 研究 コンピュータ関連 自然言語 奥深い 魅力的 本書 機械翻訳システム 応用 研究成果 重要テーマ	コンピュータ 日常 言語 機械翻訳システム 応用 研究成果 重要テーマ
#111	学習理論	本書 現代 学習理論 歴史的文脈	現代 学習理論 歴史的文脈

	ゲシュタルト派 トールマン 情報処理理論	下巻 理性主義 認知-体制化 考え方 ゲシュタルト派 トールマン 情報処理理論 理論科学 神経科学 教育 応用	ゲシュタルト派 トールマン 情報処理理論
#112	タイム・マーチャント 情報・通信企業	列強 タイム・マーチャント 日米欧 情報・通信企業	タイム・マーチャント 日米欧 情報・通信企業
#113	情報 歴史	洞窟画 ビデオ 情報 歴史	情報
#114	スーパープロダクツ 日立 ソニー IBM 富士通 NEC 東芝 リコー	スーパープロダクツ 日立 ソニー IBM 富士通 NEC 東芝 リコー 着想 開発秘話 苦勞 エンジニア	開発秘話 苦勞 エンジニア
#115	右脳-左脳 文化 記号 二値シンボルシステム 言語行為 意識 感覚思考	右脳-左脳 非対称 文化 記号 二値シンボルシステム 人間 言語行為 意識 深層 感覚思考 諸科学領域 自由 異色作品	右脳-左脳 非対称 文化 記号 二値シンボルシステム 人間 言語行為 意識 深層 感覚思考 諸科学領域 自由 異色作品
#117	隠喩 換喩 提喩 文彩 認識	隠喩 換喩 提喩 文彩 認識 人間 境界 無人境 ヴィトゲンシュタイン	認識

	レトリック	日本語学 限界	日本語学 限界
#118	人工知能 エキスパートシステム	本書 人工知能 エキスパートシステム 考え方 用語	人工知能 エキスパートシステム 考え方 用語
#119	知 人工知能 認知科学	機械 知 人間 人工知能 認知科学 吟味 乖離 アプローチ	機械 知 人間 人工知能 認知科学 吟味 乖離 アプローチ
#120	エキスパート 機械翻訳 知能ロボット A I	エキスパート 機械翻訳 知能ロボット 科学者 遊技的空間 知 増幅 ビジネス 舞台 A I 言語 ゆらぎ あいまいさ 感知装置 鋭 著者 現代思想 錘鉛 意欲作	知 ゆらぎ あいまいさ 著者 現代思想 錘鉛 意欲作
#121	現代日本語文法 国語教育 日本語論	ラガナー一家 ニッポン日記 著者 大学生 アンケート 現代日本語文法 国語教育 愛動的 本格日本語論	ラガナー一家 ニッポン日記 著者 大学生 アンケート 現代日本語文法 国語教育 愛動的 本格日本語論
#122	情報	大学 企業等 日々 研究成果 情報 的確 独創的 研究	情報

	情報ネットワーク	手続き 本書 見通し 分野内 横断的 情報ネットワーク コンピュータ・オンライン 社会 知識 知恵 創造的 再編成 一書	見通し 分野内 横断的 情報ネットワーク コンピュータ・オンライン 社会
#123	機械翻訳 CRI-Prolog 機械翻訳システム	初心者 機械翻訳 応用 歴史 編者 CRI-Prolog 機械翻訳システム 日本語 英語 作り方	機械翻訳 歴史 編者 CRI-Prolog 機械翻訳システム 日本語 英語 作り方
#124	認知科学	著者 本書 認知科学 研究 実験心理学 論理学 言語学 人工知能 哲学 アイデア 計算理論 決定的 メタファー 科学 興味 読者 念頭	著者 本書 認知科学 研究 実験心理学 論理学 言語学 人工知能 哲学 アイデア 科学 興味 読者 念頭
#125	記憶 認知科学	人間の活動 学習 記憶 問題解決 言葉 文字 動作 情報 推論 コンピュータ メカニズム 本書 認知科学的アプローチ	人間 記憶 メカニズム 認知科学的アプローチ

		斯界 第一線 研究者 ユニーク 成書	斯界 第一線 研究者 ユニーク 成書
#126	L I S P 自然言語処理	本書 A I コンピュータ言語 L I S P 自然言語処理 関数 少数	A I コンピュータ言語 L I S P 自然言語処理
#127	E m a c s 実時間画面エディタ	G N U E m a c s 先進的 ドキュメント機能 カスタム化機能 拡張性 実時間画面エディタ マニュアル カスタム化 記載 対象読者 プログラマ 本来リファレンスマニュアル 入門書	E m a c s カスタム化
#128	コンピュータ	本書 コンピュータ 先端の利用法 情報化社会 主体的 教養	コンピュータ 先端の利用法 情報化社会 主体的 教養
#129	物語 構造分析 ナラトロジー 物語記号論 構造分析 物語	物語 構造分析序説 バルト フランス ナラトロジー 物語記号論 リーダー 先端領域 本書 論考 構造分析 使徒行伝 10 - 11章 行為 連鎖 エドガー・ポー 一短編 分析 三編 邦訳 物語学 エッセー	物語 構造分析序説 論考 構造分析 使徒行伝 10 - 11章 行為 連鎖 エドガー・ポー 一短編 分析 物語学

	物語	新鮮 分析視角 物語研究 有益	物語研究
#130	人工知能	本書 プログラム コンピュータ科学 手技 学生 研究課題 討論材料 人工知能 入門教程	
#131	ニセ学生	ニセ学生 実用書 学籍 大学 入室チェック 講義 盗聴 好き 冒険 快樂 悪徳	ニセ学生 実用書
#134	記号処理 プログラム技法 プロダクションシステム 自然言語 自動証明 LISP PROLOG	人工知能 知識処理 ソフトウェア 記号処理 プログラム技法 系統的 例題 プロダクションシステム 自然言語 構文解析 定理 自動証明 人工知能システム プログラム 手順 LISP PROLOG	記号処理 プログラム技法 プロダクションシステム 自然言語 構文解析 定理 自動証明 人工知能システム プログラム 手順
#136	人工知能	人工知能 研究所 理論 概念	人工知能
#142		神経心理学総論 体系化 フロイト 科学的心理学草稿 フリース 本書 草稿 研究	科学的心理学草稿 草稿 研究

	フロイト理論	名高いプリブラム スタンフォード大学教授 ギル イリノイ大学教授 現代 制御理論 システム理論 情報理論 知見 フロイト理論 再評価	名高いプリブラム スタンフォード大学教授 ギル イリノイ大学教授 現代 制御理論 システム理論 情報理論 知見 フロイト理論 再評価
#144	知生命 想像力 時空 西欧形而上学	知生命 想像力 時空 淵源 研究 ニーチェ没後 西欧形而上学 凋残 呪詛 鈍刀 著述 超領野の思繹 曠朗	知生命 想像力 時空 淵源 研究 ニーチェ没後 西欧形而上学 凋残 呪詛 鈍刀 著述 超領野の思繹 曠朗
#145	意志決定 コンピュータシステム	人間 意思決定 コンピュータシステム	コンピュータシステム
#147	情報 意味 文脈	情報 氾濫 人々 コミュニケーション 形式的 意味 文脈 観点	情報 意味 文脈
#152	統計データベース	統計データベース 本書 理論 応用 国土庁	統計データベース 理論 応用 国土庁
#153	AI	ソフトウェア 開発 維持量 データ量 応答 緊急性 完全性 情報化社会 山積みの情報処理技術 伝統的 AI ソフトウェア技術	

	第5世代コンピュータ 人工知能 知能処理技術	第5世代コンピュータ 人工知能 概念 知能処理技術 本書 最先端研究者 専門分野別 解説書	第5世代コンピュータ 人工知能 最先端研究者 専門分野別 解説書
#155	人災	技術 事故 人災	事故 人災
#156	A I A I A I手法	人工知能 A I 反省期 A I先進国 アメリカ 日本 本書 冷静な 目 A I手法 有効性 インプリメント	冷静な 目 A I手法 有効性 インプリメント
#157	自然言語処理 構文解析	本書 自然言語処理 入門書 構文解析 解析アルゴリズム 計算言語学理論 基本的アイデア 最小限 要点	自然言語処理 入門書 構文解析 解析アルゴリズム 計算言語学理論 基本的アイデア 最小限 要点
#158	ことば 言語 文化 意味論 言語人類学	ことば 言語 文化 相関関係 意味論 言語人類学 アプローチ	ことば 言語 文化 相関関係 意味論 言語人類学
#159	比喩 認知 比喩	比喩 認知 メカニズム 本格的比喩研究	比喩 認知 メカニズム 本格的比喩研究
#160	自然言語 形式言語	有史以前 人類 思考形態 コンピュータ 知的冒険 冒険言語 補佐 形式言語	

	論理学 数学 発想	論理学 数学 知識 創造 考え方 発想 テーマ 本専門家 知的好奇心 読者	発想
#161	自然言語理解 自然言語理解	本書 自然言語理解 研究 入門書 自然言語理解システム 技術者 研究者 専門書 知識	自然言語理解 研究 入門書 自然言語理解システム 技術者 研究者 専門書 知識
#163	コンピュータ 脳	チェス 人間 コンピュータ 自動翻訳 電話番号案内 作曲 文学 脳	人間 コンピュータ 脳
#164	エキスパートシステム	A I エキスパートシステム 意思決定 応用システム ビジネス 領域 応用 経営意思決定 有用 ツール 本専門家 企業 マネジャー 意思決定 企業 D S S 開発	エキスパートシステム 専門家 企業 マネジャー 意思決定 企業 D S S 開発
#167	言語学 2言語併用 翻訳理論 自動翻訳	言語学 応用 子供 言語発達 2言語併用 翻訳理論 自動翻訳 探究 国語	言語学 応用 国語

		外国語 教育	外国語 教育
#171	記号学	統一科学運動 熱気 記号学 名著 基本理論 簡潔	統一科学運動 熱気 記号学 名著
#172	文字 生成の記号論	言葉 文字 生成的記号論	生成的記号論
#174	秩序 無秩序 ゆらぎ	秩序 無秩序 乱数系 創造 認知科学 数学 経済学 人類学 風俗現象 ゆらぎ パラダイム・マップ	秩序 無秩序 認知科学 数学 経済学 人類学 風俗現象 ゆらぎ パラダイム・マップ
#175	脳 意識 行動	脳 情報 意識 モジュール 複合 人間 行動 組織 実験データ 平易 認知科学	脳 情報 意識 実験データ 平易 認知科学
#179	ジル・フォコニエ メンタル・スペース メンタル・スペース 自然言語	ジル・フォコニエ メンタル・スペース理論 意味論 語用論 ダイナミック 言語理解理論 言語 外部 世界 モデル 表現 メンタル・スペース 自身 文法的知識 言語外的一般知識 相互作用 認知インターフェイス 自然言語 一意的 規定	ジル・フォコニエ メンタル・スペース理論 ダイナミック 言語理解理論 表現

	意味研究	一般原則 比較的単純 本書 理論 生成過程 統語 意味 構造的 仮定 意味研究	生成過程 統語 意味 構造的 仮定 意味研究
#180	クリステヴァ	記号分析 精神分析 冒険的 クリステヴァ 人間 深奥 恐怖 精神 文化 根源 本書 全体像	クリステヴァ 全体像
#181	統語論 意味論 語用論 談話分析 言語習得 社会言語学 海外 神	本号 1985-86 統語論 意味論 語用論 談話分析 言語習得 社会言語学 海外 研究 動向 調査報告	1985-86 統語論 意味論 語用論 談話分析 言語習得 社会言語学 海外 研究 動向 調査報告
#182	エキスパートシステム	本書 エキスパートシステム 研究 開発成果 シェル 医療診断システム 論拠付け 推論 マン・マシン・インターフェース 知識 応用 人々	エキスパートシステム 研究 開発成果 シェル 医療診断システム 論拠付け 推論 マン・マシン・インターフェース 知識 応用 人々
#183	からだ 認知科学	既成心理学 からだ 身体 認知科学 パラダイム	からだ 認知科学 パラダイム
#184	イギリス人	イギリス人	イギリス人

	<p>意識構造</p> <p>国民性論</p> <p>エドモンド・リーチ</p> <p>人間</p> <p>イギリス 野性の思考</p>	<p>意識構造</p> <p>一端異色 国民性論 英語 dog 内包的 含蓄の意味 エンソン 論文 英語 犬 動物 食物 言語 禁忌 別決</p> <p>エドモンド・リーチ</p> <p>人類学論文 梃子 人間 存在様式 深層構造 照射 浮き彫り 最先進近代国家の本質 野性 思考</p>	<p>意識構造</p> <p>一端異色 国民性論 英語</p> <p>犬</p> <p>エドモンド・リーチ</p> <p>人間</p> <p>野性 思考</p>
#188	<p>基本動詞</p> <p>コア プロトタイプ</p>	<p>take get 基本動詞 多岐 関連性 截然 本書 コア プロトタイプ 概念 理論 検証 研究書</p>	<p>本書 コア プロトタイプ 概念 理論</p>
#190	<p>言語哲学</p>	<p>フレーゲ ラッセル 現代 言語哲学 エッセンス</p>	<p>現代 言語哲学 エッセンス</p>
#191	<p>モデル理論 真理条件的意味論</p> <p>リチャード・モンタギュー 意味論</p>	<p>本書 モデル理論 真理条件的意味論 考え方 代初期 論文 リチャード・モンタギュー 意味論 体系</p>	<p>モデル理論 真理条件的意味論 考え方 代初期 論文 リチャード・モンタギュー 意味論 体系</p>

#195	情報 システム 経済ネットワーク 情報 システム	本書 情報 システム 第1分冊 本来的性 経済ネットワーク 企業 情報システム 实用化 実論 考 混迷	情報 システム
#196	情報 知	領域 加速度的 情報 世界 洪水 カオス化 ノイズ化 社会 地形変化 海図 知 不断 領域 越境 干涉 複合	知
#197	L i s p	A I 用言語 言語 L i s p 実用面 基礎知識 種々 プログラミング例 本書 基礎編 応用編	基礎編 応用編
#198	わざ 伝統芸能	わざ 世界 伝統芸能 伝承 認知過程	わざ 世界 伝統芸能 伝承 認知過程
#199	足立愛子 福祉観	新入保母 足立愛子 衝撃的 福祉観 根底	
#200		オフィス 学校 家庭 日常的	

マシン
人間工学

マシン
人間工学

マシン
人間工学

—— 禁無断転載 ——

平成4年3月発行

発 行 財団法人 データベース振興センター
東京都港区浜松町二丁目4番1号
世界貿易センタービル7階
TEL. 03-3459-8581

依 託 先 株式会社 紀伊國屋書店
東京都世田谷区桜ヶ丘五丁目38番1号
TEL. 03-3439-0123

印 刷 所 有限会社 日製工業写真社
東京都大田区大森北一丁目23番8号

